

令和 7 年 度



事業報告

法人本部
特別養護老人ホーム 好日苑
好日苑デイサービスセンター
好日苑ヘルパーステーション
好日苑ケアプランセンター
大田区地域包括支援センター上池台
大田区地域包括支援センター嶺町
シニアステーション東嶺町
大田区地域包括支援センター六郷
大田区地域包括支援センター西六郷
大田区地域包括支援センター馬込
シニアステーション馬込
大田区地域包括支援センター南馬込
シニアステーション南馬込



目 次

法人本部	2
事務部門	14
特養部門（特別養護老人ホーム 好日苑）	17
在宅部門	
Ⅰ．好日苑デイサービスセンター	74
Ⅱ．好日苑ヘルパーステーション	85
Ⅲ．好日苑ケアプランセンター	89
Ⅳ．在宅部門会議・研修	93
包括部門	
地域包括支援センター	98
大田区地域包括支援センター上池台	
大田区地域包括支援センター嶺町	
大田区地域包括支援センター六郷	
大田区地域包括支援センター西六郷	
大田区地域包括支援センター馬込	
大田区地域包括支援センター南馬込	
元気維持介護予防事業・シニアステーション	116
シニアステーション東嶺町	
シニアステーション馬込	
シニアステーション南馬込	

法人本部

令和7年4月1日に創立27周年を迎え、永年勤続表彰規程に従い永年勤続20周年1名、10周年9名、5周年8名の合計18名の表彰からスタートしました。

令和7年度は第7次中期経営計画の初年度となり、法人本部の「幹部会」及び「地域貢献」のアクションプラン3カ年計画に基づいて行動しました。利用者目標では、年度末に生活環境の向上を目指して全館へWi-Fi設備を整備し、全利用者の呼吸や睡眠状態等が分かるように体動感知センサー（眠りスキャン）を全ベッドへ導入。令和8年度はそのデータからひとり一人に合ったケアプランに基づくサービス提供が出来るようにすると共に、生産性の向上を図って参ります。

職員目標では、1ヶ月の所定労働日数に対し9割以上精勤勉励し、突然の欠勤等に対する勤務変更等に快く応じるなど、他の模範とするに足る職員へ感謝の意を込めてのインセンティブとして、実働感謝手当を導入致しました。

経営目標では、新地域への事業展開を行うため法人本部が一体となって計画・交渉・対応し、新地域への事業展開の基盤整備を行いました。また地域における公益的な取組として、ひびきほっとサロンの通常開催を6回実施、延べ132名の方々が参加されました。また調布地区法人協における幹事法人として、Happy food Driveと称して食料品集めをファミリーマート上池台4丁目店及び上池台・嶺町の地域包括支援センターで実施、また集まった食料品は、今すぐ食料品を必要としている方々に配布する「幸せのおすそわけ会」を年2回実施するなど積極的に運営に参画致しました。

I 経営基盤の強化

1. 令和7年度 経営目標・稼働目標と実績

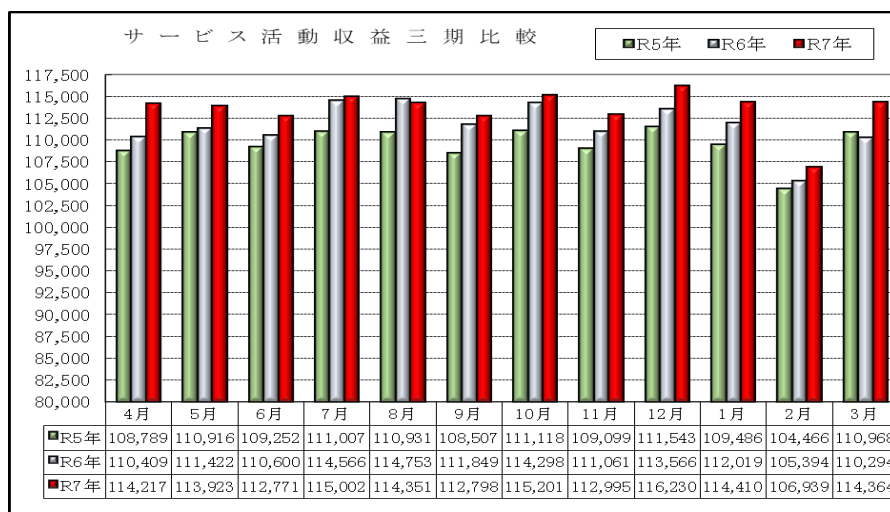
項目		実績額
事業活動による収支	収入計	1,405,133,002 円
	支出計	1,225,487,373 円
	収支差額①	179,645,629 円
施設整備等による収支	収入計	23,025,000 円
	支出計	50,873,130 円
	収支差額②	△27,848,130 円
その他の活動による収支	収入計	139,609,970 円
	支出計	279,883,422 円
	収支差額③	△140,273,452 円
当期資金収支差額④ ① + ② + ③		11,524,047 円

当期資金収支差額率

0.8%

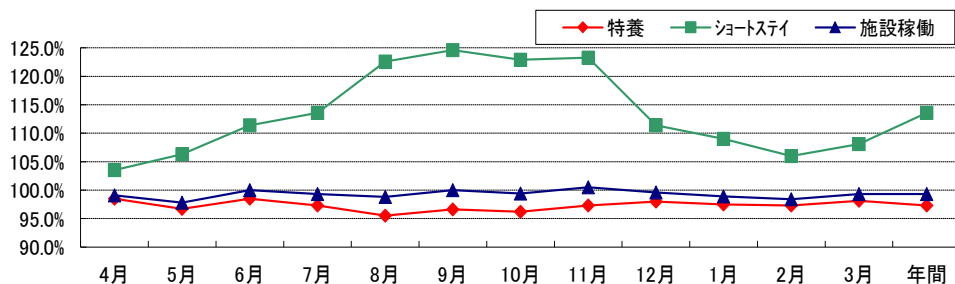
(修繕積立金・施設整備積立金・処遇改善積立金)

174,810,000 円)



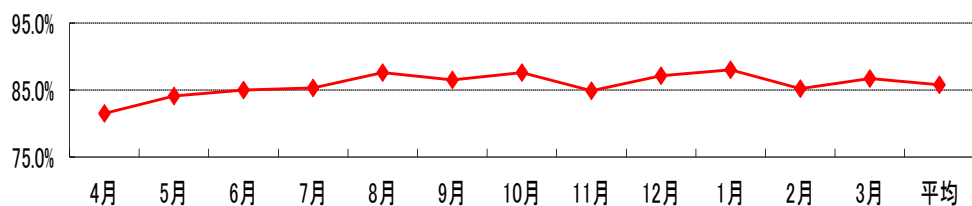
(1) 特別養護老人ホーム好日苑

稼動目標				98.0%				実績				99.3%	
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
98.5%	96.7%	98.5%	97.3%	95.5%	96.6%	96.2%	97.3%	98.0%	97.5%	97.3%	98.1%	97.3%	
103.5%	106.3%	111.4%	113.6%	122.6%	124.6%	122.9%	123.3%	111.4%	109.0%	106.0%	108.1%	113.6%	
99.1%	97.8%	100.0%	99.3%	98.8%	100.0%	99.4%	100.5%	99.6%	98.9%	98.4%	99.3%	99.3%	



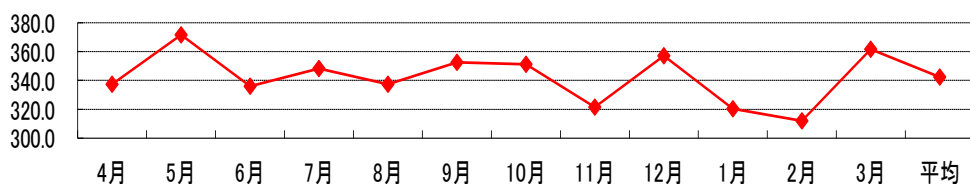
(2) 好日苑デイサービスセンター

稼動目標				90.0%				実績				85.8%	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
デイサービス	81.5%	84.1%	85.0%	85.3%	87.6%	86.5%	87.6%	84.9%	87.1%	88.0%	85.2%	86.7%	85.8%



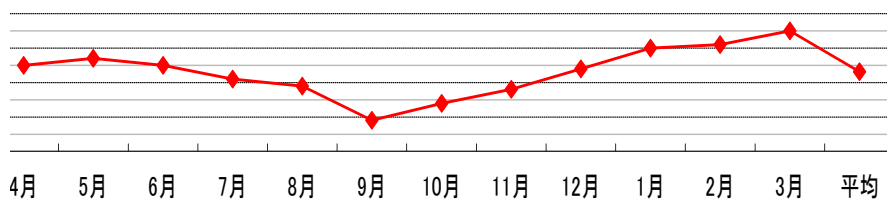
(3) 好日苑ヘルパーステーション

稼動目標				300 時間/月				実績				342.3 時間/月	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
ヘルパー	337.4	371.6	336.0	348.3	337.4	352.6	351.1	321.5	357.1	320.5	312.0	361.5	342.3



(4) 好日苑ケアプランセンター

稼動目標				145 件/月 (CM 3.7 人)				実績				133.2 件/月 (CM 3.7 人)	
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
135	137	135	131	129	119	124	128	134	140	141	145	133.2	



【補助金等】

交付団体及び交付目的	区分	交付金額
東京都 (特別養護老人ホーム経営支援補助金)	介護事業	5,863,000
東京都 (介護介護職員宿舎借り上げ支援事業)		3,995,000
東京都 (介護職員・介護支援専門員居住支援特別手当事業補助金)		13,478,000
東京都 (介護職員就業促進事業補助金)		984,108
東京都 (現任介護職員資格取得支援事業)		81,000
東京都 (介護支援専門員法定研修受講料補助金)		169,400
東京都 (特別養護老人ホーム等物価高騰緊急対策事業)		2,125,408
東京都 (介護サービス事業所燃料費高騰緊急対策事業)		76,500
東京都 (要介護等改善促進報奨金)		200,000
東京労働局 (特定求職者雇用開発助成金)		400,000
大田区 (社会福祉法人等による生計困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額軽減措置事業補助金)		529,030
大田区 (大田区介護保険サービス利用者負担額軽減事業に係る助成金)		292,935
大田区 (利用者負担軽減額軽減事業に係る事業者参入促進事業)		30,000
大田区 (大田区物価高騰における介護サービス事業所・施設に対する支援金)		4,466,500
国 (介護職員処遇改善支援補助金)	5,208,893	
区分小計		37,899,774
	利息	0
区分小計		0
東京都 (次世代介護機器導入促進支援事業補助金)	施設	22,956,000
区分小計		22,956,000
合 計		60,855,774

2. 安定した適正経営

(1) 人財確保のために下記取組を行いました。

- ① 響会借上げ宿舍管理規定による採用（特養特定技能外国人特養 1 名）
- ② 響会東京都借上げ支援事業による採用（特養 0 名）
- ③ 介護職員就業促進事業の活用（採用：特養 1 名、デイ 0 名）
- ④ かいごチャレンジ職場体験事業受入（特養 2 名、デイ 0 名）
- ⑤ 都立高校生のための職場体験ジョブキャンプ 2025（特養 2 校 8 名）
- ⑥ 大田区社会福祉協議会「夏！体験ボランティア」（特養 0 名、デイ 0 名）
- ⑦ 介護実務者研修「好日苑校」開講（職員 5 名が受講）
- ⑧ 現任介護職員資格取得支援事業（介護福祉士受験 特養 8 名、デイ 1 名申請）

【職員募集媒体】

法人活動	公的機関	民間企業
・響会公式採用特設サイト（響会ホームページと一体化） ・職員紹介制度 ・就職支援支度金制度 ・資格取得支援制度 ・介護職員奨学金返済手当制度 ・介護職員就業促進事業 ・T O K Y O 働きやすい福祉の職場宣言事業所登録 ・介護の仕事定例就職面接会 ・ふくしのしごと市 ・第 3 回特別養護老人ホーム等就職相談会 ・介護のお仕事紹介セミナー	・ハローワーク ・東京都福祉人材センター（福祉のお仕事） ・各種学校求人 ・看護協会（e ナースセンター） ・東京都プラチナナース職場体験会 ・かいごチャレンジ職場体験事業 ・おおた健康経営事業所「シルバー」認定	・インターネット媒体（新卒） ・インターネット媒体（中途） ・人材紹介（介護・看護） ・人材派遣（介護・看護） ・スキマバイト【タイミー】

【入職・退職】

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

	採用（人）	退職（人）	退職率	在籍者平均
正規職員（常 勤）	16	13	9.8%	9 年 7 ヶ月
契約職員（非常勤）	10	11	18.6%	8 年 7 ヶ月

	R7 年間常勤換算数（人）			R6 年間常勤換算数（人）		
	特 養	デ イ	合 計	特 養	デ イ	合 計
派遣職員（介 護）	0.4	0	0.4	2.2	0	2.2
派遣職員（看 護）	3.5	0	3.5	1.6	0	1.6
合 計	3.9	0	3.5	3.8	0	3.8

【外国人雇用】

雇用人数	出身国	滞在ビザ	備考
4	インドネシア	特定技能 1 号	4 名全員が介護福祉士国家試験を受験し 1 名が合格

(2) 生産性の向上への取組み

特養部門でパッケージ型導入支援事業（見守り支援機器及び通信環境の一体的整備事業）を活用

- ① 見守り機器の整備（体動感知センサー眠りスキャン 158 台）
- ② 通信環境整備（好日苑全館へ Wi-Fi 整備）

(3) 情報公開

① 介護サービス情報の公表（訪問調査なし）

対 象 事 業： 特別養護老人ホーム 好日苑 (特養・ショートステイ)
 好日苑デイサービスセンター (デイサービス)
 好日苑ヘルパーステーション (訪問介護)
 好日苑ケアプランセンター (居宅介護支援)

公 開： 東京都介護サービス情報公表システム

② ふくむすび更新（TOKYO 働きやすい職場宣言）

③ 第三者評価

実 施 事 業： 特別養護老人ホーム 好日苑 (介護老人福祉施設)

評 価 機 関： ヒューマンブラザーズ株式会社

公 表： とうきょう福祉ナビゲーション

(4) 広報委員会 (PR)

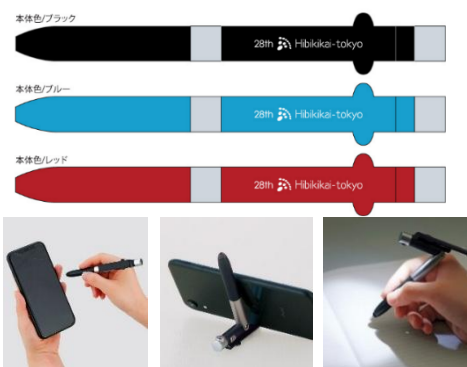
① 職員親睦会を部門毎 8 回開催、延べ 145 名が参加

② ボランティア表彰記念品及び

永年勤続表彰記念品としてノベルティ立案・製作

【4in1 マルチボールペン「ブラック」「ブルー」「レッド」】

(筆記具、タッチペン、スマホスタンド、ライト)



《ボランティア表彰者数（個人・団体含む 115 名）》

好日苑		地域包括支援センター					シニアステーション		
特養	デイ	上池台	六郷	西六郷	馬込	南馬込	東嶺町	馬込	南馬込
1	22	10	11	21	4	5	12	12	17

《永年勤表彰者》

5 周年	10 周年	20 周年	30 周年	40 周年
7	4	2		

③ 広報誌「ひびき」の発行

・年 4 回発行（4 月「85 号」 7 月「86 号」 10 月「87 号」 1 月「88 号」）

④ ホームページ

- ・ 響会公式採用特設サイト新設 job.hibikikai-tokyo.or.jp
- ・ ホームページの更新
（職員紹介・数字で知る響会・働く環境を知る・研修制度・動画で見る響会）
- ・ 月次更新（職員採用・月間予定表・献立等・シニアステーションニュース）
- ・ ブログ更新（日々是好日・特養の窓・デイサービスの窓・包括の窓）

⑤ Instagram 開設及び LINE 応募フォーム開設

令和 8 年 3 月末時点⇒Instagram 投稿 164 (+71)

フォロワー 3,315 人 (+1,402) / フォロー中 3,225 人 (+1,425)

3. 地域における公益的な取組み

(1) 「ひびきほっとサロン」

開催日	内 容	会場
第 30 回 5 月 25 日(日)	【ポッチャ大会】 昼食／キーマカレー、サラダ、コンソメスープ デザート／抹茶ケーキ	好日苑 22 名
第 31 回 7 月 20 日(日)	【認知症サポーター養成講座】 昼食／手作り豆腐ハンバーグ、ブロッコリーの炒め物、いんげんのサラダ デザート／フルーツあんみつ	好日苑 21 名
第 32 回 9 月 14 日(日)	【サンシャイン合唱団 ～ピアノ演奏に合わせて合唱～】 昼食／栗ご飯、鳥の治部煮、長芋の梅ドレッシング和え、味噌汁 デザート／モンブランケーキ	好日苑 24 名
第 33 回 11 月 16 日(日)	【ポールウォーキング】 昼食／三色丼、かぶのふろふき、すまし汁 デザート／柿&ミニパンケーキ	好日苑 19 名
第 34 回 1 月 18 日(日)	地域包括保健師による【介護予防体操】 昼食／黒酢豚、白菜の炒め物、小松菜のナムル、中華スープ デザート／ロールケーキ	好日苑 28 名
第 35 回 3 月 15 日(日)	【ポールウォーキング】 昼食／五目ちらし寿司、炊き合わせ、赤だし デザート／ミニたい焼き	好日苑 18 名

(2) 令和 7 年度 調布地区法人協連絡会活動

A: 調布地区幹事法人打合せ等

(響会・池上長寿園・大田社協)

- ① 令和 7 年 4 月 16 日 (水) 15 : 00～17 : 15
- ② 令和 7 年 6 月 23 日 (月) 15 : 00～15 : 20
- ③ 令和 7 年 9 月 3 日 (水) 15 : 00～17 : 30
- ④ 令和 7 年 10 月 30 日 (木) 15 : 00～17 : 30
- ⑤ 令和 8 年 1 月 13 日 (火) 15 : 00～18 : 00

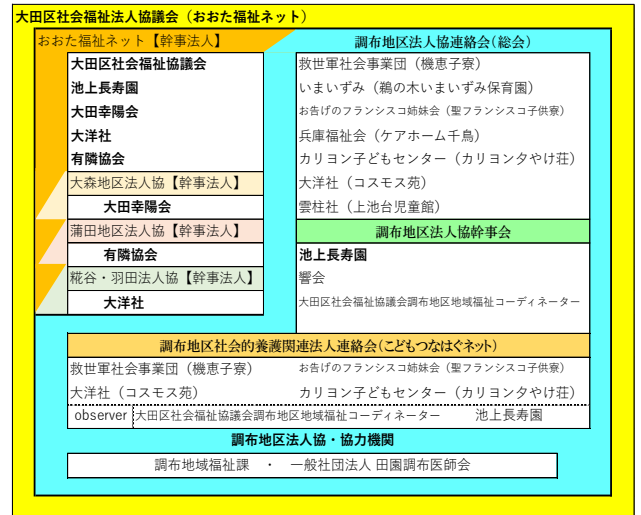
B: 調布地区法人協【総会】(10 社会福祉法人)

(1) 第 1 回総会 令和 7 年 9 月 22 日 (月) 15 時 00 分 ～16 時 30 分

- ① 令和 7 年 7 月 26 日 (土) 開催 第 5 回調布地区フードパントリー実施報告
「幸せのおすそわけ会」in 特養たまがわ
- ② 令和 7 年 11 月 21 日 (金) 開催 第 6 回調布地区フードパントリー開催案内
「幸せのおすそわけ会」in 嶺町出張所 「まちかど相談室」同時開催
- ③ 来場者及びスタッフアンケートについて意見交換

(2) 第 2 回総会 令和 8 年 2 月 4 日(水)15 : 30～17 : 30

- ① 令和 7 年 11 月 21 日 (金) 開催 第 6 回調布地区フードパントリー
「幸せのおすそわけ会」in 嶺町出張所 「まちかど相談室」実施報告
- ② 令和 8 年度調布地区法人協「幸せのおすそわけ会」等実施予定
- ③ 調布地区社会的養護関連法人連絡会「こどもつなはぐネット」について
- ④ 今後の調布地区における取り組みについて意見交換 (アンケート依頼含む)



C: 【調布地区】Happy food Drive (ハッピーフードドライブ) 501.49 kg

1. 令和7年度 ファミリーマート上池台4丁目店フードドライブ 206.84 kg
2. 令和7年度 調布地区館内5地域包括支援センター(上池台・嶺町・田園調布・久が原・たまがわ) フードドライブ 294.65 kg

D: 幸せのおすそわけ会【調布地区法人協フードパントリー】

1回目

1. 日時: 令和7年7月26日(土) 13:00~15:00
(子供服の古着コーナー設置)
2. 場所: 特別養護老人ホーム たまがわ
3. 来場者数: 56名
4. 事前準備(食糧仕分け)スタッフ: 23名
認知症デイ HOPE 利用者、カリヨンタやけ荘、救世軍、ケアホーム千鳥
コスモス苑、聖フランシスコ子供寮、池上長寿園、響会、大田区社会福祉協議会
5. 運営スタッフ: 24名
救世軍、ケアホーム千鳥、コスモス苑、上池台児童館、鶴の木民協、調布地域福祉課
響会、池上長寿園、大田区社会福祉協議会



Happy Food Drive
おすそわけは、食料品を必要とする方へ配る活動です。

幸せのおすそわけ会

食料品の無料配布(フードパントリー)を行います!
区内のご家庭や企業からご寄付いただいた食料品です。
お菓子やレトルト食品などの配布を予定しています。

日時: 2025年7月26日(土) 13時00分~
※開始時間より30分以上前からのご来場はご遠慮ください。
また無くなり次第、終了いたしますので、予めご了承ください。

場所: 大田区立特別養護老人ホームたまがわ1階
(多摩川緑地の木駅から徒歩8分 大田区下丸子4-23-1)

対象: どなたでも参加いただけます
今すぐ食品を必要とされる方への配慮をお願いします

お越しになれる際はエコバックをご持参ください
☕ カフェコーナー 常設しております

主催: おおた福祉ネット(調布地区法人協議会)
おおた福祉ネットは、区内にあり、事業所をもち「社会福祉法人」のネットワークです。
社会福祉法人 救世軍 / 社会福祉法人 鶴の木 / 社会福祉法人 池上長寿園
社会福祉法人 池上長寿園 / 社会福祉法人 池上長寿園 / 社会福祉法人 池上長寿園
社会福祉法人 池上長寿園 / 社会福祉法人 池上長寿園 / 社会福祉法人 池上長寿園
社会福祉法人 池上長寿園 / 社会福祉法人 池上長寿園 / 社会福祉法人 池上長寿園

※問合せ先: 大田区社会福祉協議会 03-3736-2266 ※

2回目

1. 日時: 令和7年11月21日(金) 13:00~15:00
(まちかど相談室同時開催)
2. 場所: 地域包括支援センター嶺町
(嶺町特別出張所2階)
3. 来場者数: 58名
4. 事前準備(食糧仕分け)スタッフ: 21名
認知症デイ HOPE 利用者、聖フランシスコ子供寮、救世軍
いまいずみ保育園、コスモス苑、池上長寿園、響会、大田区社会福祉協議会
5. 運営スタッフ: 26名
ケアホーム千鳥、コスモス苑、聖フランシスコ子供寮、嶺町民協、調布地域福祉課
いまいずみ保育園、響会、池上長寿園、大田区社会福祉協議会



Happy food Drive
おすそわけは、食料品を必要とする方へ配る活動です。

幸せのおすそわけ会

食料品の無料配布(フードパントリー)を行います!
区内のご家庭や企業からご寄付いただいた食料品です。
お菓子やレトルト食品などの配布を予定しています。

日時: 2025年11月21日(金) 13時~
※無くなり次第終了

場所: 嶺町特別出張所 2階
地域包括支援センター嶺町
(大田区田園調布本町7-1)

対象: どなたでも参加いただけます
今すぐ食品を必要とされる方への配慮をお願いします

お越しになれる際はエコバックをご持参ください
☕ カフェコーナー 常設しております

主催: おおた福祉ネット(調布地区法人協議会)
おおた福祉ネットは、区内にあり、事業所をもち「社会福祉法人」のネットワークです。
社会福祉法人 救世軍 / 社会福祉法人 鶴の木 / 社会福祉法人 池上長寿園
社会福祉法人 池上長寿園 / 社会福祉法人 池上長寿園 / 社会福祉法人 池上長寿園
社会福祉法人 池上長寿園 / 社会福祉法人 池上長寿園 / 社会福祉法人 池上長寿園
社会福祉法人 池上長寿園 / 社会福祉法人 池上長寿園 / 社会福祉法人 池上長寿園

※問合せ先: 大田区社会福祉協議会 03-3736-2266 ※

E: 【近隣こども食堂へのフードパントリー】

1. 配布先: カフェ CABIN こども食堂
2. 配布回数: 6回
3. 配布重量: 83.7 kgをおすそわけ



※ 地域包括支援センター「上池台」及び「嶺町」分を、子ども食堂【カフェ CABIN】へ、
「久が原」「田園調布」「たまがわ」分を、子ども食堂【こあら村】へおすそわけしました。

Ⅱ 安全対策

1. 災害対策推進チーム（STST）2回開催
2. 大規模防災訓練
令和7年10月5日（日）9:00～12:30
BCP(事業継続計画)に基づく初動確認と福祉施設避難所開設のあと、BCP説明研修の3部制
3. 自衛消防訓練審査会
令和7年9月26日（金）1隊3名参加 「優良賞」
4. 衛生管理委員会の開催（全12回）
安全確認（労働環境・衛生）・職員健康診断・腰痛予防・ストレスチェック・感染症対策

Ⅲ 苦情処理

【法人受付】

日付	種別	内容	改善対策
11/18	家族会	家族会の広報が十分ではなく、参加者が少なかったこと。また月間予定表が対象月の前半に送られて来ること	① 開催通知は1ヵ月前郵送 ② 利用者あんしんメール登録周知 ③ 館内の目立つ場所へ開催通知掲示 ④ 月間予定表は対象月の前月に送る
12/19	その他	デイサービスから帰宅後に痣があり、本人が「女性のおばちゃんにたたかれた」と言っているので原因の究明を	当日利用中の様子を職員へ確認し、転倒や他の利用者とのトラブルは無かったことを報告
合 計			2

Ⅳ 地域交流

1. 第28回 好日苑まつり

(1) 実行委員会 全4回（6/19・7/24・8/21・9/18）

(2) 実施内容

日 時 : 令和7年9月7日（日）12:00～14:00、15:00～16:00

参加者 : 特養入所者及びご家族及び地域住民

内 容 : 職員有志による「ヒビキターズ」に加え、新たに阿波踊りを行う「響屋」を結成し披露しました。快晴に恵まれ大勢の方にご来苑頂き、模擬店も大盛況で終了する事が出来ました。また今年も同日に上睦会（自治会）のお祭りの神輿も来苑され、お祭り気分満載の1日でした。



V 理事会・評議員会

1. 理事会及び評議員会 等

(1) 理事会議案

第1回 令和7年5月23日（金）	
第1号議案	令和6年度 事業報告（案）
第2号議案	令和6年度 決算報告（案）／ 監事監査報告
第3号議案	社会福祉充実計画
第4号議案	次期役員候補者推薦（案）
第5号議案	次期評議員選任解任委員選出（案）
第6号議案	評議員選任・解任委員会開催（案）
第7号議案	令和7年度定時評議員開催
第2回 令和7年6月12日（木）	
第1号議案	役員就任
第2号議案	理事長選定
第3号議案	役員等賠償責任保険契約
第4号議案	見守り支援機器及び通信環境の一体的整備について
第5号議案	社会福祉法人響会 実働感謝手当支給規程の設置
第3回 令和7年10月24日（金）	
第1号議案	就業規則の一部改正
第2号議案	法人の今後の事業展開について
報告事項①	理事長の業務執行報告
報告事項②	アクティブ福祉 in 東京 '25 優秀賞受賞報告
報告事項③	社会福祉法人響会 職員表彰基準
第4回 令和8年1月23日（金）	
第1号議案	好日苑外壁大規模修繕工事入札について
報告事項①	文京区新規事業について
報告事項②	大田区地域包括支援センター及び シニアステーション業務委託事業者評価委員会にかかる評価結果（嶺町地区）報告
報告事項③	令和7年度次世代介護機器導入促進支援事業補助金について
第5回 令和8年3月27日（金）	
第1号議案	令和7年度 第1回 補正予算（案）
第2号議案	令和8年度 事業計画（案）
第3号議案	令和8年度 当初予算（案）
第4号議案	年額1,000万円を超える業務委託契約
第5号議案	好日苑外壁大規模修繕工事入札結果報告及び工事契約締結
第6号議案	評議員選任・解任委員会運営細則 改正
第7号議案	事業譲渡契約書（案）
報告事項①	理事長の職務執行状況報告
報告事項②	令和7年度 「特養」第三者評価結果報告
報告事項③	おおた介護予防応援事業優秀賞の受賞報告

(2) 評議員会議案

定時評議員会 令和7年6月12日（木）	
第1号議案	令和6年度 事業報告（案）
第2号議案	令和6年度 決算報告（案）／ 監事監査報告
第3号議案	社会福祉充実計画
第4号議案	次期役員選任（案）
第5号議案	役員及び評議員報酬規程の改正（案）
第6号議案	役員等賠償責任保険契約

(3) 評議員選任・解任委員会議案

評議員選任・解任委員会 令和7年6月12日（木）	
第1号議案	評議員選任

(4) 役員及び評議員（令和8年3月31日現在）

役職名	氏名	備考
理事	中山 政昭	理事長
理事	栃原 憲彦	施設長
理事	戸金 隆三	
理事	海老澤 信吉	
理事	常安 雅彦	
理事	小林 信正	
理事	大野 修	
監事	安元 祐一郎	
監事	秋元 雪絵	
任期 R7. 6. 12～R9-定時評議員会まで		

役職名	氏名	備考
評議員	杉山 鈴子	
評議員	清水 眞知子	
評議員	藤田 博司	
評議員	森井 郁夫	
評議員	江口 祐子	
評議員	大字 久美子	
評議員	小川 博	
評議員	板井 仁志	
任期 R7. 6. 12～R11-定時評議員会まで		

2. 本部会議 等

(1) 幹部会

上半期開催	主な内容	下半期開催	主な内容
4月3日	部門報告・行政等通知・実働感謝手当	10月2日	部門報告・行政等通知・新事業展開
4月10日	部門報告・行政等通知・役員退任等	10月9日	部門報告・行政等通知・電子給与明細
4月17日	部門報告・行政等通知・R6事業報告案	10月16日	部門報告・行政等通知・ストレスチェック
4月24日	部門報告・行政等通知・理事会議案等	10月23日	部門報告・行政等通知・防犯対策
5月1日	部門報告・行政等通知・決算報告案	10月30日	部門報告・行政等通知・宿直業務見直
5月8日	部門報告・行政等通知・決算賞与案	11月6日	部門報告・行政等通知・理事会議案
5月15日	部門報告・行政等通知・評議員会議案	11月13日	部門報告・行政等通知・資産運用
5月22日	部門報告・行政等通知・台湾企業視察	11月20日	部門報告・行政等通知・苦情対応
5月29日	部門報告・行政等通知・インスタ募集	11月27日	部門報告・行政等通知・清掃業務見直
6月5日	部門報告・行政等通知・就職相談会	12月4日	部門報告・行政等通知・R8事業計画
6月12日	部門報告・行政等通知・人事交流案	12月11日	部門報告・行政等通知・文京区新規事業
6月19日	部門報告・行政等通知・職員表彰規程	12月18日	部門報告・行政等通知・健康経営事業所
6月26日	部門報告・行政等通知・法人協報告	12月25日	部門報告・行政等通知・次世代介護機器
7月3日	部門報告・行政等通知・外壁修繕	1月8日	部門報告・行政等通知・ユニフォーム
7月10日	部門報告・行政等通知・熱中症対策	1月15日	部門報告・行政等通知・人財補助金
7月17日	部門報告・行政等通知・職員表彰状	1月22日	部門報告・行政等通知・R7補正予算
7月24日	部門報告・行政等通知・ほっとサロン	1月29日	部門報告・行政等通知・契約職時給
7月31日	部門報告・行政等通知・勤怠システム	2月5日	部門報告・行政等通知・外壁入札
8月6日	部門報告・行政等通知・虐待防止	2月12日	部門報告・行政等通知・R7補正予算
8月14日	部門報告・行政等通知・清掃委託辞退	2月19日	部門報告・行政等通知・処遇改善案
8月21日	部門報告・行政等通知・時給改定	2月26日	部門報告・行政等通知・R8当初予算
8月28日	部門報告・行政等通知・好日苑まつり	3月5日	部門報告・行政等通知・入札確認
9月4日	部門報告・行政等通知・福祉しごと市	3月12日	部門報告・行政等通知・文京新規事業
9月11日	部門報告・行政等通知・外壁修繕見積	3月19日	部門報告・行政等通知・有期雇用契約
9月18日	部門報告・行政等通知・理事会議案	3月26日	部門報告・行政等通知・サボウズルール
9月25日	部門報告・行政等通知・次世代介護機器		
全 51 回開催			

(2) 経営会議

開催日	経営会議議題
4月9日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和7年度5月人事 令和6年度第4回理事会決議報告 令和6年度事業報告（案）〆切 令和7年度処遇改善計画 介護人材確保・職場環境改善等事業 第29回ひびきほっとサロン実施報告 東京都及び大田区からの物価高騰等に関する補助金 厨房設備更新工事に伴う職員食の中止について 心の小箱（苦情・意見等）について 「理事長」「施設長」のコメント
5月9日	前月の実績報告（部門報告含む） 決算賞与支給（令和6年度実績）について 令和7年度第1回理事会開催案内 令和7年4月特養申込2次評価者数 令和6年度前期特養申込2次評価者数と今後の優先入所制度について 防災訓練【職員安否確認報告】事前告知 心の小箱（苦情・意見等）について 「理事長」「施設長」のコメント
6月6日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和7年度夏季賞与支給 令和7年7月人事 令和7年度第1回理事会決議報告 評議員選任解任委員会開催案内 令和7年度定時評議員会開催案内 令和7年度第2回理事会開催案内 第30回（令和7年度第1回）ひびきほっとサロン実施報告 令和7年度第1回好日苑家族会実施報告 災害時訓練【職員安否確認報告】実施報告 粗大ごみ・機密文書廃棄回収 心の小箱（苦情・意見等）について 「理事長」「施設長」のコメント
7月9日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和7年度定時評議員会決議報告 令和7年度第2回理事会決議報告 社会福祉法人響会 『実働感謝手当支給規程』について 社会福祉法人響会 『職員表彰基準』について 令和7年度職員親睦会開催について 心の小箱（苦情・意見等）について 「理事長」「施設長」のコメント
8月7日	前月の実績報告（部門報告含む） 利用者さんの敬称の統一について 令和7年9月人事 地域における公益的な取組報告 令和7年度合同慰霊祭開催 第28回好日苑まつりについて 令和6年度処遇改善加算実績報告 次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく社会福祉法人響会行動計画 心の小箱（苦情・意見等）について 「理事長」「施設長」のコメント
9月5日	前月の実績報告（部門報告含む） 第28回好日苑まつり開催について 令和7年10月1日 響会最低賃金改定 ストレスチェック実施（10月実施）

開催日	経営会議議題
9月5日	令和7年度自衛消防訓練審査会について 防災訓練（自然災害BCP）実施について 令和7年7月特養申込2次評価者数 実働感謝手当支給算定開始 心の小箱（苦情・意見等）について 「理事長」「施設長」のコメント
10月8日	令和7年度 第3回理事会開催案内 第28回好日苑まつり実績報告 地域における公益的な取組報告 防災訓練（自然災害BCP）実施報告 心の小箱（苦情・意見等）について 「理事長」「施設長」のコメント
11月12日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和7年度 第3回理事会決議報告 ストレスチェック実施（10月実施）結果 給与明細の電子化 好日苑防犯対策マニュアル設置及び宿直者業務（宿直日誌刷新） 務時の適正な靴の着用について（再周知） 心の小箱（苦情・意見等）について 「理事長」「施設長」のコメント
12月5日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和7年度冬期賞与等支給 令和8年度基本方針と事業計画作成 地域における公益的な取組報告 複合機の一斉入れ替え 粗大ごみの回収 心の小箱（苦情・意見等）について 「理事長」「施設長」のコメント
1月9日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和8年2月人事 令和7年度第4回理事会開催案内 東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金内示 令和7年度次世代介護機器導入促進支援事業補助金決定 令和7年11月 特養優先入所申込者について 心の小箱（苦情・意見等）について 「理事長」「施設長」のコメント
2月6日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和8年3月人事 令和7年度第4回理事会決議報告 第34回ひびきほっとサロン開催報告 令和7年度ボランティア表彰について 第3期おおた介護予防応援事業表彰について 心の小箱（苦情・意見等）について 「理事長」「施設長」のコメント
3月6日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和8年4月人事 令和7年度第5回理事会開催案内 令和8年度 永年勤続表彰者 2026年4月から自転車にも交通反則通告制度が適用されます おおた健康経営事業所「シルバー」認定 について 心の小箱（苦情・意見等）について 「理事長」「施設長」のコメント

事務部門

経営及び介護現場に関するサポートを迅速かつ正確に行い、最新の情報を継続して維持・保管ができるように努め、老朽化した建物・設備整備・修繕を行い、法人事務分野を含め、適切な事務処理を行いました。

システムを活用しての情報処理・保管を行い、経営分析指標となる月次報告書を作成、労働状況等のデータベース管理を行い、各種届出・調査等が速やかに行えるように努めました。

建物・設備等の老朽化対応では、業務用食器洗浄機更新及び床・壁修繕工事、Wi-Fi等ネットワーク整備、電子給与明細の導入により、ペーパーレス化を行いました。

1. 主な規程改正

	規 程	備 考
1	実働感謝手当支給規程	新規設置（処遇改善）
2	就業規則	一部改正（外国人採用手続き等）
3	評議員選任・解任委員会運営細則	一部改正（外国人採用手続き等）

2. 職員数

令和8年3月31日現在（在籍者）

法人合計			正 規			非正規		
計	女性	男性	計	女性	男性	計	女性	男性
194	142	52	137	95	42	57	47	10
—	73%	27%	—	69%	31%	—	82%	18%

3. 育児休業取得者数／出産者数

法人合計			女性			男性		
取得者	対象者	取得率	取得者	対象者	取得率	取得者	対象者	取得率
2	2	100%	1	1	100%	1	1	100.0%

4. 役員及び管理的地位にある者に占める女性の割合

令和8年3月31日現在

役員	管理監督職（係長以上）
11.1%	47.4%

5. 年次有給休暇消化率

法人全体	1人あたり平均取得日数
64.1%	10.6日

※ 年度内消化日数 ÷ 4/1現在の有給日数

6. 安全衛生

- (1) 産業医 熊木医師
- (2) 衛生管理者 角川事務係長
- (3) 安全衛生委員会 全 12 回（月 1 回）
 - ① 巡回指導（産業医により巡回点検）
 - ② 健康指導（健康診断結果報告、ストレスチェック実施状況報告、心の健康 等）
 - ③ 労働衛生（長時間労働、職場におけるパワーハラスメント 等）
 - ④ 感染症状況（新型コロナウイルス、インフルエンザ 等）
- (4) 労働災害申請（業務災害 1 件、通勤途上 1 件）

7. 情報管理

- (1) 経営情報
 - ① 経理規程に基づく月次報告
 - ② 経営会議における月次報告（経営実績報告）
 - ③ 古田土会計による月次報告（経営分析）
 - ④ 当初予算、補正予算、決算書（計算書類等）の作成
- (2) 業務システム

システム名	用途
PCA クラウド社会福祉法人会計 DX	経理会計における財務管理
PCA クラウド固定資産 DX	固定資産管理（減価償却計算等）
PCA クラウド給与 DX	給与会計・年末調整等の源泉徴収管理
PCA Hub 給与明細	電子給与明細
ADVANCE 勤怠クラウド	出勤・退勤時間、欠勤、休暇等管理
サイボウズ	情報共有
Excel	人事・労働者情報等のデータベース
ほのぼの NEXT	介護報酬・利用料請求
XServer	ホームページ・メール管理

- (3) ネットワークセキュリティ
 - ① ファイアウォールによる不正アクセスからの保護
 - ② ウイルス対策ソフトによるウイルスの検出と削除、システムの保護
 - ③ 迷惑メールフィルターの随時更新

8. 各種届出等

【主な届出】

種別	届出先	内 容
経営情報	大田区	社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム(大田区提出)
	東京都	介護サービス事業者の経営情報の報告 (システム改修中で提出保留:提出準備済み)
	税務署	公益法人等の損益計算書等の提出
労働関係	労働基準監督署	就業規則変更届(外国人採用手続き等改正)
		健康診断結果報告
		心理的な負担の程度を把握するための検査結果報告 (ストレスチェック)
法務関係	法務局	理事長変更登記、資産の総額登記

9. 建物・設備整備

【主な修繕・設備整備 等】

	名称	区分	完了
1	業務用食器洗浄機	固定資産	5/23
2	本館 3 階パントリー冷蔵庫	固定資産	7/4
3	本館 1 階パントリー冷蔵庫	固定資産	9/4
4	新館浴室：油圧昇降ベッド	固定資産	12/12
5	本館貯湯槽 2 基 内部改修	固定資産	2/28
6	リビングテーブル	固定資産	3/4
7	Wi-Fi 等ネットワーク整備	固定資産	3/5
8	眼りスキャン 158 台	固定資産	3/5
9	厨房床修繕	修繕	5/23
10	栄養室 天井・壁・床修繕	修繕	5/23
11	新館 2 階汚物処理室漏水修理	修繕	7/24
12	新館 2 階アラム弁修理	修繕	9/10
13	新館 浴室扉修繕	修繕	10/29
14	新館 電気ユニット	修繕	12/31
15	本館浴槽修理	修繕	1/31
16	ガス感知器更新修理	修繕	2/28
17	消防設備修繕	修繕	3/25
18	非常用照明器具更新（シニア馬込）	修繕	7/31
19	衛生器具修理（シニア南馬込）	修繕	7/31

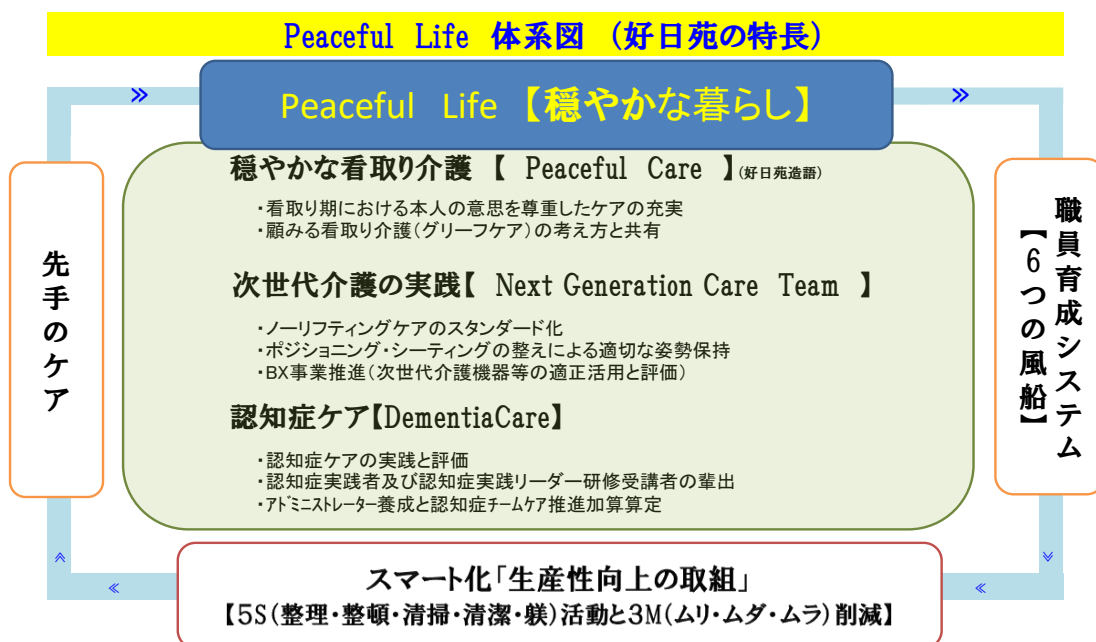
特養部門（特別養護老人ホーム 好日苑）

令和7年度は「第7次中期経営計画」の目標である Peaceful Life の実現に向けた取り組みの初年度で、生産性向上の取組として、5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動と3M（ムリ・ムダ・ムラ）の削減に努め、入居者・職員双方に優しい職場と生活環境が提供できるよう努めた年度となりました。その中でも特に次世代介護機器を活用した自立支援の実践では、次世代介護実践チーム（NGCT）を中心に計画的に取り組み、入居者の状態に合わせて日常的に次世代介護機器を活用することが出来るようになりました。その取り組み内容を令和7年6月に開催されました「アクティブ福祉 in 東京 '25」にて発表し「優秀賞」を受賞することが出来ました。また、介護人財不足にも対応する為、今後も働きやすい職場環境を整えていく事を目的に、管理職による1on1ミーティングを実施し、今いる職員を大切にする施設の体現に努めることができ、無資格・未経験者も職員個々のスキルに合わせた育成プランを実践していく事で令和7年度に入職した無資格・未経験職員が夜勤を含むフル勤務の業務を行う事ができるようになりました。尚、介護実務経験3年を超えた特定技能の介護職員4名を含む、計8名が1月に実施された「介護福祉士国家試験」にチャレンジし、特定技能職員を含む複数名の合格者を輩出することができました。

【重点目標】の評価

(8) 好日苑（特養・ショート）≫ 第7次中期経営計画を踏まえた令和7年度事業計画の重点施策	
利用者	① Peaceful Care（看取り介護）の実践 ② 次世代介護の実践 ③ 好日苑認知症ケア
職員	① 職員育成システム ⑤ 先手のケア 協力医療機関との連携強化 入院日数 1,200 日／年 ⑥ スマート化 ⑦ 有休消化率 特養 70% ⑧ 働きやすい・働き甲斐のある職場環境
経営	⑨ 防災意識の向上 ⑩ 地域解放・連携・社会貢献 ⑪ 施設稼働 98% （特養 96.6%、SS108%）

I 本館・新館 目標 「Peaceful Life の実現」



目標①:「穏やかな看取り介護」

【Peaceful Care】

入居されてから看取り介護で退居に至るまで、食べる楽しみをいかに長く支援できるのか、藤島式嚥下グレードを参考に、入居者の嚥下レベルごとの支援を設定し、少しでも長く生活して頂くことを目的として、最期は施設で、家族と共に安らかに看取ることができる一連の流れの確立を目標としています。

- ・第二の我が家としての機能の有効活用（看取りでの退去者 70%以上）
- ・経口維持による他職種での食事支援と口腔衛生の取組
- ・看取り期における本人の意思を尊重したケアの充実（好日苑版エンディングノートの検討）
- ・顧みる看取り介護（振り返り）の考え方の共有

令和7年度は第二の我が家としての機能の有効活用として、54名の退去者(内1名、館内移動)の内、34名(63%)の方を好日苑で看取り介護加算の対象として看取らせて頂きました。その他の内訳としては病院での逝去が7名、苑内逝去にて加算対象外ではありますが、施設でお見送りをさせて頂いた方が9名、転院等が3名となっています。苑内逝去の方も含めると43名(80%)の方を施設にて対応させて頂きました。

尚、令和7年度の看取り介護実施期間の合計は712日間で、看取り介護期間の平均は21日間でした。平成18年度から令和7年度までの20年間で、看取り介護を実施した方の総数は364名となりました。

目標②:「次世代介護の実践」

【Next Generation Care Team】

次世代介護の実践として、次世代介護機器やノーリフティングケアの浸透を図る事で、入居者、職員双方に優しいケアを実現していきます。

- ・ノーリフティングケア（有する能力を活かしたケア）の継続的な実践（ボディメカニクスと福祉用具の活用）
- ・生産性向上（BX推進）の取組（次世代介護機器の適正運用と評価）
- ・機能訓練指導員との協働による日常生活における機能訓練の実践と評価（機能訓練加算とADL維持等加算の算定）
- ・Peaceful Lifeの実現に向けたポジショニングやシーティングの標準化
- ・車いすレンタルパックの適正運用と評価

ノーリフティングケアの継続的な実践として、長年の課題であった入浴時の移乗介助(持ち上げる介護)の解消に向け、スライディングシート及びボードを活用し見事、入浴時のノーリフティングケアを実践することができました。加算の算定については、機能訓練指導員による全入居者への個別機能訓練計画の策定とバーセルインデックスの評価を行うことで、個別機能訓練加算Ⅱ及びADL維持等加算Ⅰの算定を4月から算定開始しています。ポジショニングやシーティングに関しても機能訓練指導員が中心となって勉強会等を実施していくことで、少しずつ定着してきました。今後も車いすレンタルパックを活用しながら標準化に向けて取り組んでいきます。

目標③:「認知症ケア」

【認知症ケア検討会】

認知症介護実践者研修及び認知症介護実践リーダー研修の受講を通して認知症への理解を深めると共に、行動・心理症状（BPSD）の予防及び出現時の早期対応ができるよう認知症へのスキルアップをチーム全体で行います。

- ・認知症の対応力を強化する為の事例検討会、研修の実施（認知症チームケア推進加算）と好日苑認知症ケアプログラムの開発
- ・認知症実践者、認知症実践リーダー研修受講者及びアドミニストレーター養成講座修了者の輩出

3名のアドミニストレーター養成講座修了者が中心となり、DEMBASE(日本版BPSDケアプログラム)を活用した認知症介護の実践に努めることができました(認知症チームケア推進加算算定)。また認知症実践者2名及

び認知症実践リーダー1名を新たに輩出することができました。尚、1年間の集大成として職員表彰制度の一環として令和8年3月に「N1グランプリ(認知症事例発表会)」を開催しました。

目標④：「職員育成システム」

【6つの風船】

「洞察力」「コミュニケーション」「知識」「技術力」「専門的意識」「好日苑の特長」この6つの風船をバランスよく膨らませる事が出来る人財を育てていきます。

- ・人事考課制度の適正運用
- ・BS（ベーシック・スキル）研修制度の活用
- ・「特養 育成本」を活用したPDCAサイクル
- ・無資格未経験者及び外国“人財”の育成
- ・次世代介護を担うリーダー職員の育成

令和7年度に入職した介護職員8名（就業促進事業での非常勤雇用者1名含）に対して「特養 育成本」を活用した育成を行うことで5名の職員が夜勤を含む全ての勤務をデビューすることができました。またBS（ベーシックスキル）研修も2回に分けて開催し法人の求める人財育成に繋がったと考えています。

目標⑤：「先手のケア」

気付きの重要性を他職種で共有し先の生活を見越した支援（先手のケア）をする事で、入居者の安心した暮らしを支援していくと共に、介護サービスの質の向上を図る観点から、介護サービスの質の評価と科学的介護の取組を推進しケアプランを通してエビデンスの可視化に努めていきます。

- ・入院日数 1,200 日/年
- ・協力医用機関及び配置医師との連携強化（協力医療機関連携加算・配置医師緊急時対応加算）
- ・科学的介護 LIFE（データに基づいた介護の可視化）による「根拠のある介護」の実践と他職種との連携強化（介護・看護・PT・栄養・相談）
- ・自立支援促進加算の評価と見直しによる適正運用（医師との連携）
- ・感染対策研修と訓練の継続的实施（年3回以上）

家族や本人の意向を都度、面談を通して共有し、早めの対応を心掛けていく事で、入院日数を524日に抑えることができました。加算関係につきましては、協力医療機関と書式等の見直し等を行い連携していく事で、令和7年度から「協力医療機関連携加算」と「配置医師緊急時対応加算」の算定を適切に行う事ができました。感染症対策についても大田区保健所主催の研修会及び内部研修と動画視聴研修を年4回実施し感染症に対する意識を高めていく事で、集団感染を適切に防止することができました。

目標⑥：「スマート化」

好日苑でいう「スマート化」とは、余計な肉を取り必要な部分は残すために、筋トレとしての研修や、共通書式等による事務作業の簡素化、職員協働による業務の効率化を図ることを目的としています。

- ・生産性向上に向けた働きやすい職場環境創り
- ・介護に専念できる介護職員配置
本館 2.8 対 1（35 人）
新館 2.0 対 1（30 人）
介護補助員（本館 2 名/日・新館 1 名/日）
- ・5S（整理・整頓・清潔・清掃・躰）活動
- ・3M（ムリ・ムダ・ムラ）の削減
- ・介護・看護業務の整理と効率化
- ・業務マニュアルの見直しと更新

生産性向上に向けた働きやすい職場環境創りとして各役職者による 1on1 ミーティングを実践し、現場の課題を共有。風通しの良い職場環境とすることで、年間7名の退職（離職率 11.9%）に抑えることができました。介護

に専念できる介護職員配置については、令和7年度は雇用変更も含めて介護職員8名、看護職員3名の計11名の採用を行うことができました。尚、令和8年度の学校新卒者も令和7年度中に2名の内定を確定することができました。

「好日苑における6つの取り組み×SDGs」

	【食品ロス解消】 ・利用者の状態に合わせた適正食量の提供 ・ネットスーパーの適正利用		【節水】 ・食器洗い、入浴時のシャワー節約 ・（ハード・ソフト）		【温室効果ガスの削減】 ・エアコンの適正利用 ・EV利用率の削減・職員は階段利用 ・20分以上はアイドリングSTOP
	【産業と技術革新の基盤】 ・介護ロボットプラットフォーム事業への参画		【トイレに臭気NO】 ・トイレ空間の見直し		【コピー用紙の削減】 ・両面・裏面印刷、1/2印刷など ・原則社内資料は白黒印刷を標準化 ・印刷前のプレビュー確認を徹底し、ミスプリントを防ぐ ・QRコード、電子化、ペーパーレス化

好日苑のSDGsの取組の評価として、食品ロスの解消では、入居者の状態に合わせた食事提供方法を実践することで、全体の喫食率が91.1%と前年度(89.3%)より1.8%増加し食事の残渣を減らすことができました。

節水と温室効果ガスの削減では、無駄な排水を無くす意識を持っていく事で、水道の使用量は昨年度の22,397 m³から22,160 m³とやや減少させることに成功しましたが、電気使用量は酷暑の影響もあり、やや使用量が増加しました。今後も適正利用に努めていくこととしています。

【 係長会議(3C) 】

① 利用者：入院日数削減への提案・取組

1,200日/年の目標に対して、「先手のケア」の取り組みで早期発見・早期対応を心掛けていく事で、感染症の集団感染等もなく入院日数を524日と、昨年度と比較して153日間減少することができました。

② 職 員：人財確保対策

東京都の人材確保総合事業である人材確保コンサルティングを受講しハローワークの求人票を見直すと共に、大田区主催の就職面接会に参加しました。

採用活動の実績としましては、東京都の介護職員就業促進事業にて1名の職員採用、またハローワークの紹介や響会採用サイトからの直接応募、非常勤職員からの雇用変更等、令和7年度は11名の正規職員採用に繋げる事が出来ました。

就職フェア	
令和7年10月25日	大田区 ふくしのしごと市 1名採用(看護職員)
令和8年3月11日	おおた介護のお仕事就職相談・面接会

採用状況	正規職員		非常勤職員		派遣職員	
	入職	退職	入職	退職	入職	退職
介護職員	7	7	1	0	0	2
看護職員	3	0	0	0	4.2 (5)	4.2 (5)

* ()内は実数

③ 経 営：特養 138床 特養稼働目標 96.6%

ショートステイ 19床 ショート稼働目標 108%

施設稼働目標 98.0% 入院日数 1,200日/年

令和7年度稼働実績

特養 97.3% ショートステイ 113.6%

施設稼働 99.3%、入院日数 524日/年(前年度比較-153日)

稼働実績については、令和6年度と同様に全ての部門で目標を大きく上回る事が出来ました。「先手のケア」の実践による入院日数削減と「断らないショートステイ」の実践による空床ベッドの活用等が上手く噛み合った事が目標達成の要因の一つと考えています。

【 看護師会議 】

① 先手のケア

- ・入院日数 1,200 日/年
- ・他職種との連携強化(介護・看護・PT・栄養・相談)
- ・医療との連携

② スマート化

- ・5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)の徹底
- ・看護業務の効率化
- ・業務マニュアルの更新

③ 穏やかな看取りケア【Peaceful Care】

- ・看取り期における本人の意思を尊重したケアの充実
- ・看取り前段階からの他職種とのケアの連携、医療との連携

【 本館会議 】「好日苑における6つの取り組み×SDGs」

- 重点目標1:「職員育成システム」
- 重点目標2:「スマート化」
- 重点目標3:「先手のケア」
- 重点目標4:「穏やかな看取り介護」
- 重点目標5:「次世代介護の実践」
- 重点目標6:「認知症ケア」

令和7年度は、職員育成を最重要課題と捉え、本館内部研修の充実をはかりました。

また実施して終わりにならないように、火が消えないような仕掛けをしていく重要性も学びました。併せて日々のOJT、ミーティングを活性化させてコミュニケーションを活発に行うよう働きかけました。令和8年度も、常に「会話」を大切にして、本館チームケアの確立を目指していきます。

【 新館会議 】

① 利用者:”専門性”と”想い”を汲んだケア(当たり前の生活)

- ・新館全体でのカバー体制構築に向けて
- ・「24時間の暮らしの継続」に向けて(ユニットケアの実践)
- ・スマート化から利用者視点への変化

『好日苑ユニットケアの実践から定着』

～ユニットケアを現場職員とも共有とりあえずやってみようをキーワードに～

ユニットリーダー研修を全リーダーが受講することができました。得た知識を日々の暮らしに活かしていくことができました。ただ、リーダーだけで留まっており、継続性が課題となっています。令和8年度は現場職員たちへのフィードバックに力を入れていきたいと考え、NEXTメンバー向けに毎月「ユニットケア勉強会」を実施していきます、定着できるように取り組んでいきます。

Ⅱ 生活支援

1. 情報の共有化を図り、多職種協働のケアを提供します。

（１）ケアプランの質の向上について

施設での生活は、画一的になってしまう傾向にありますが、科学的根拠に基づいた支援の提供に向けて、介護サービスの質の向上のためのデータベースシステムである科学的介護情報システムを導入しています。また３月に、ベッド上の入居者の睡眠状態や体動を非接触でリアルタイムにモニタリングできる介護・見守りシステム「眠りスキャン」を全床に設置しより入居者の生活に合わせたケアプランに繋がるように活用していきたいと思います。介護業界もDX化が進んでいる中で、時代に順応した柔軟な視点を持ちケアプランの質の向上を図るとともに、好日苑の理念である「安心と暖かさ」の実現のために、人と人の関わりを大切に取組んでいきます。

（２）本館業務改善と職員育成

令和７年度は、ネクスト職員を本館内部研修の講師として、内部研修の充実を図りました。内容に関しても、本館ならではのものと考え「安心入浴」「アセスメント」「横断業務」研修を実施しました。参加者の声からもそれぞれ成果があったと評価しています。そして講師自身の成長にも繋がったと感じています。また無資格未経験職員の入職も多く、「介護とは」から教えていく必要、基本の介助から指導していく必要を感じ、OJTを「する側」のスキルアップこそ重要と感じる１年でした。

８年度も、職員育成が最重要課題ととらえ、新人職員、中堅職員、役職者の全体的な底上げを目指して、個の職員の力でなく、職員同士が繋がり、広がる本館ならではの「チームケア」を確立していきます。

（３）新館業務改善と職員育成

令和７年度は、「まずはやってみよう」をキーワードに、入居者、職員にとって良いと思うことは取り組んでいこうという意識で進めていきました。厨房機器の入れ替え作業のため、使い捨て容器での提供の話がありましたが、せっかくの機会だからユニットで盛り付けをしよう。ということになり、慌ただしさもある中、入居者の好みを考える機会になりました。入浴についても「私の好みの入浴表」を作成し、どの職員が対応しても安心して気持ちよく入浴時間を過ごしていただけるようにしました。職員の動きも無駄がないように生産性を上げられるものともなっています。入浴担当とユニット職員の連携がスムーズになることでさらに、生産性を上げていきたいと考えています。考えて行動し、限られている時間を効果的に使うことができるように、職員のスキルアップに努めていきます。

2. 「安心と暖かさ」を感じられる看取り介護を目指します。

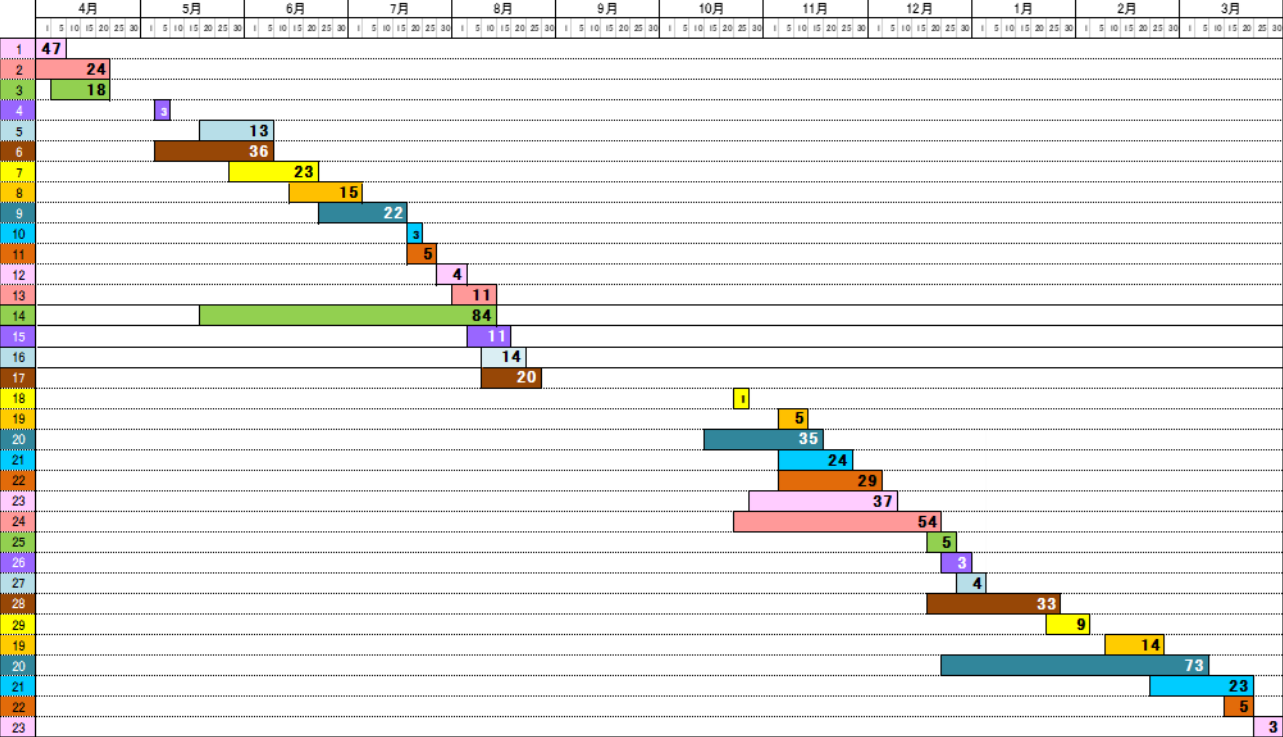
配置医師による家族への病状の説明を行い、苑での看取り介護についての説明と同意を経て実施しました。令和７年度は退居者５４名のうち３４名の方（６３％）を苑にて看取ることができました。

令和６年度の５６％に比べ看取り介護を実施した方が増加し、好日苑での看取り介護の考え方の幅が広がったと考えています。尚、令和７年度の看取り介護実施期間の合計は７１０日間で、看取り介護期間の平均は２１日間でした。（表②）平成１８年度から令和７年度までの２０年間で、看取り介護を実施した方の総数は３６４名となりました。

今後も、Peaceful Careの体系図『図１』に基づいて、出来る限り長く経口摂取が出来る支援、看取る側、看取られる側の立場に立った支援を行っていきます。

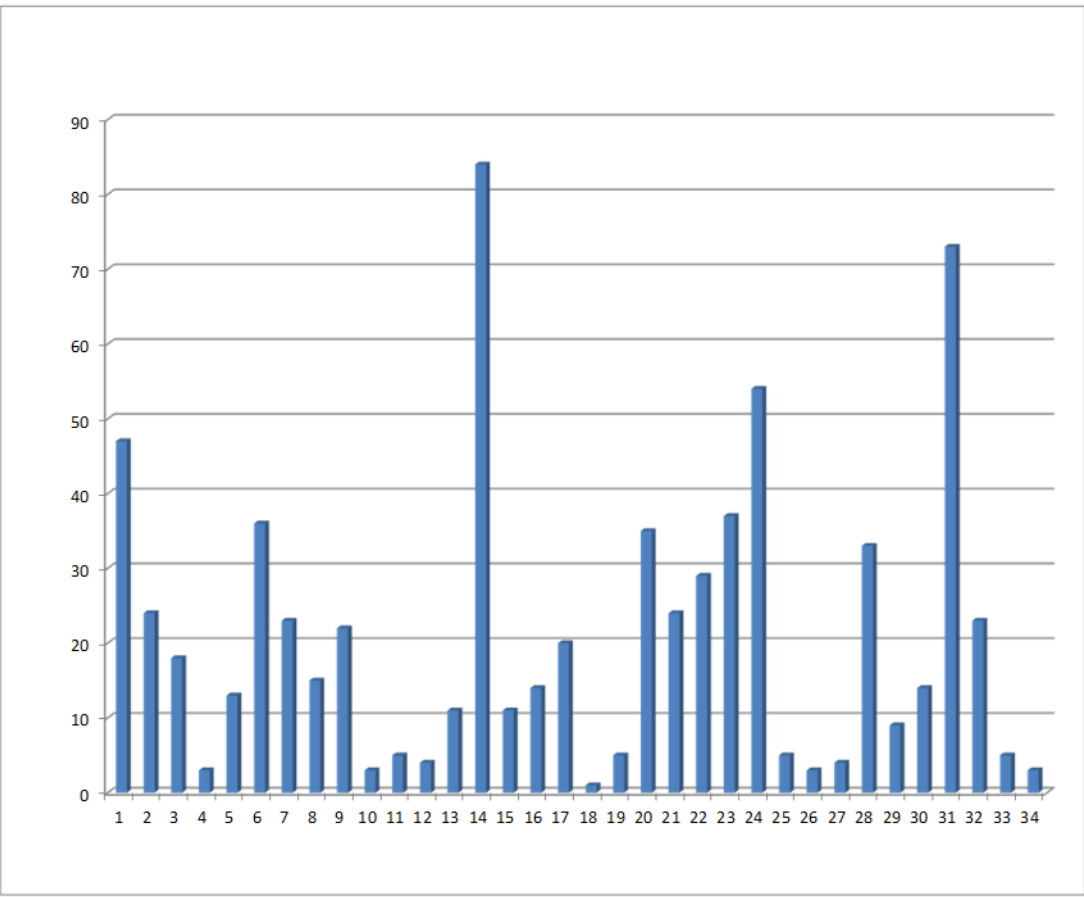
【看取り介護時期と日数のグラフ】①

令和7年度 看取り介護時期と日数



【看取り介護期間】②

対象者	看取り介護期間
1	47
2	24
3	18
4	3
5	13
6	36
7	23
8	15
9	22
10	3
11	5
12	4
13	11
14	84
15	11
16	14
17	20
18	1
19	5
20	35
21	24
22	29
23	37
24	54
25	5
26	3
27	4
28	33
29	9
30	14
31	73
32	23
33	5
34	3
合計日数	710
平均	21



※ 令和7年度に看取り介護で退居された方は34名となり、平均看取り介護期間は21日間でした。

『図 1』

好日苑 【 Peaceful Care (穏やかな看取り介護) 】の体系図 (目安)

藤島式嚥下グレード	IV 正常		Ⅲ 軽症			Ⅱ 中等症			Ⅰ 重症		経口不可
	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
食形態	常食	刻み食	なめらか食(ソフト)				水分トロミ又はゼリー			皮下点滴	
		やわらか食				ミキサー食					
食提供	3食経口摂取				2回食又はハーフ食			楽しみ経口摂取		経口不可	
	補助栄養							胃瘻の選択			
栄養ケアマネジメント	低リスク						高リスク				
					中リスク						
経口維持往診(VE)					内視鏡検査						
配置医師面談	入居時Dr面談										看取り介護Dr面談
	状態変化(入退院等)時Dr面談						胃瘻選択面談				
	(1)看取り介護 説明 CM面談				(2)看取り介護 導入(判断) Dr面談						》
	① BMI 16.0 以下				CMより 看取り介護意向 の確認を継続し て行う		① 面談後BMI 14.5 以下				
② 摂取カロリー700kcal以下				》		② 摂取カロリー500kcal 以下				》	
(喫食率1/2(50%)以下)						又は喫食率1/5(20%)程度					
※ ①と②の両方の条件を満たす方						③ 嚥下グレード⑤以下					
※ 【看取り介護に関する事前確認書】の再提出(胃瘻・延命希望も確認)						※ 原則として①②③の全ての条件を満たし、医師が判断した方					
《 《 Peaceful Care 『時間の流れ』 《 《											

穏やかな看取り介護

(1) 顧みる看取り介護

令和7年度は、退居者53名に対して、本館で27名の方、新館で7名の方の看取り介護を実施しました。また、入院中に逝去された方が7名、苑内で逝去された方が9名、医療ニーズの高さから療養型病院へ移られた方が2名おりました。看取り介護以外での退居が増加した背景として、Peaceful Careの考え方を基に、最期までその方らしく過ごして頂くために、今その方に必要な事は何か、穏やかに過ごして頂ける環境はどこか、本人や家族の気持ちや意向に寄り添い一緒にその人の「暮らし」を考えていったことによる結果と考えます。

最近の傾向として、病院以外にも有料老人ホームやグループホームから入居される方が増えていきます。前施設での生活の継続ではなく、好日苑でその人らしく暮らして頂けるように、人として温もりのある関わりと本人を中心にした自然な支援を行う、Peaceful Careの実践に取り組んでいきます。

3. 安全なサービス提供をします。

令和7年度は事故報告書提出が317件(特養239件75%、ショートステイ78件25%)でした。令和6年度の299件と比較すると18件増加となりました。(表①) 要介護度の内訳では、要介護4と要介護5の方が60%を占め、要介護3を加えると85%となっており、令和6年度と同様に9割近くを占めています。(表②)

事故内容では「転倒滑落」57%、「投薬過誤」31%で全体の88%となっており、転倒滑落の事故及び投薬過誤の事故を減らす事が毎年の課題となっています。(表③)

① <令和6年度>

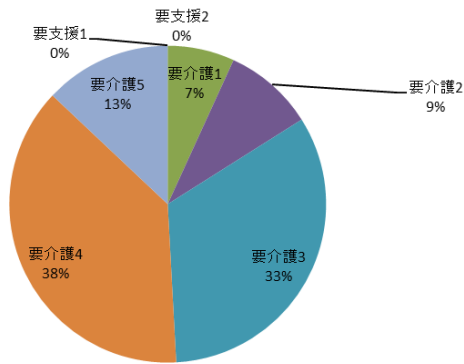
合計	特養	ショート	明け方	早朝	日中	夜間	深夜	本館	153	51%
299	209	90	12	46	129	62	50	新館	146	49%
割合	70%	30%	4%	15%	43%	21%	17%			

<令和7年度>

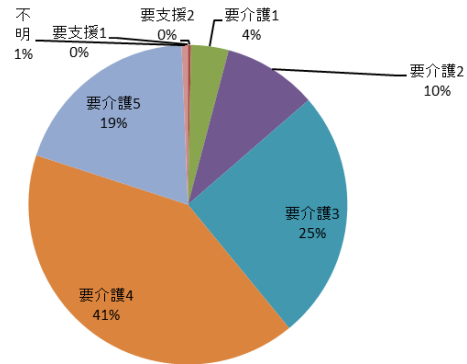
合計	特養	ショート	明け方	早朝	日中	夜間	深夜	本館	179	56%
317	239	78	19	60	136	54	48	新館	138	44%
割合	75%	25%	6%	19%	43%	17%	15%			

● 事故報告書【要介護度別】②

<令和6年度>

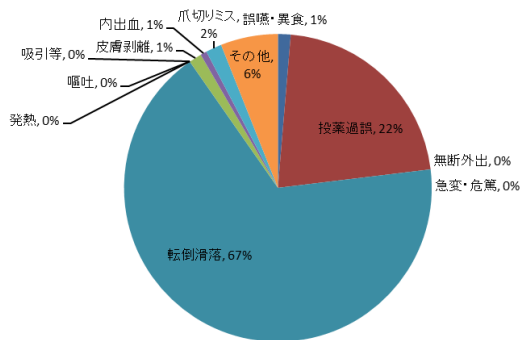


<令和7年度>



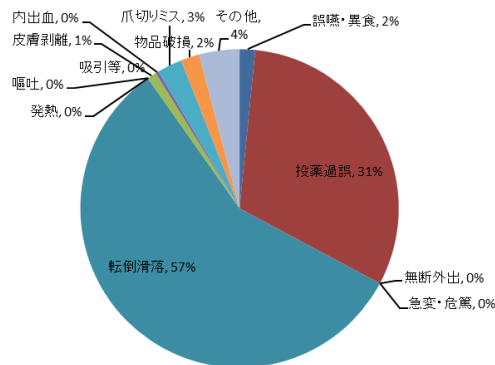
● 事故報告書【事故内容内訳】③

<令和6年度>



発生事項		
誤嚥・異食	1%	4
投薬過誤	22%	65
無断外出	0%	0
急変・危篤	0%	0
転倒滑落	67%	201
発熱	0%	0
嘔吐	0%	0
吸引等	0%	0
皮膚剥離	1%	4
内出血	1%	2
爪切りミス	2%	5
その他	6%	18
合計		299

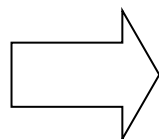
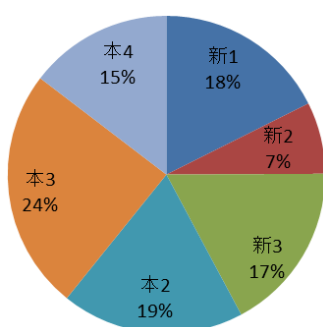
<令和7年度>



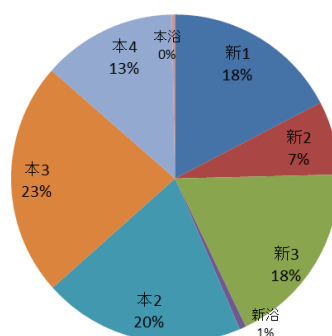
発生事項		
誤嚥・異食	2%	5
投薬過誤	31%	99
無断外出	0%	0
急変・危篤	0%	0
転倒滑落	57%	182
発熱	0%	0
嘔吐	0%	0
吸引等	0%	0
皮膚剥離	1%	3
内出血	0%	1
爪切りミス	3%	8
物品破損	2%	6
その他	4%	13
合計		317

● 事故報告書【事故報告書のフロア別割合】④

<令和6年度>



<令和7年度>



● 事故報告書【フロア別割合の前年度比較】⑤

令和5年度		令和6年度		増 減	
新1	53	新1	71	34%	13%
新2	22	新2	34	55%	
新3	52	新3	41	-21%	
本2	56	本2	52	-7%	-14%
本3	74	本3	57	-23%	
本4	44	本4	44	0%	

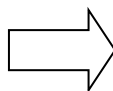
令和6年度		令和7年度		増 減	
新1	71	新1	55	-23%	-7%
新2	34	新2	23	-32%	
新3	41	新3	58	41%	
新浴	0	新浴	2		
本2	52	本2	63	21%	14%
本3	57	本3	73	28%	
本4	44	本4	42	-5%	
本浴	0	本浴	1		

【転倒滑落事故について】

転倒事故報告件数は182件と、令和6年度と比較して19件減少も、変わらず件数が多い結果となりました。（表⑥）事故報告317件の中で最も多かった転倒事故（全体の57%）の傾向をみると、令和6年度と同様に、特定の入居者の繰り返しでの転倒事故が多く、その方々の転倒事故発生リスクをリスク管理委員会等において分析し、個別に対策を立てていますが、事故を減らすには至りませんでした。また限られた職員の中で転倒を防ぐには、職員の気付き（配慮）が必要であると考えています。令和8年度は転倒へのリスクに対し、次世代介護機器の『眠りSCAN』等も活用しながら、個別ケア視点でのリスクマネジメントおよび出来る限りの余暇活動（レクリエーション等）や個別機能訓練を実施し身体を動かす機会を支援する事で、少しでも生活のリズムを整えていく事で、事故再発防止に努めていきます。

⑥ ＜令和6年度転倒滑落件数＞

本館2階	特養	15	36	104	52%
	SS	21			
本館3階	特養	34	38		
	SS	4			
本館4階	特養	30	30		
	SS	0			
新館1階	特養	18	52	97	48%
	SS	34			
新館2階	特養	16	18		
	SS	2			
新館3階	特養	23	27		
	SS	4			
合 計 (転倒滑落)			201		



＜令和7年度転倒滑落件数＞

本館2階	特養	11	27	94	52%
	SS	16			
本館3階	特養	41	41		
	SS	0			
本館4階	特養	24	26		
	SS	1			
	本浴	1			
新館1階	特養	14	29	88	48%
	SS	15			
新館2階	特養	12	13		
	SS	1			
新館3階	特養	45	46		
	SS	1			
合 計(転倒滑落)			182		

4. 生活の場としての空間を提供します。

(1) 本館

令和6年度の大規模改修工事後、令和7年度は、その状態の維持に努め、入居者にとっては過ごしやすい環境、職員にとっては働きやすい環境を保つことができました。次年度以降も、この環境を継続して維持していくことを目指し「安心して落ち着いて過ごしやすい空間作りに努めていきます。

(2) 新館

居室内装工事後の維持を意識し、居室清掃も介護補助員中心に行いました。リビングでは居心地がいい空間作りを模索し、入居者の意見や、介入の度合いなども意識し、試行錯誤しながら模様替えをしています。居室でゆっくり、リビングは他の方とおしゃべりしてゆったり過ごしていただけるよう、職員も空間の一つとしてとらえ、環境整備を行っていきます。

5. 生活に変化を創り、健康増進を図ります。

(1) 本館

令和7年度も、日常生活に彩を与えられることを目的として、「彩活動クラブ」を継続して本館全体で協力しながら余暇活動の充実を図ってきました。イベントを企画したり、入居者に季節や花の匂い、風を感じて頂き、QOLの向上、自立支援への意欲向上に繋がりました。また毎朝入居者とともにラジオ体操を行い、健康に努めました。令和8年度は、イベントだけでなく、日常の中でも、隙間時間を有効活用しながら、生活に変化を創り、健康増進を図っていきます。

(2) 新館

季節感を大事にした、ユニット空間づくりを意識しています。春には、ひな祭りに向け、雛飾りを一緒にしたり、夏には少しでも涼しい雰囲気をと、手作り風鈴を作成しました。秋には冬に向け、衣類の衣替え、冬は雪を触るなど、施設の中でも四季を感じていただけるようにしました。この季節には何がおいしいよね～。という会話も彩りになっています。

6. 生活リハビリ (ALCT)

令和7年度は、昨年度全フロアに配置された Hug や新たな浴室用 Hug を活用し、より入居者の生活と残存機能に合わせた排泄や入浴介助が行えるようになりました。また、今年度は「次世代介護実践チーム (NGCT)」のメンバーと共に、介護機器を適切に活用できるよう毎月介護機器の活用状況の確認を行い、適切に使用されているのかも評価と検討を行いました。さらに、車椅子レンタルパックを導入し2年経過しましたが、入居者個々の体型や能力に合わせた車椅子が提供でき、車椅子を自走可能な入居者では本人のペースで過ごせることで自立支援を継続的に行うことができています。今後は、今年度導入された眠りスキャンを活用し入居者一人一人の生活に合わせた生活支援が行えるよう取り組みます。

Ⅲ 相談支援

1. 入居希望者の情報を把握し、迅速な入居手続きを行います

令和7年度は表①のとおり、退居者数は54名となり、退居率は39%で前年度の退居率26%と比較して13%退居率が増加しました。この内1名が本館から新館へ居室移動をされた方となりますので、実際は53名の退居となります。本館では39名の方が、新館では15名の方が退居され退居率は本館が44%、新館が30%でした。

大田区から受理した待機者リストは表②のとおり102件で、そのうち50件(49%)は入居に結びつけることが出来ませんでした。その理由は表③のとおりとなっており、家族都合で、有料ホームに入所継続という理由が一番多く、次いで在宅介護や老健を継続したいとの理由で全体の78%でした。尚、待機中に逝去された方が3名おりました。また施設都合で入居できなかった方も11名おりました。

<令和7年度 入退居実績> ①

1.入退居者数									≪館内移動(本館⇒新館1名)(新館⇒本館名)≫									
	本館			新館			合計			入居前					退居後			
	入居	退居	在籍	入居	退居	在籍	入居	退居	在籍	自宅	老健	病院 医療院	有料H 宿泊費	GH 経費 小多機	病院 逝去	苑内 逝去	看取 介護	医療院 他施設
年度当初	—	—	88	—	—	49	—	—	137									
4月	2	3	87	2	2	49	4	5	136	1	1		1	1	2		3	
5月	3	3	87	1	0	50	4	3	137	1	1		1		1		1	
6月	3	3	87	1	1	50	4	4	137	2		1	1			1	3	
7月	4	6	85	0	0	50	4	6	135		2	1	1			1	4	1
8月	3	4	84	0	3	47	3	7	131		1		2			1	6	
9月	5	2	87	3	4	46	8	6	133	3	2	1	2		2	3		1
10月	2	2	87	3	0	49	5	2	136	1	1	1	2			1	1	
11月	2	3	86	1	0	50	3	3	136				2	1			3	
12月	5	4	87	0	1	49	5	5	136	2		2		1			5	
1月	3	2	88	2	3	48	5	5	136	1		3	1		1	2	2	
2月	1	2	87	2	0	50	3	2	137	2			1				2	
3月	4	5	86	0	1	49	4	6	135	1	2	1			1		4	1
合計	37	39		15	15		52	54		14	10	10	14	3	7	9	34	3

令和7年度「特養入居リスト受理実績」

②

本館	受理	82
	入居可	38
	不可	44
① リスト受理から入居可までの割合		46%
② 不可になったケースの割合		54%
新館	受理	20
	入居可	14
	不可	6
① リスト受理から入居可までの割合		70%
② 不可になったケースの割合		30%
全館受理リスト数		102
全館入居受入可数		52
全館調査段階終了数		50
① 全館リスト受理から入居可までの割合		51%
② 全館不可になったケースの割合		49%

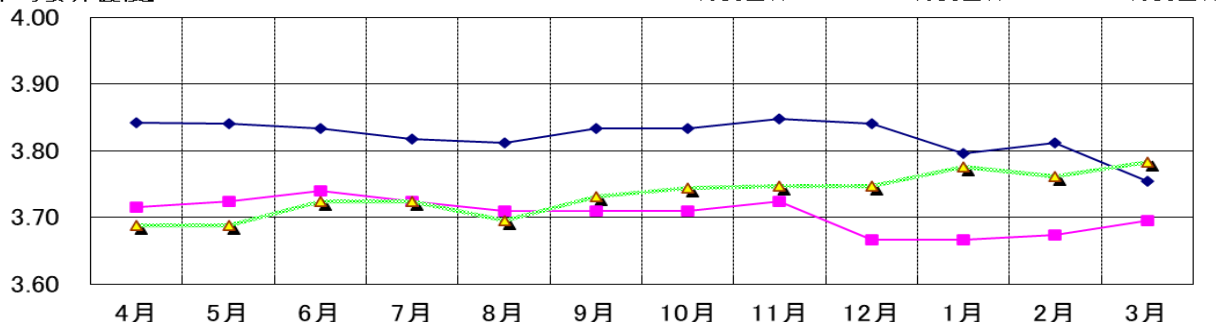
令和7年度「特養入居不可の理由」

③

理 由		件数
家族都合	有料ホームに入所継続	10
	個室希望	4
	老健・療養型入所継続	9
	他特養への入居	1
	在宅生活を継続	9
	経済的に困難	0
	その他	3
施設都合	経済的に困難	0
	契約者が居ない	0
	医行為対応不可(鼻腔・吸引回数・IVH)	3
	入院中	2
	その他	6
待機中に逝去		3
合 計		50

【特養全体】令和7年度平均要介護度の推移 ④

【平均要介護度】



⑤ 平均要介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
R5特養全体	3.84	3.84	3.83	3.82	3.81	3.83	3.83	3.85	3.84	3.80	3.81	3.75	3.82
R6特養全体	3.72	3.72	3.74	3.72	3.71	3.71	3.71	3.72	3.67	3.67	3.67	3.70	3.71
R7特養全体	3.69	3.69	3.72	3.72	3.70	3.73	3.74	3.75	3.75	3.78	3.76	3.78	3.73
本館	3.66	3.65	3.70	3.69	3.66	3.69	3.68	3.67	3.69	3.74	3.74	3.76	3.70
新館	3.74	3.76	3.76	3.78	3.76	3.80	3.86	3.88	3.84	3.84	3.80	3.82	3.80

【本館・新館】令和7年度新規入居者の要介護度 4.5 割合 ⑥

本 館	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/月平均
要介護1～3	0	2	1	1	0	1	0	1	0	0	0	1	7
①要介護4～5	2	1	2	3	3	4	2	1	5	3	1	3	30
②新規入居者計	2	3	3	4	3	5	2	2	5	3	1	4	3
①÷②新規入居者70%	100%	33%	67%	75%	100%	80%	100%	50%	100%	100%	100%	75%	82%
6ヶ月平均70%	62.5%	70.0%	63.6%	72.7%	73.3%	75.0%	75.0%	75.0%	78.9%	85.7%	90.0%	88.9%	
1年平均70%	80.8%	80.8%	73.9%	72.0%	70.8%	72.0%	71.4%	73.3%	73.3%	81.3%	82.9%	82.4%	

新 館	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/月平均
要介護1～3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
①要介護4～5	2	0	1	0	0	3	3	1	0	2	2	0	14
②新規入居者計	2	0	1	0	0	3	3	1	0	2	2	0	2
①÷②新規入居者70%	100%		100%			100%	100%	100%		100%	100%		100%
6ヶ月平均70%	80.0%	83.3%	83.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
1年平均70%	75.0%	76.9%	76.9%	75.0%	81.8%	81.8%	90.9%	92.3%	92.9%	100.0%	100.0%	100.0%	

令和7年度は平均要介護度 3.69 でスタートし令和7年度末には 3.78 と、0.09%介護度が上昇しました(表④⑤)。また、令和7年度の要介護度4と5の新規入居者の方の割合の平均は、本館では82%、新館では100%で、日常生活継続支援加算の条件を満たす事が出来ています。(表⑥)

2. 入居者が安心して過ごせる相談援助をします。

令和7年度も、1日最低2回のラウンドを行い、入居者の声に耳を傾け、必要に応じて個別に話を聞き、入居者の悩みや相談に対する援助を行なってきました。また入居者の重度化に伴い、家族からの相談機会も増えてきました。話しを伺う時間を都度調整し、じっくり相談に耳を傾けることで、家族からの相談援助も行なえたと思います。

ケアプラン作成の際には、各専門職種によるサービス担当者会議を開催し、ケアプランの説明には入居者本人が理解を得られる状況の場合は、積極的に家族と同伴で説明機会を造り、入居者本人が自身の支援について納得頂ける様努めました。

3. 家族との交流を促進します。

(1) 本館

令和7年度は、6年度に引き続き予約制での面会を行ってきました。来苑時に日々の様子を都度、伝えながら、家族と交流を図ってきました。また合同活動報告会を開催して、好日苑での取り組みの共有をさせていただきました。令和8年度は、合同活動報告会と共に、各階での活動報告会を開催予定とし、より距離の近い報告会を目指していきます。引き続き「通い型介護」を実現すべく家族とともに、入居者の生活の向上を構築していきます。

(2) 新館

フロアで行う活動報告会(旧家族会)を再開することができました。日常の様子をスライドショーにしてみました。フロア、おやつ作りを一緒に楽しむフロアとありましたが、今後も定期的に行い、一緒に楽しい時間を過ごしていただけるよう工夫していきます。

4. 地域の交流を促進します。

(1) ボランティア受け入れ

令和7年度も積極的なボランティアの受け入れが出来ない一年でしたが、好日苑まつりの際に、介護実習に来ていた学生がボランティアに参加しました。また学校の休み期間(夏休みや春休み)を活用し、介護補助の体験ボランティアとして学生のボランティアの受入も実施しました。次年度も、地域交流の一環としてボランティアの方の受け入れを積極的に行っていきたいと思います。

(2) 実習生受け入れ

実習施設にとっては、様々な養成施設から実習生を受け入れ指導することで、職員自らの介護技術等の再認識の機会を得られ、サービスの質の向上にも繋がるというメリットがあります。

介護福祉士の倫理綱領に後継者の育成があげられているように、実習施設として、実習生が実習から様々な事を学べる環境を整備し、指導者側の意識を高めていくことが必要となります。

実習生の受入れも多様化してきており、令和7年度は、大学の介護過程の実習生3名、職業訓練校の実習生3名、高校生の職場体験実習5名、TOKYO介護チャレンジからの無資格未経験の実習生1名と、様々な年齢層、経験値も違い、実習の目的もそれぞれ異なります。

指導する側の指導育成も課題となっていてきており、限られた時間の中で有意義な実習が行えるようにしていく工夫も必要に感じています。実習を通して「介護に興味を持った」「好日苑って面白い」と感じてもらえるよう魅力ある介護施設を目指していきます。

5. オンブズパーソン相談日

令和7年度は、毎月1回の相談日を確保、本館・新館で延べ23名の方々の相談を受けて頂きました。法人に対する勧告はありませんでしたが、入居者からの個別の相談については、事実確認・改善を行い、入居者に安心して生活をして頂けるよう取り組みました。オンブズパーソン相談日があることを、ご存じない方も多くおりますので、いつでも相談できることを周知していきたいと思います。またオンブズパーソンは、法人の苦情に関する第三者委員も兼務して頂いておりますので、法人全体の投書箱（苦情や要望等の受付）である「こころの小箱」での受付内容も報告させていただきます。

『 令和7年度 オンブズパーソン委員会 』

日時：令和8年4月22日

内容：

- ① 施設長挨拶
- ② 職員紹介・委員紹介
- ③ 令和7年度 オンブズパーソン相談報告23件
- ④ 令和7年度 苦情報告2件
- ⑤ 感染症対応状況報告
- ⑥ 令和8年度のオンブズパーソン相談日程について

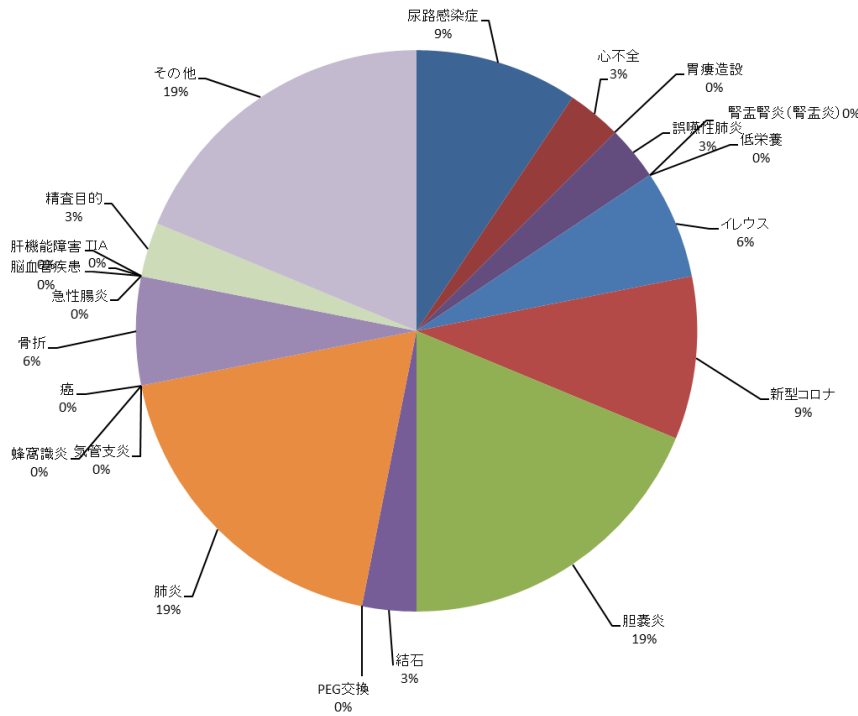
IV 健康管理

1. 入院の必要のない生活をしていただく取り組みをします。

令和7年度の入院日数は、令和6年度の入院日数677日に対し524日（－153日間）と年間1,200日以内の入院目標を大幅に抑えることが出来ました（表①②）。なお、入院された方は、令和6年度の34人と比較して令和7年度は25人に抑えることが出来ました。また1人当たりの入院日数も令和6年度の19.3日間にに対し令和7年度は18.1日間と約1.2日間抑えることができた結果となりました。

①

【令和6年度入院に至る疾病別割合】

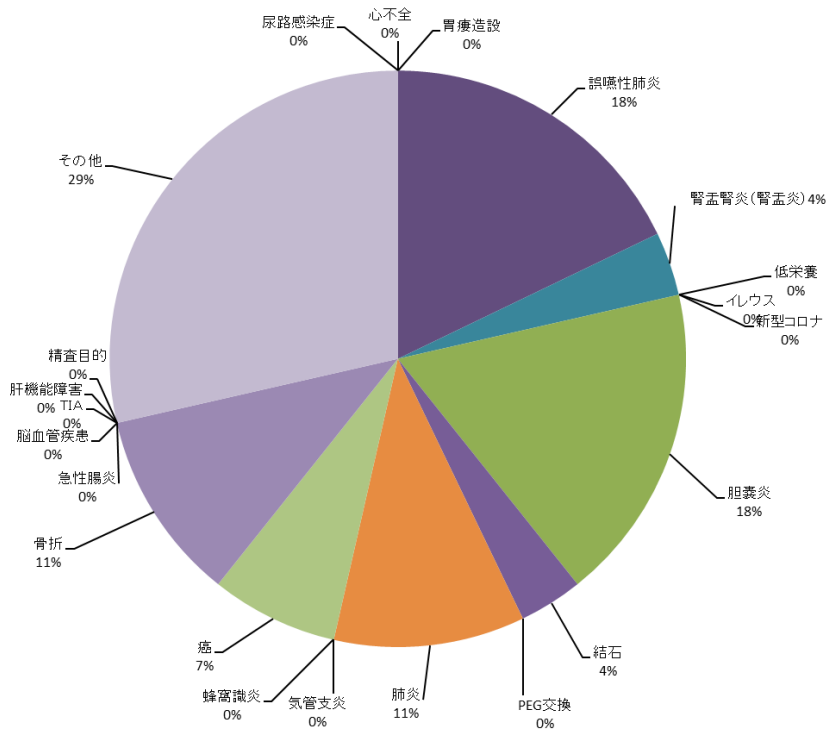


【令和6年度入院日数】

	入院日数
尿路感染症	40
心不全	7
胃瘻造設	0
誤嚥性肺炎	9
腎盂腎炎	0
低栄養	0
イレウス	52
新型コロナウイルス	41
胆嚢炎	148
結石	17
PEG交換	0
肺炎	162
気管支炎	0
蜂窩織炎	0
癌	0
骨折	60
急性腸炎	0
脳血管疾患	34
TIA	0
肝機能障害	0
精査目的	26
その他	81
合計	677

②

【令和7年度入院に至る疾病別割合】



【令和7年度入院日数】

	入院日数
尿路感染症	0
心不全	0
胃瘻造設	0
誤嚥性肺炎	121
腎盂腎炎	23
低栄養	0
イレウス	0
新型コロナウイルス	0
胆嚢炎	87
結石	3
PEG交換	0
肺炎	36
気管支炎	0
蜂窩織炎	0
癌	48
骨折	89
急性腸炎	0
脳血管疾患	7
TIA	0
肝機能障害	0
精査目的	0
その他	110
合計	524

R6	一人当たりの入院日数	19.3	日	⇒	R7	一人当たりの入院日数	18.1	日
----	------------	------	---	---	----	------------	------	---

	R7 入院日数	R6 入院日数	増減	%
尿路感染症	0	40	-40	0%
心不全	0	7	-7	0%
胃瘻造設	0	0	0	
誤嚥性肺炎	121	9	112	1344%
腎盂腎炎	23	0	23	
低栄養	0	0	0	
イレウス	0	52	-52	0%
新型コロナ	0	41	-41	0%
胆嚢炎	87	148	-61	59%
結石	3	17	-14	
PEG交換	0	0	0	
肺炎	36	162	-126	22%
気管支炎	0	0	0	
蜂窩織炎	0	0	0	
癌	48	0	48	
骨折	89	60	29	148%
急性腸炎	0	0	0	
脳梗塞	7	34	-27	21%
TIA	0	0	0	
肝機能障害	0	0	0	
精査目的	0	26	-26	0%
その他	110	81	29	136%
合計	524	677	-153	77%

『 入院疾病別日数前年度比較 』

【前年度と比較して増加した入院日数】

- ① 誤嚥性肺炎 112 日増
- ② 癌 48 日増
- ③ 骨折 29 日増
- ④ その他 29 日増

【入院に至る疾病順位（前年度増減）】

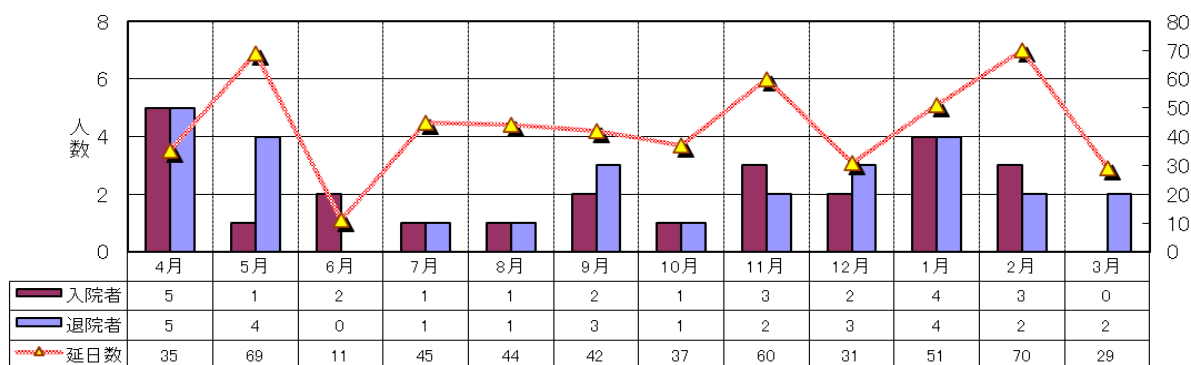
- ① 誤嚥性肺炎 121 日（+112 日）
- ② その他 110 日（+29 日）
- ③ 骨折 89 日（+29 日）
- ④ 胆嚢炎 87 日（-61 日）
- ⑤ 癌 48 日（+48 日）
- ⑥ 肺炎 36 日（-126 日）
- ⑦ 腎盂腎炎 23 日（+23 日）

入院された入居者は、要介護 4 と要介護 5 の方が全体の 80%（表④）で、やはり要介護の重い方の入院リスクが高いと言えます。

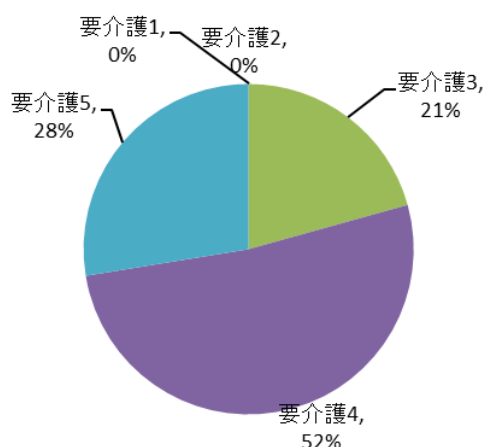
年間入院日数 524 日の月平均入院日数は、44 日と令和 6 年度と比較して 12 日間減少することができました。（表⑤）

本館での入院日数は、R6 年度 425 日が R7 年度 349 日で前年度と比べ-76 日間減少、新館での入院日数も、R6 年度 252 日が R7 年度 175 日で前年度と比べ-77 日間減少しました（表⑤）。

③ 【令和 7 年度 特養入院日数】



④ 要介護度別入院率



⑤ 入院者と入院日数

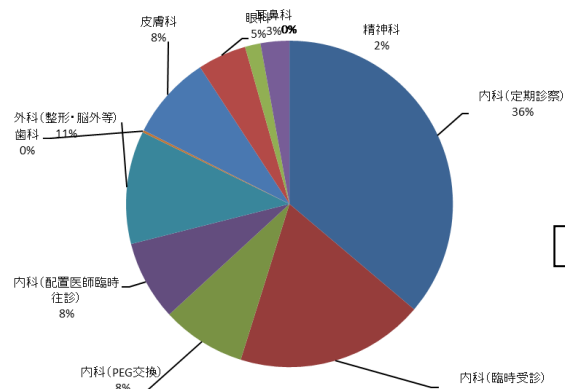
	本館			新館			合計		
	入院者	退院者	延日数	入院者	退院者	延日数	入院者	退院者	延日数
4月	3	2	23	2	3	12	5	5	35
5月	1	3	47	0	1	22	1	4	69
6月	1	0	0	1	0	11	2	0	11
7月	1	0	45	0	1	0	1	1	45
8月	1	1	44	0	0	0	1	1	44
9月	1	2	38	1	1	4	2	3	42
10月	1	1	37	0	0	0	1	1	37
11月	1	1	19	2	1	41	3	2	60
12月	1	2	28	1	1	3	2	3	31
1月	2	2	16	2	2	35	4	4	51
2月	2	0	23	1	2	47	3	2	70
3月	0	2	29	0	0	0	0	2	29
合計	15	16	349	10	12	175	25	28	524

【受診回数】

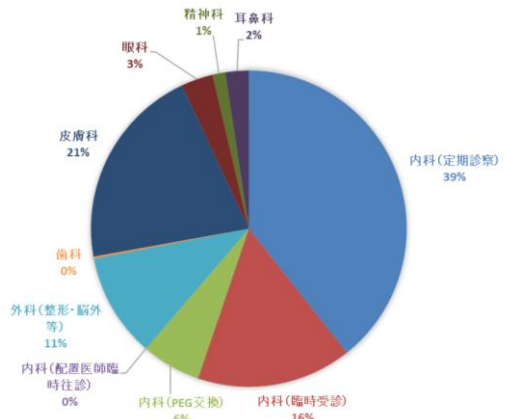
令和7年度も配置医師との連携の下、定期通院や臨時通院、また専門医への受診を延べ460回（前年度比+4回：表⑨）実施致しました。

⑥ 【施設通院対応（診療科別）割合】

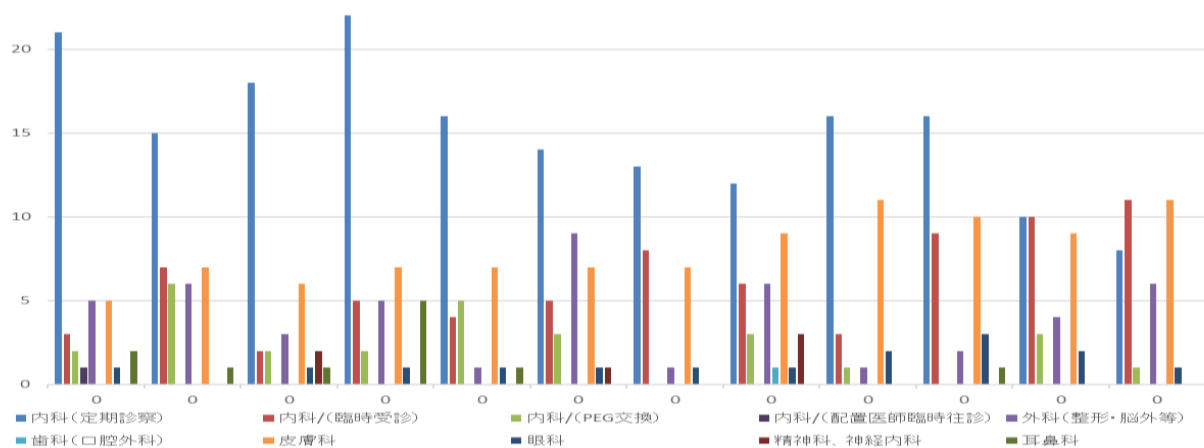
＜R6 年度＞



＜R7 年度＞



⑦ 『令和7年度月別受診回数』



⑧ 令和6年度【通院対応回数（苑送迎等対応分）月別件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科(定期診察)	16	14	18	18	21	30	15	10	11	5	5	2	165
内科/(臨時受診)	8	3	8	9	6	8	6	5	6	6	7	13	85
内科/(PEG交換)	2	2	2	1	5	10	1	2	1	2	6	4	38
内科/(配置医師臨時往診)	0	0	0	4	0	1	0	0	0	31	0	0	36
外科(整形・脳外等)	4	4	1	0	3	7	4	4	3	2	14	5	51
歯科(口腔外科)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
皮膚科	0	3	2	2	3	1	4	1	7	3	5	7	38
眼科	1	2	2	2	3	3	3	1	2	1	0	2	22
精神科、神経内科	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	1	7
耳鼻科	3	1	1	0	1	0	3	0	1	1	1	1	13
	36	29	37	37	42	60	36	23	31	51	39	35	456

令和7年度【通院対応回数（苑送迎等対応分）月別件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科(定期診察)	21	15	18	22	16	14	13	12	16	16	10	8	181
内科/(臨時受診)	3	7	2	5	4	5	8	6	3	9	10	11	73
内科/(PEG交換)	2	6	2	2	5	3	0	3	1	0	3	1	28
内科/(配置医師臨時往診)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科(整形・脳外等)	5	6	3	5	1	9	1	6	1	2	4	6	49
歯科(口腔外科)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
皮膚科	5	7	6	7	7	7	7	9	11	10	9	11	96
眼科	1	0	1	1	1	1	1	1	2	3	2	1	15
精神科、神経内科	0	0	2	0	0	1	0	3	0	0	0	0	6
耳鼻科	2	1	1	5	1	0	0	0	0	1	0	0	11
	39	42	35	47	35	40	30	41	34	41	38	38	460

⑨	R7	R6	±
内科(定期診察)	181	165	16
内科(臨時受診)	73	85	-12
内科(PEG交換)	28	38	-10
内科(配置医師臨時往診)	0	36	-36
外科(整形・脳外等)	49	51	-2
歯科	1	1	0
皮膚科	96	38	58
眼科	15	22	-7
精神科	6	7	-1
耳鼻科	11	13	-2
	460	456	4

<令和7年度の通院の特徴>

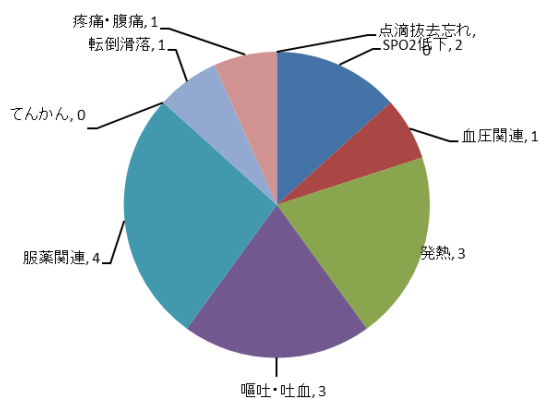
令和7年度の通院回数は460回と令和6年度の456回と比較して+4回とほぼ横ばいの状態でした。内科の定期診察と臨時受診等で日々の健康管理をして頂く事で、病状の重篤化を防ぎ、入院日数を抑える事ができました。(表⑧⑨)

2. 緊急連絡体制の継続と対応の確認をします。

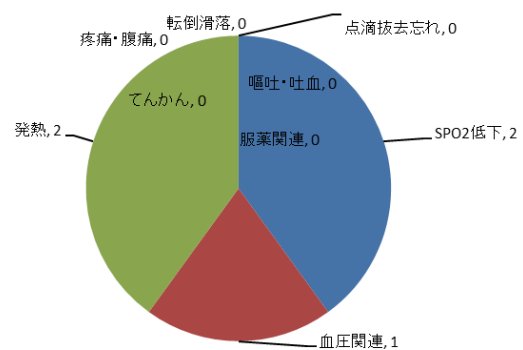
令和7年度のオンコール回数は5件で、令和6年度の15件と比較して-10件となっています。オンコール内容は、発熱2件、SPO2低下2件、血圧低下が1件でした。日中の様子で夜間帯に想定されるリスクを事前に多職種にて共有し、対策を周知しておくことで、オンコール件数が大幅に減少したと考えます。(表①②③)

① 【特養オンコール内容】

<令和6年度>

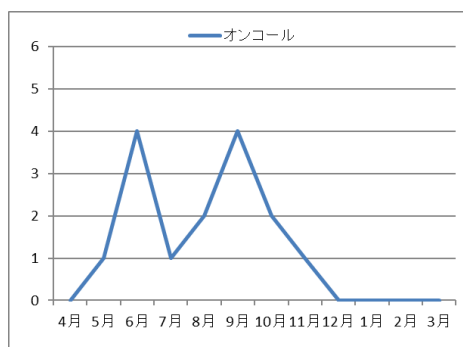


<令和7年度>

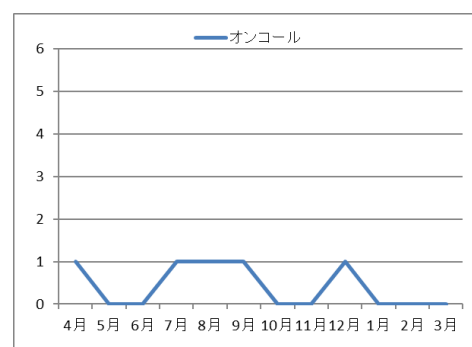


② 【オンコールの月別回数】

<令和6年度 (15件)>



<令和7年度 (5件)>



③ 令和7年度 月別オンコール件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
SPO ₂ 低下	1								1				2
血圧関連						1							1
発熱				1	1								2
嘔吐・吐血													0
服薬関連													0
てんかん													0
転倒滑落													0
疼痛・腹痛													0
点滴抜去忘れ													0
合 計	1	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	5

V 栄養管理

1. おいしい食事の提供をします。

食事は入居者にとって楽しみのひとつであり、「食べる」ことは生きていく上でとても大切です。

「食」を通じて生き甲斐や楽しみに繋がるように、環境づくりに心がけ、安心して安全な食事が提供できるように努めました。今年度も感染症対策しながら、デイサービスでは『イベント食』を楽しんで頂けるように内容の見直しを給食委託業者の調理師、栄養士と相談しながら行うことができました。またコロナ前のように、デイサービス『イベント食』に入居者を招待して召し上がって頂きました。同じ施設内でも普段と違った場所で召し上がることにより、外食にきたような感覚で召し上がることができ、少し緊張感もありつつ楽しんで頂く事ができました。入居者においても少しでも口から食べることができて、また楽しい食事が出来るように行事食(表①)、選択食(表②)、おやつバイキングを実施しました。おやつバイキングについては、今まで開催していた多種多様な洋菓子や和菓子を選ぶバイキングと、毎年好評である入居者が自らおやつ作りに参加できる夏期は「クリームあんみつ」、秋期は「フレンチトースト」を特養でも各フロア1回ずつ開催しました。「クリームあんみつ」では普段のおやつではなかなかお出しできないアイスクリームを用いて懐かしい甘味に笑顔が多くみられました。「フレンチトースト」においても甘い香りがフロアに広がり、出来上がりを楽しみにされる様子が見られました。入居者・利用者の声に耳を傾けながら、また献立内容もマンネリ化しないように今後も努めて参ります。

【栄養摂取基準（令和7月3月末日現在）】

エネルギー	1392kcal
蛋白質	55.6g
カルシウム	524mg
レチノール当量	614 μ g
ビタミン B1	0.76mg
ビタミン B2	0.73mg
ビタミン C	70mg
穀類エネルギー比	56.3%
脂質エネルギー比	23.7%
蛋白質エネルギー比	20.0%
食塩相当	8.9g

① 令和7年度 行事食一覧

4 月 お花見弁当	5 月 江戸前ちらし寿司	6 月 ご当地メニュー北海道
		
7 月 そうめん(七夕)	8 月 うなぎちらし	9 月 敬老のお祝い膳
		
10 月 きのごごはん	11 月 秋のちらし寿司	12 月 (クリスマス)
		
1 月 お正月御膳(1 日)	1 月 お正月御膳(2 日)	1 月 お正月御膳(3 日)
		
2 月 恵方巻き(節分)	3 月 ちらし寿司(雛まつり)	握り寿司
		

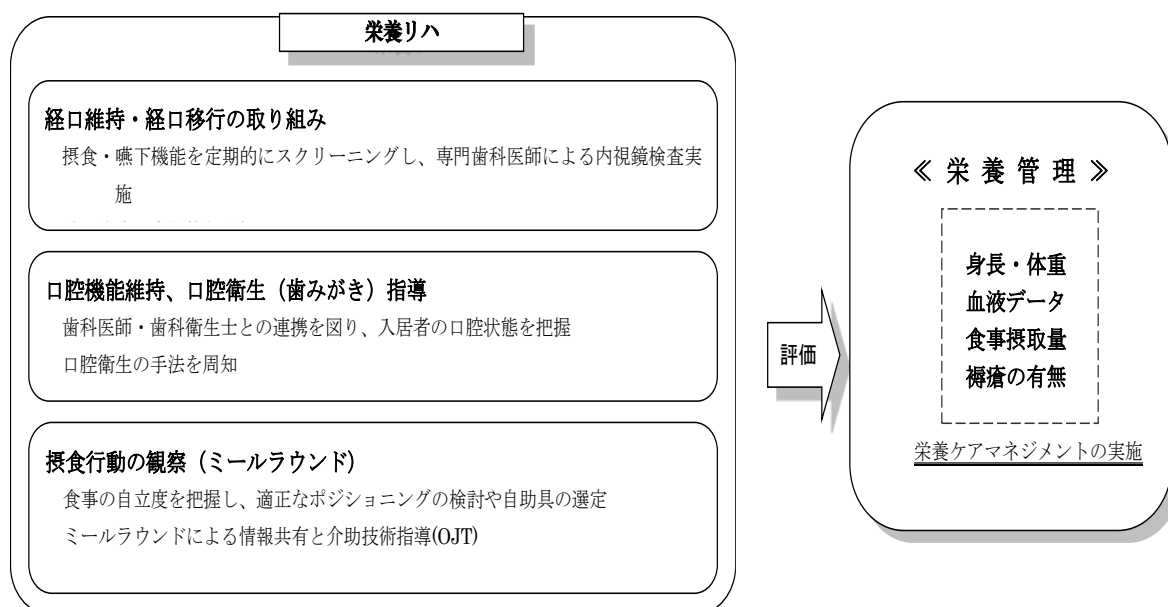
② 令和7年度 選択食一覧 (上段：Aメニュー 下段：Bメニュー)

4月	4/6 夕食時 白身魚のスープ煮	4/13 夕食時 サバの味噌煮	4/20 夕食時 肉団子と白菜の煮物	4/27 夕食時 豚肉の生姜焼き
	ガーリックチキン	和風スパゲティ	醤油ラーメン	エビと玉子の塩炒め
5月	5/4 夕食時 白身魚のフライ	5/11 夕食時 白身魚のさらさ蒸し	5/25 夕食時 マスのきのこソース	
	肉うどん	豚肉ソテーわさび風味	塩焼きそば	
6月	6/1 夕食時 白身魚の田楽	6/8 夕食時 タラの沢煮	6/15 夕食時 サワラの煮付	6/29 夕食時 サワラの幽庵焼
	かき玉うどん	牛肉のポン酢ソテー	豚肉のべっこう煮	担々麺
7月	7/6 夕食時 千草卵焼き	7/13 夕食時 アジの七味焼	7/20 夕食時 赤魚の粕漬け焼	7/27 夕食時 鶏肉のカレー風味焼き
	牛肉の煮物	塩ラーメン	鶏肉のピリ辛焼き	キャベツとしらすの スパゲティ
8月	8/3 夕食時 鶏肉とピーマン炒め	8/10 夕食時 白身魚の西京焼	8/17 夕食時 白身魚のフライ	8/24 夕食時 中華風玉子焼
	きつねそば	牛肉のおろし煮	とろろうどん	ホタテと野菜の中華炒め
9月	9/14 夕食時 サワラの和風ステーキ	9/21 夕食時 サワラの照焼	9/28 夕食時 豚肉と野菜のカレーソテー	
	醤油ラーメン	きのこそば	サバのみりん焼き	
10月	10/12 夕食時 ブリ照焼	10/19 夕食時 鶏肉の味噌焼き	10/26 夕食時 さわらの味噌焼き	
	鶏肉の香味ソース	味噌煮込みうどん	豚肉のわさびソテー	
11月	11/2 夕食時 豚肉のスタミナ焼き	11/9 夕食時 揚げ出し豆腐五目あん	11/16 夕食時 豚肉のカレー風味	11/23 食時 白身魚の和風ステーキ
	メバルのポン酢かけ	和風スパゲティ	きつねそば	牛肉の煮物
12月	12/7 夕食時 ガーリックチキン	12/14 夕食時 千草玉子焼	12/21 夕食時 ポークチャップ	
	豚肉のマヨ照焼	牛肉のレモン醤油炒め	たらこスパゲティ	
1月	1/11 夕食時 白身魚の焼き浸し	1/18 夕食時 オムレツ	1/25 夕食時 ブリの照焼	
	塩ラーメン	きのこのバター醤油 スパゲティ	鶏肉の甘酢あん	
2月	2/1 夕食時 麻婆豆腐	2/8 夕食時 中華風玉子焼	2/15 夕食時 白身魚の韓国風照焼	2/22 夕食時 マスの焼き浸し
	月見うどん	牛肉のオイスターソース炒め	豚肉の胡麻味噌煮	肉うどん
3月	3/1 夕食時 豚肉の梅しそ焼	3/8 夕食時 タラの香味焼き	3/15 夕食時 豚肉のマヨネーズ照焼	3/22 夕食時 麻婆豆腐
	牛肉の煮物	肉豆腐	カレーうどん	ソース焼きそば

2. 栄養マネジメントを適切に実施します。

「1回食」または「2回食」「ハーフ食」での食事提供、個別水分アセスメントによる適正水分量やOS-1(経口補水液)の活用、経口摂取と経管栄養の併用などにより、これまでよりも入居者のライフステージに合わせた栄養ケアマネジメントの設定が益々求められるようになりました。これは好日苑が“最期を看取れる施設”として、健康増進や栄養改善のみならず、体力に合わせた負担のない食事を効率よく摂取することや、本人の食べられるだけを中心とした苦痛のない食事、味わう程度の楽しみとしての食事など、入居者のライフステージが多様化してきていることによります。

令和3年度の介護報酬改定から「栄養マネジメント強化加算」が新たに創設されました。「食と栄養」がより重要となり、専門職として栄養マネジメントやミールラウンドの強化、低栄養状態の改善に向けた取り組み、維持に努めることができました。またその指標としてLIFE（科学的介護情報システム）に情報を提供し、PDCAサイクルに沿ったサービスの質の向上に繋げることができ、個別性のある栄養マネジメントの設定、モニタリングを行うことへ繋げています。また以前より使用している「栄養リハカルテ」については、継続して経口維持往診の際に情報共有のツールとして活用しています。



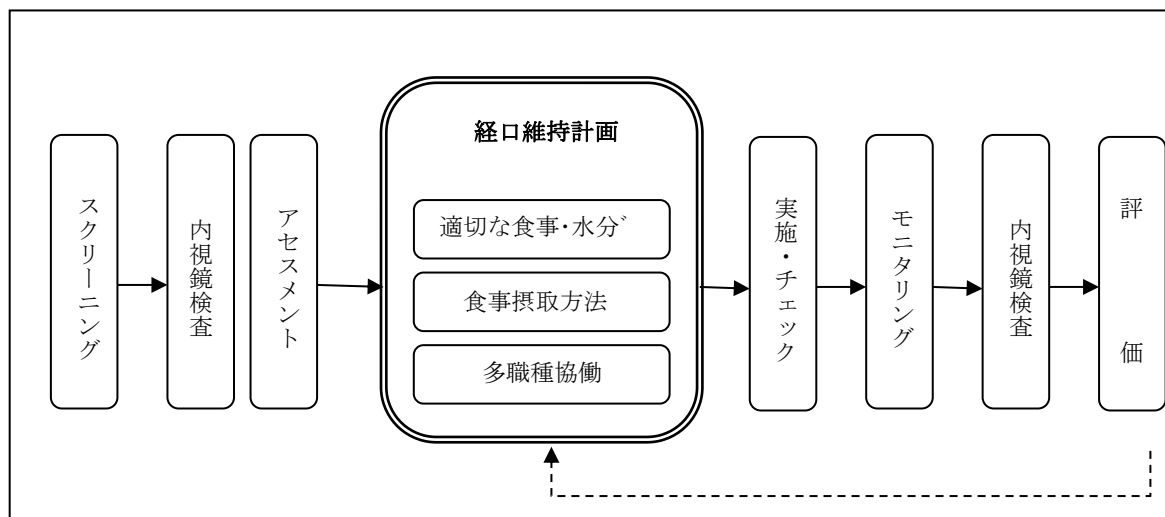
3. 経口維持計画、経口移行計画を適切に実施します。

経口維持計画の取り組みを始めて19年目となりました。昭和大学歯科病院歯科医師のご協力のもと、経口摂取への取り組みを円滑に維持することができました。今後も専門医の助言を頂きながらPeaceful Careの実現に向けて取り組んで参ります。

令和7年度は延べ21名の方に受けて頂くことができ、21名のうち13名(62%)の方が新規受診されました。また胃瘻入居者4名(9.5%)の方が、経口維持往診にて専門医による内視鏡検査を行い、現状の摂食・嚥下機能状態の評価を行いました。吸引の必要性やお楽しみの経口摂取が望めるかを評価して頂きました。内2名の方はしばらく経口摂取されていみせんでしたが、水分（加糖なし）から始まり、徐々におやつミキサーやジュース、アイスクリームなどお楽しみ程度の経口摂取に繋がり、胃ろうからの栄養と併用して生活の質向上に繋がることができました。経口維持往診スタート当初より『藤島式嚥下グレード』による機能評価法を導入し、内視鏡検査の度に摂食・嚥下機能のグレード付けを歯科医師にして頂き、どの程度の食事(内容や量)が食べられるのかを時間の流れと共に段階的に評価することで、その方のライフステージに合った【食】を提案できるように努めまし

た。また 21 名のうち 4 名(19%)の家族が経口維持往診の立会いをされています。実際の食事の様子や専門の歯科医師に直接、本人の状態について説明をして頂くことで、より具体的に現状の課題や支援方法を共有して頂けるように取り組んでいます。また、栄養リハカルテには歯磨き指導の助言内容や摂食・嚥下機能評価、入院歴等を記載し、医療に係わる情報を集約することで総合的な栄養ケアマネジメントの運営を目指しました。また今年度も継続して「経口維持加算」への取り組みを行っています。専門医の助言のもと多職種で情報共有しながら、その方に合わせた食事形態や内容、リハビリ的な取り組みを行いつつ、少しでも長く口から食べることができるよう支援しています。

『 経口維持計画 』



内視鏡検査の様子



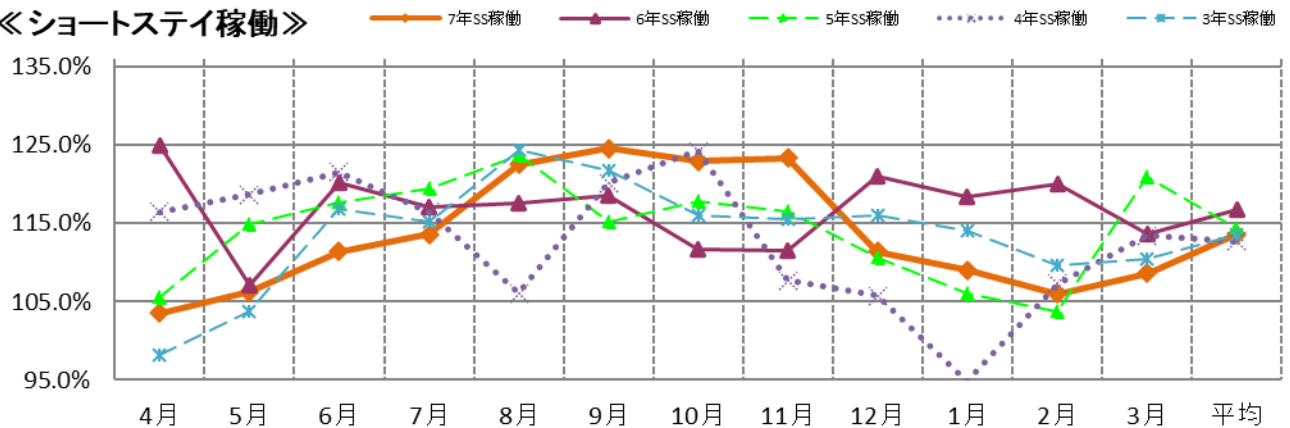
Ⅵ 短期入所生活介護

令和7年度も昨年度同様、平均年間稼働率113.6%と高稼働を維持する事が出来ました。（表①）医療ニーズの高い方や認知症の周辺症状で在宅介護が難しくなっている方を、家族や介護支援専門員、在宅の医療機関と連携を密に取り「断らないショートステイ」を実現したことが大きな要因と考えています。また緊急的な活用（独居や老々介護等）、また家族のキーパーソンとしての機能が不十分なケースも多く対応し、響会方程式の中でのショートステイの役割（寛ぎの提供、第2の我が家への繋ぎ役）を感じる事が多い一年でした。

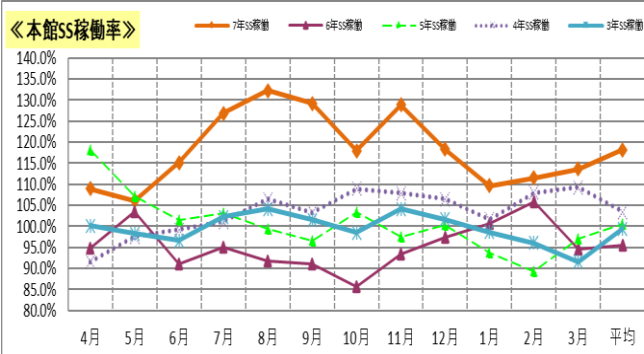
令和8年度も、家族、担当の介護支援専門員に選ばれる好日苑ショートステイを目指すとともに、更に法人内連携も強化していきます。

① 令和7年度【ショートステイ稼働率】

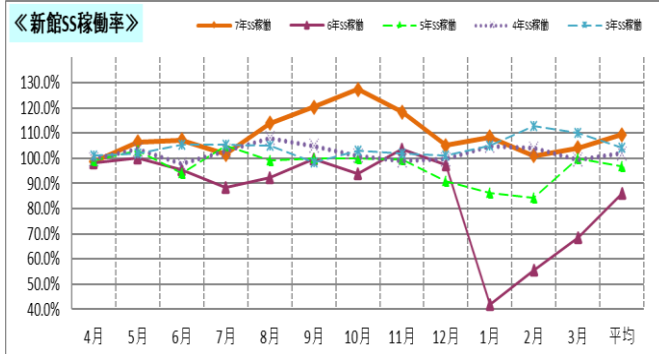
《ショートステイ稼働》



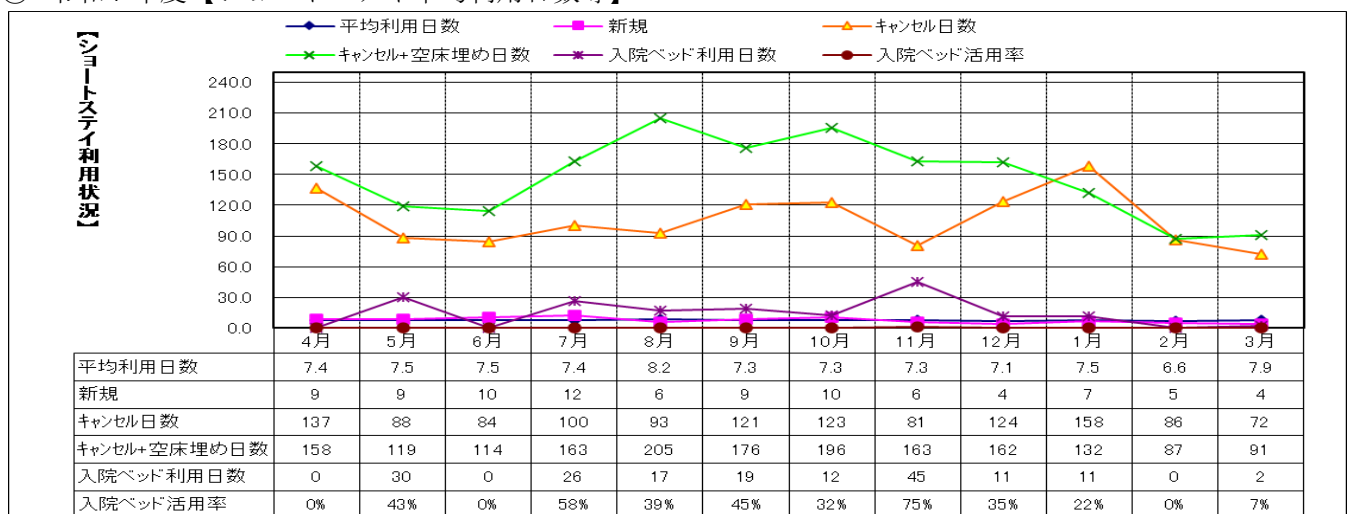
《本館SS稼働率》



《新館SS稼働率》



② 令和7年度【ショートステイ平均利用日数等】



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
月当初予約日数	594	653	615	572	620	635	664	650	665	654	580	642	629
(%)	104.2%	110.9%	107.9%	97.1%	105.3%	111.4%	112.7%	114.0%	112.9%	111.0%	109.0%	109.0%	108.8%

Ⅶ 人財育成（研修）

		社会福祉法人響会	
令和7年度 第2回「新入職員基礎研修(BS)内容」		特別養護老人ホーム 好日苑	
		9:00～18:00 勤務（3日間）	

No.	日付	時間		場所	内容	研修担当職員
1	1日目	9:00	～	相談室1.2	施設長挨拶	施設長
2		9:15	0:15		オリエンテーション	特養課長
3		9:20	～		【事業運営方針】 ・第7次中期経営計画 ・令和7年度事業計画 ・事業継続計画（BCP）～自然災害・感染症～	特養課長
4		9:50	～		【大田区の介護保険制度の現状】 ・制度全般（保険料・要介護度等） ・優先入所制度 ・特養の現状（要介護度・料金等）	
5		11:00	～		【法人組織や事業・各種規定】 ・倫理綱領・就業規則・給与規定 ・運営規定（特養・デイ・ヘルパー） ・オンズパーソン委員会設置要綱 ・苦情解決の取組に関する実施要綱 ・個人情報保護規定 ・各種サービス指針 ・各種申請書含む	事務主任
6		11:55	～		動画視聴研修（高齢協 法定研修動画） 個人情報保護法ならびにプライバシー保護について 基礎編① 19:49 基礎編② 24:28	介護係長
		12:40	～		休憩	
7		13:40	～		館内設備・防災研修	事務主任
8		14:50	～		動画研修（PHPビデオアーカイブプラス） ・「心が伝わる」 ビジネスマナーの基本 Part1 企業人・社会人として働くという事 Part2 笑顔・あいさつ・言葉遣い	介護係長
9		15:30	～		動画研修（大田区e-ラーニング） 「チームワークの基礎知識」 ・組織やチームで働くとは ・チームワークを高めるために！ ・職場のルール	
10		15:55	～		動画研修（大田区e-ラーニング） 「課題解決の基本」 ・課題とは何か ・課題解決のステップ	
11		16:25	～		動画研修（大田区e-ラーニング） 「対人援助サービスに必要な接遇とは」 ・接遇とは何か ・なぜ対人援助サービスに接遇が求められるのか ・接遇を高めるポイント	
12		17:00	～		動画研修（大田区e-ラーニング） 「仕事のストレスとの付き合い方」 ・メンタルヘルスとは ・福祉職場におけるストレス ・ストレスとの付き合い方 （メンタルヘルスのセルフケア）	
13		17:30	～		報告書作成	

14	2日目	9:00	～	10:30	1:30	相談室1.2	好日苑の特徴～6つの風船～ 相手の気持ちを大切にする	介護係長
15		10:40	～	11:40	1:00		ICF的考え方入門	相談係長
16		11:40	～	12:30	0:50		介護記録（ほのぼの・サイボウズ・事故報告書）	
		12:30	～	13:30	1:00		休憩	
17		13:30	～	14:30	1:00		認知症ケアの理解	相談係長
18		14:30	～	15:30	1:00		虐待防止・身体拘束廃止	
19		15:40	～	16:50	1:10		【Peaceful Care】研修 ～穏やかな看取り介護～ 顧みる看取り介護	
20		17:00	～	17:30	0:30		介護現場におけるハラスメント対策について	介護係長
21		17:30	～	18:00	0:30		報告書作成	
22		3日目	9:00	～	10:30		1:30	相談室1.2
23	10:40		～	11:20	0:40	好日苑の食事～人を良くする食事～ 食形態・食中毒予防 栄養ケア計画	管理栄養士	
24	11:20		～	12:20	1:00	好日苑でいう『栄養リハ』とは 経口維持計画/経口移行計画 口腔ケア		
	12:20		～	13:20	1:00	休憩		
25	13:20		～	14:50	1:30	医療研修～先手のケア研修～ 「健康管理」	看護係長	
26	15:00		～	17:30	2:30	「感染予防」「胃腸管理」 「吸引等の医行為（実技含む）」 「褥瘡予防」		
27								
28	17:30		～	18:00	0:30	振り返り・報告書作成	介護係長	

令和7年度《【本館】内部研修》

開催月	開催日	場 所	内 容	参加人数
7月	26日	職員食堂	本館入浴研修	12名

令和7年度《【新館】内部研修》

開催月	開催日	場 所	内 容	参加人数
11月	16日	新館浴室	入浴研修	5名
12月	17日	職員食堂	入浴研修(ステップアップ)	6名
2月	5日	職員食堂	介護職員スキルアップ研修	7名

令和7年度《【看護職員】自主勉強会》

開催月	開催日	場 所	内 容	参加人数
4月	28日	医務室	ユニットケア外部研修の報告	7名
5月	21日	医務室	高齢者に多い肺炎	4名
6月	25日	医務室	ピースフルケア内部研修の報告 特養における看護師の役割	4名
7月	6日	医務室	食中毒(栄養士による)	5名
7月	9日	医務室	胆のう炎の看護	4名
9月	17日	医務室	BLS	5名
10月	18日	医務室	発熱について知識の持ちより	4名
11月	29日	医務室	痙攣	4名
1月	12日	医務室	アセスメント担当看護師の役割	4名
1月	28日	医務室	バイタルについて NGCTでの活動内容報告	7名
3月	16日	空居室	急変シミュレーション(事例のロールプレイ)	6名
3月	25日	医務室	SS家族対応で困ったときのシミュレーション	7名

令和7年度《【両館】合同内部研修》

開催月	開催日	場 所	内 容	参加人数
4月	25日	職員食堂	見守り支援機器「眠りスキャン」体験会	11名
5月	16日	職員食堂	Peaceful Care研修	11名
6月	6日	相談室	感染症対策実地訓練	9名
6月	20日	職員食堂	介護基礎研修 ～ポジショニング～	12名
7月	18日	職員食堂	安全管理体制研修 ～事故報告書等の書式について～	15名
8月	13日	相談室	特養職員マナー研修 ～尊厳の保持と育成手帳～	7名
9月	19日	職員食堂	緊急時研修	18名
10月	5日	職員食堂	令和7年度 事業継続計画(BCP)研修	9名
11月	17日	職員食堂	大田区感染対策課主催「感染対策研修」	7名
11月	21日	職員食堂	感染症研修・食中毒防止研修	13名
1月	9日	相談室	感染症対策実地訓練	11名
1月	16日	職員食堂	認知症ケア研修	13名
3月	20日	職員食堂	安全管理研修 食事編	13名

令和7年度《【動画視聴】研修》

開催月	締切	内 容	参加人数
4月	4月30日	令和7年度 事業計画 説明研修	73名
6月	6月27日	リスク管理体制研修 事故発生または発生防止に関する研修	74名
8月	8月20日	高齢者虐待防止研修 介護職員のための高齢者虐待防止に関する研修	75名
10月	10月20日	感染対策研修 施設の中でウイルスを広めない為に	74名
12月	12月25日	認知症の理解とそのケア 認知症とは	73名
3月	3月25日	身体的拘束の排除および高齢者虐待防止に係る研修 身体拘束とその原則禁止	73名

令和7年度《【外部】研修》

開催日	主 催	研修名	参加者
7/4 10/17 2/12	東社協	令和7年度 高齢者福祉施設における チームマネジメントを学ぶ研修会	介護副主任
5月29日	東京都福祉人材センター	令和7年度 東京都認知症介護実践者研修第2回	介護副主任
7月11日	東京都福祉人材センター	令和7年度 東京都認知症介護実践者研修第7回	介護副主任
9月4日	東京都福祉人材センター	令和7年度 東京都認知症介護実践リーダー研修 第1・2回	介護主任
6/16～6/25	大田区介護保険課	介護者が最初に知りたい医療知識	介護職員
6/16～6/25	大田区介護保険課	介護者が最初に知りたい医療知識	介護職員
6/16～6/25	大田区介護保険課	介護者が最初に知りたい医療知識	介護職員
6/16～6/25	大田区介護保険課	介護者が最初に知りたい医療知識	介護職員
6/16～6/25	大田区介護保険課	介護者が最初に知りたい医療知識	介護職員
7月15日	酒井医療	介護コ・クリエーションフェア	介護主任
7月15日	酒井医療	介護コ・クリエーションフェア	理学療法士
6月13日	東社協	アクティブ福祉in東京2025	介護
2月6日	東社協	介護職員スキルアップ研修「実践編」	介護職員
9月4日	フォーク(株)	ハラスメントにならない部下への指導法	特養課長
8月22日	東京都災害福祉広域ネットワーク	東京DWAT登録研修会	介護職員
8月22日	東京都災害福祉広域ネットワーク	東京DWAT登録研修会	介護職員
10月21日	大田区保健所	高齢者施設における感染対策のポイント	看護係長
1月26日	東京都福祉局	科学的介護定着促進事業講演会	相談係長
3月2日	厚労省	介護現場における生産性向上推進フォーラム	特養課長
2月16日	安全な介護	介護事故事例検討会	介護主任
2月20日	東京都高齢者福祉施設協議会	高齢者福祉施設における看護師の役割	看護職員
2/20～3/1	大田区介護保険課	介護現場に多い指定難病の理解	相談係長
1/13～1/16	ユニットケア推進センター	ユニットリーダー研修(実地研修)	相談係長
3月19日	品川・大田医療福祉栄養士の会	急性期病院におけるクックチルシステムによる 給食運営の現状	栄養主任
2月10日	東社協	ショートステイのリスクマネジメント研修	介護係長
3月16日	厚労省	科学的介護情報システム第2回説明会	介護係長

VII 会議・委員会

令和7年度《特養会議開催内容》

会議名	開催月	開催日	【特養会議】 内容の概要
特養会議	4月	9日	R6年度の振り返り 前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告
	5月	9日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 職員安否確認訓練の開始について
	6月	6日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 5月稼働低下の振り返り 次世代介護機器デモについて
	7月	9日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 好日苑まつり・アクティブ福祉について
	8月	7日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 虐待の芽チェックリストについて
	9月	5日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 響会 大規模防災訓練について 眠りSCAN導入に向けた施設見学について
	10月	8日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 第三者評価アンケートについて
	11月	12日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 タイムログDXについて
	12月	5日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 家族会開催報告 年末年始のショートステイについて
	1月	9日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 大田区文化振興協会主催の声楽とピアノコンサートについて
	2月	6日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告
	3月	6日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 N1グランプリの開催について

参加者

理事長・施設長・特養課長
介護係長・相談係長・看護係長
管理栄養士・介護主任

会議レジュメ

1. 特養部門の前月実績分析
2. 各会議報告
(3C・本館会議・新館会議・看護師会議・食事会議)
3. 各委員会報告
(リスク・認知症・NGCT・合同排泄)
4. 各専門職種から
5. 検討課題

今年度を振り返って

令和7年度は医療連携体制の書式を整え新たな加算取得に向けた取組や加算の適正運用等の確認等の特養会議を通して全体で共有していきました。
また5Sや3Mの削減への取組等についても、特養会議が核となる会議ですので、各会議・各委員会での検討事項の方向性を確認・調整を行うとともに、特養の方向性を周知する重要な会議として位置づけて検討を進めていきました。

令和7年度《特養係長会議開催内容》

会議名	開催月	開催日	特養主任会議(3C)内容
特養係長会議(3C)	4月	4日	利用者状況、職員状況、動画視聴研修
		11日	利用者状況、職員状況、コロナワクチンについて
		18日	利用者状況、職員状況、歯科診療見学について
		24日	利用者状況、職員状況、人材確保コンサルティング
	5月	2日	利用者状況、職員状況、アクティブ福祉申
		9日	利用者状況、職員状況、クイックマニュアルの更新
		16日	利用者状況、職員状況、人事考課評価結果
		23日	利用者状況、職員状況、事業報告について
		30日	利用者状況、職員状況、各種申請について
	6月	5日	利用者状況、職員状況、有給付与の考え方
		11日	利用者状況、職員状況、施設見学について
		20日	利用者状況、職員状況、生産性向上の取り組み
		27日	利用者状況、職員状況、生産性向上の取り組み
	7月	4日	利用者状況、職員状況、資格取得状況
		11日	利用者状況、職員状況、ジョブキャンプの受入について
		18日	利用者状況、職員状況、夏！体験ボラについて
		25日	利用者状況、職員状況、介護補助員ボラ受入について
	8月	1日	利用者状況、職員状況、目白大学介護実習受入れについて
		8日	利用者状況、職員状況、職員交流事業について
		15日	利用者状況、職員状況、感染状況
		22日	利用者状況、職員状況、自衛消防審査会について
	9月	29日	利用者状況、職員状況、施設見学報告
		4日	利用者状況、職員状況、感染症発症状況確認
		12日	利用者状況、職員状況、第三者評価について
		19日	利用者状況、職員状況、次世代介護機器の故障について
	10月	26日	利用者状況、職員状況、響会大規模防災訓練について
		3日	利用者状況、職員状況、インフルエンザ予防接種について
		10日	利用者状況、職員状況、接遇マナーについて
		17日	利用者状況、職員状況、家族会の開催について
		24日	利用者状況、職員状況、施設見学会報告
	11月	31日	利用者状況、職員状況、アクティブの取材について
		7日	利用者状況、職員状況、給与明細の電子化について
		14日	利用者状況、職員状況、次世代介護機器の有効活用について
		21日	利用者状況、職員状況、職員採用状況確認
	12月	28日	利用者状況、職員状況、コロナワクチンについて
		4日	利用者状況、職員状況、感染状況確認
		12日	利用者状況、職員状況、大田区文化振興協会について
		19日	利用者状況、職員状況、次世代介護機器の導入について
	1月	26日	利用者状況、職員状況、年始からの医療体制の変更について
		1日	利用者状況、職員状況、イベントの活動報告
		8日	利用者状況、職員状況、特定技能外国人材について
		16日	利用者状況、職員状況、動画視聴研修について
		23日	利用者状況、職員状況、Wi-Fi設置工事について
	2月	30日	利用者状況、職員状況、Wi-Fi設置工事について
		5日	利用者状況、職員状況、人事考課仕事等級別考課表の作成について
		13日	利用者状況、職員状況、相談員連絡会について
		20日	利用者状況、職員状況、処遇改善の支給
	3月	27日	利用者状況、職員状況、アクティブ福祉について
		5日	利用者状況、職員状況、介護福祉士国家試験結果
		13日	利用者状況、職員状況、委員会メンバーの選定
		19日	利用者状況、職員状況、眠りSCAN活用研修SDIについて
	3月	27日	利用者状況、職員状況、本館食堂天井補修工事

参加者

施設長・特養課長
介護係長・相談係長・看護係長・PT

会議レジュメ

1. 前回の議事確認
2. 好日苑利用者状況(台帳)確認
3. 特養「組織図」と「人材」確認
4. 今日現在の稼働率状況確認
5. 特養(AP)検討課題
6. 新型コロナウイルス対応について
7. 報告事項
8. 3C来週の予定確認

今年度を振り返って

特養係長会議(3C)を特養の主要会議とし、特養部門の現状(利用者状況・人材・組織・運営・課題・方向性等)を調整し協働を図るため、週1回(通算52回)開催いたしました。

特養においては、常に24時間365日動いていますので、1週間前の状況が殆ど変化している状態であり、情報の共有化と他職種協働の重要性を改めて認識いたしました。

また介護報酬の改定に伴い新たな加算や現行の対応の義務化等、より適正な運用が求められていますので、3Cを中心に加算算定に向けた検討や現行の取り組みが適正に運用できているかの点検を実施致しました。 次年度も引き続き緊張感を持って対応していきます。

令和7年度《本館会議開催内容》A1:K14

会議名	開催月	開催日	【本館会議】 内容の概要
本館会議	4月	14日	・事業計画説明 ・今年度方向性共有 ・面談ロールプレイ
	5月	15日	・本館内部研修（入浴）検討 ・主任育児休暇に伴う対応 ・夜間吸引体制の確認
	6月	12日	・骨折事故振り返り ・本館内部研修（入浴）検討 ・情報共有（記録、申し送りなど）課題整理
	7月	14日	・好日苑まつり ・各階進捗状況報告 ・情報共有（記録、申し送りなど）課題整理
	8月	13日	・優先順位における事故 ・好日苑まつり開催へ向けて ・本館内部研修（入浴）振り返り ・本館内部研修（アセスメント）検討
	9月	12日	・S S内服事故振り返り ・緊急時動画撮影 ・本館内部研修（アセスメント）検討
	10月	14日	・上半期振り返り ・緊急時対応再周知 ・居担の役割再共有 ・5 S委員会（ステーション内収納統一）
	11月	15日	・本館内部研修（アセスメント）振り返り ・パジャマ更衣に関して ・本館内部研修（横断業務）検討
	12月	11日	・感染症対応（連携・巡回）再周知 ・入職後からの職員の成長のステージの共有 ・本館内部研修（横断業務）検討
	1月	15日	・一文字目標発表 ・山王病院オンコール体制変更について ・居担の役割（物品管理）について
	2月	16日	・虐待の目チェックリストについて ・本館内部研修（横断業務）振り返り ・来期委員会について
	3月	10日	・一年間の振り返り ・来期委員会メンバー選定 ・今年度内部研修振り返り

参加者

本館係長・本館CM
本館主任・本館副主任

会議レジュメ

1. 前月の提案事項の進展状況確認
2. 法人伝達事項
3. 特養会議でのポイント確認
4. 各階運営状況報告&課題提起
5. 本館全体の検討課題
6. 5 S委員会

今年度を振り返って

令和7年度は、上半期は最初に、ネクストメンバーを研修担当として、本館内部研修の質の向上をはかりました。本館ならではの研修を目指し「入浴」「アセスメント」「横断業務」の3点に絞って実施しました。内容も効果的なものとなりましたが、講師自身の成長に繋がったと振り返っています。

下半期にかけては、経験の浅い職員の底上げのため、「OJT（する側）」の意識、スキルアップを目指し、居室担当の役割について、再度見直し、共有をはかりました。令和8年度も引き続き、職員全体の底上げをはかるとともに、本館ならではのチームケアの構築に取り組んでいきます。

令和7年度《新館会議開催内容》

会議名	開催月	開催日	【新館会議】 内容の概要
新館会議	4月	12日	・R6年度振り返り ・食事盛り付け打ち合わせ(厨房食洗器修理)
	5月	13日	・食事盛り付け打ち合わせ(ユニットケア視点から)
	6月	10日	・食事盛り付け ・尊厳について考える
	7月	14日	・記録の重要性 ・活動報告会について
	8月	12日	・安全管理体制研修 ・好日苑祭りの動き方 ・諦めない姿勢って ・新規入居の受け入れの考え方
	9月	12日	・ユニットケアを継続するためには ・職員育成
	10月	9日	・入浴について ・職員育成について ・緊急時の考え方共有
	11月	14日	・入浴について ・ユニットケア研修報告「エリザベート成城」
	12月	9日	・ユニットケアを継続するためには ・職員育成 ・感染症予防
	1月	16日	・ユニットケアを継続するためには ・職員育成 ・居担の役割
	2月	9日	・来期委員会・係メンバー選定 ・虐待の芽チェックリストから読み取る
	3月	10日	・人事考課面談の心構え 面談する側される側のロールプレイングを行う。 ・入浴について

参加者
新館係長 新館主任・新館副主任

会議レジュメ
1. 前月の提案事項の進展状況確認 2. 法人伝達事項 3. 特養会議でのポイント確認 4. 各階運営状況報告&課題提起 5. 新館全体の検討課題 6. 新館内部研修計画検討

今年度を振り返って
令和7年度は、令和6年度に力を入れた「基本」の浸透を意識し、ユニットケア施設として、「ユニットケアを継続するためには」を考える1年でした。厨房機器の入れ替え作業をプラスに捉え、食事盛り付けを行うことができました。メリット・デメリットを体感することができました。暮らしの継続にはユニットケアを知ること、24時間シートの活用が不可欠であることを実感し、令和8年度、NEXTメンバーを中心に勉強会を行い、仲間を増やしていきます。

令和7年度＜看護師会議開催内容＞

会議名	開催月	開催日	【看護師会議】 内容の概要
看護師会議	4月	28日	・特養会議からの報告（実績含む） ・オンコール対応、看取り介護振り返り ・生産性向上に向けての取り組み ・困った事の共有と解決
	5月	29日	・特養会議からの報告（実績含む） ・オンコール対応、看取り介護振り返り ・生産性向上に向けての取り組み ・アルコール綿作成廃止の検討
	6月	30日	・特養会議からの報告（実績含む） ・オンコール対応、看取り介護振り返り ・生産性向上に向けての取り組み ・アルコール綿作成廃止の決定 ・医務室担当業務の変更
	7月	30日	・特養会議からの報告（実績含む） ・オンコール対応、看取り介護振り返り ・生産性向上に向けての取り組み ・オンコール前対応・感染症クイックマニュアルの見直し
	8月	26日	・特養会議からの報告（実績含む） ・オンコール対応、看取り介護振り返り ・生産性向上に向けての取り組み ・フロア業務の整備
	9月	24日	・特養会議からの報告（実績含む） ・オンコール対応、看取り介護振り返り ・生産性向上に向けての取り組み ・他施設交流研修の報告 ・利用者対応振り返り ・吸引チューブ保管法の変更案について ・実働感謝手当について
	10月	22日	・特養会議からの報告（実績含む） ・オンコール対応、看取り介護振り返り ・生産性向上に向けての取り組み ・フロアタイムスケジュール見直し ・利用者対応振り返り ・吸引チューブ保管法の決定
	11月	25日	・特養会議からの報告（実績含む） ・オンコール対応、看取り介護振り返り ・生産性向上に向けての取り組み ・医務室内レイアウト変更 ・利用者インフルエンザワクチン接種について ・利用者対応振り返り
	12月	23日	・特養会議からの報告（実績含む） ・オンコール対応、看取り介護振り返り ・生産性向上に向けての取り組み ・利用者コロナワクチン接種について ・感染対応振り返り ・大森山王病院オンコールDR体制変更について
	1月	28日	・特養会議からの報告（実績含む） ・オンコール対応、看取り介護振り返り ・生産性向上に向けての取り組み ・利用者対応振り返り
	2月	25日	・特養会議からの報告（実績含む） ・オンコール対応、看取り介護振り返り ・生産性向上に向けての取り組み ・浣腸対応の見直し案（薬の前にできること） ・「高齢者福祉施設における看護師の役割」の研究報告
	3月	25日	・特養会議からの報告（実績含む） ・オンコール対応、看取り介護振り返り ・生産性向上に向けての取り組み ・死亡診断書の作成～処理までの共有 ・今年度を振り返って（個人）

参加者
特養課長・看護係長・看護職員

会議レジュメ
1. 経営会議・特養会議報告 2. 利用者状況報告 3. ターミナルケア対応 4. 感染症等予防対策 5. 褥瘡等予防対策 6. 提案事項

今年度を振り返って
令和7年度の平均稼働率は99.3%と6年度に続き高稼働を維持することができました。若干6年度を下回った結果となりましたが、入院日数は524日に抑えることができました。その要因として、前年度同様「先手のケア」の実践と家族や入居者の気持ちに沿った対応が挙げられます。7年度も感染症の発症がありましたが、拡大を抑えることができました。高齢者では感染症の影響が大きく影響するケースもあり、8年度も引き続き「先手のケア」で悪化を防ぎ適切な医療連携を行いながら、理念である「安心と暖かさ」を入居者・家族に感じていただけるよう務めます。今年1月より大森山王病院オンコールDr体制の変更がありましたが、現時点で入居者への影響はなく経過しており、今後も適切な連携を継続して行っていきます。

令和7年度《食事会議開催内容》

会議名	開催月	開催日	【食事会議】 内容の概要
食事会議	4月	17日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・わくわく手作りおやつ「蒸しパン」 ・食器洗浄機入れ替え工事 ・感染症報告
	5月	15日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・ホワイトブレッド見直し ・食器洗浄機入れ替え工事 ・感染症報告
	6月	19日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・わくわく手作りおやつ「クリームあんみつ」 ・感染症報告
	7月	17日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・わくわく手作りおやつ（特養） 「クリームあんみつ」 ・好日苑まつりの内容確認 ・感染症報告
	8月	21日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・わくわく手作りおやつ（特養含む） 「クリームあんみつ」 ・好日苑まつりの内容最終確認 ・感染症報告
	9月	17日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・好日苑まつり振り返り ・残菜調査について ・感染症報告
	10月	16日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・わくわく手作りおやつ（特養含む） 「フレンチトースト」 ・感染症報告
	11月	20日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・わくわく手作りおやつ（特養） 「フレンチトースト」 ・お試しとろみ振り返り ・残菜調査結果について ・感染症報告
	12月	18日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・来年度のイベント内容案（R8） ・わくわく手作りおやつ（デイ） 「クロカンブッシュ」 ・わくわく手作りおやつ（特養） 「フレンチトースト」 ・お正月の食事について ・感染症報告
	1月	15日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・正月三が日の振り返り ・感染症報告
	2月	19日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・恵方巻振り返り ・わくわく手作りおやつ「フレンチトースト」 ・感染症報告
	3月	26日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・アレルギー対応 ・お茶等の価格高騰 ・感染症報告

参加者
特養課長・在宅課長 本館介護係長・新館介護係長 在宅係長・管理栄養士 委託事業者マネージャー 委託事業所好日苑所長
会議レジュメ
1. 前回の議事確認と進行状況確認 2. 前月の食事関係報告と検討事項 3. 今月・来月以降の検討課題の整理 4. 委託事業所より意見・要望等

今年度を振り返って
今年度も入居者が楽しみにしている 【握り寿司】 を職人によるデモン ストレーションの形で、給食委託業者 の協力のもと、開催することができ ました。また特養の入居者をデイ サービスで月1回開催しているイベ ント食に招待して、食事を楽しんで 頂くことができました。普段とは違 う場所での食事は、外食したような 感覚もあり、テーブルを囲みながら 和やかな時間になりました。今年度 は食器洗浄機入れ替え工事实施。そ れに伴いディスプレイが食器で食事提供 し、入居者の皆さんにも不便をお掛 けしましたが、ご協力頂いたお陰で スムーズに工事を進めることができ ました。また汁椀食器の入れ替えも 行っています。茶碗蒸しにも活用で きるため、行事食内容の見直しを行 うことができました。今後も日々 の献立がマンネリ化しないように新し いメニューを取り入れ、食を通じて 喜んで頂ける食事を提供することが できるように、給食委託業者と協力 して行きます。

令和7年度《リスク管理委員会・生産性向上委員会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【リスク管理委員会】 内容の概要	参加者
リスク管理委員会・生産性向上委員会	4月	9日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 生産性向上の取組について 令和6年度の統計、傾向について振り返り	施設長・特養課長 介護係長・相談係長 看護係長・介護主任
	5月	9日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 生産性向上の取組について 吸引対応について	
	6月	6日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 生産性向上の取組について 感染症対策(个人防护具着脱訓練)	会議レジュメ
	7月	9日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 生産性向上の取組について 介護記録ソフト使用状況確認	1. 前回の議事確認と進行状況 2. 先月の事故報告状況(統計) 3. 先月の事故報告書からみるA+ 4. ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの (気になる事故等) 5. その他
	8月	7日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 生産性向上の取組について 虐待の目チェックリスト集計結果報告	
	9月	5日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 第三者評価説明 生産性向上についての研修	
	10月	8日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 生産性向上の取組について 緊急時対応について 防災訓練振り返り	
	11月	8日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 新規入居対応について	
	12月	5日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 生産性向上の取組について 感染症対応振り返り	今年度を振り返って 平均要介護度も低下している中で身体機能の高い認知症の方も増えてきており、入居者の状態に応じたリスク回避方法を検討してきました。 昨年に引き続き次世代介護機器も増えていますが、今年度は新に眠りスキャンを全ベッドへ導入し入居者への観察視点を強化できるようになりました。今後も介護機器をうまく使用しながら視野を広げて日々の事故予防力を上げるとともに、きちんと振り返りをし、学んだことを無駄にしない取り組みを継続していきたいと思います。
	1月	9日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 生産性向上の取組について オンコール体制変更に伴う共有 物品管理、紛失対策について	
	2月	6日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 生産性向上の取組について 第三者評価結果報告	
	3月	6日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 生産性向上の取組について 認知症ケア発表会(N1グランプリ)	

令和7年度《次世代介護実践チーム(NGCT)開催内容》

会議名	開催月	開催日	【次世代介護ケアチーム】 内容の概要
次世代介護実践チーム（NGCT）	4月	22日	・昨年度の取り組みと今年度の目標について ・眠りスキャン操作方法の説明会 ・入浴介助時の負担軽減に向けて（浴室用HUG、スライディングシートを活用した移乗の定着） ・次世代介護機器及び道具の使用状況報告
	5月	27日	・次世代介護機器及び道具の使用状況報告 ・眠りスキャン導入に向けて(デモの経過報告) ・チェア(椅子)浴使用上のリスク共有 ・入浴介助時の負担軽減に向けて（スライディングシートを活用しての2トラ実践）
	6月	24日	・次世代介護機器及び道具の使用状況報告と検討 ・入浴介助時の負担軽減に向けて（スライディングシートを活用しての2トラ実践）⇒経過報告 ・移乗介助方法選定フローチャートの活用に向けて ・ポジショニンググローブの適正使用
	7月	22日	・次世代介護機器及び道具の使用状況報告と検討 ・入浴介助時の負担軽減に向けてスライディングシートを活用しての2トラ実践⇒経過報告（本館にてアンケート実施⇒結果報告） ・マットレスの適正使用と選定について
	8月	26日	・次世代介護機器及び道具の使用状況報告と検討 ・入浴介助時の負担軽減に向けてスライディングシートを活用しての2トラ実践⇒経過報告、リスク共有(新館にてアンケート実施⇒結果報告) ・マットレスの適正使用と選定⇒課題発表 ・利楽の機能と操作説明
	9月	23日	・次世代介護機器及び道具の使用状況報告と検討 ・上半期振り返り ・シャワーストレッチャー説明(PT)
	10月	28日	・次世代介護機器及び道具の使用状況報告と検討 ・ポジショニング(勉強会)※課題あり ・メンバーによるフロア勉強会について
	11月	25日	・次世代介護機器及び道具の使用状況報告と検討 ・ポジショニング(課題発表) ・シーティング(車椅子調整)勉強会 ・眠りスキャン導入に向けて ・リスク共有(スライディングシート)
	12月	23日	・次世代介護機器及び道具の使用状況報告と検討 ・利楽の使用法(注意点)の共有 ・眠りスキャン導入に向けて(他施設見学の報告) ・振り返りシートの記入
	1月	27日	・次世代介護機器及び道具の使用状況報告と検討 ・振り返りシート内容(フロア、個人)の共有 ・各フロアでの勉強会実施 ・眠りスキャン導入に向けて（眠りスキャンの導入にあたって、研究・調査への協力をお願い）
	2月	24日	・次世代介護機器及び道具の使用状況報告と検討 ・ポジショニングとシーティングについて考える
	3月	24日	・次世代介護機器及び道具の使用状況報告 ・眠りスキャン158台設置 ・1年間の振り返り

参加者
介護係長・理学療法士・新館主任(1名)・本館主任(1名)・各階介護職員(6名)・看護師
会議レジュメ
1, 次世代介護機器の活用状況 2, 課題の検討、勉強会など
今年度を振り返って
令和7年度は、「ボディメカニクスに基づく基本技術の習得」「ポジショニング・シーティングの根拠の理解」「介護機器の適切な運用」「多職種評価の定着」を目標に掲げました。 介護技術面では、長年の課題であった浴室での抱え上げ介助を重点項目とし、既存の福祉用具を活用した「抱えない介助方法」を確立・定着させることができました。ポジショニング等については、PT(理学療法士)による委員会内勉強会を通じ、メンバーの育成と各フロアへの伝達講習を実現しました。また、一昨年度作成の「介護機器選定フローチャート」の活用により、根拠に基づいた機器選定も浸透しつつあります。 一方で、フロア間や職員間での技術格差、機器を使用しない期間が生じることによる操作スキルの低下、多職種での評価において明確な基準を定めず評価が難しいという課題も浮き彫りとなりました。これらは次年度の課題として継続して取り組みます。 なお、今年度は「アクティブ福祉in東京」にて「持ち上げない介護」の取り組みを発表し、優秀賞を受賞いたしました。好日苑の長年の取り組みが評価された成果だと捉えています。今後は新たに導入された「眠りスキャン」を活用し、睡眠を含めた生活リズムの分析を行うことで、より入居者各々に合わせた適切なケアと職員の負担軽減を両立できるよう取り組みます。

令和7年度《認知症ケア検討会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【認知症ケア委員会】 内容の概要
認知症ケア検討会	4月	9日	今年度の認知症検討会の内容、目的共有 計画書作成 DEMBASEの運用について・対象者選定
	6月	6日	各階進捗状況確認 意見交換
	8月	7日	各階進捗状況確認 意見交換
	10月	13日	各階進捗状況確認 意見交換 DEMBASE運用についての一時評価
	12月	5日	各階進捗状況確認 意見交換
	2月	6日	各階進捗状況確認
	3月	7日	1年間の実施報告会

参加者
各階主任(うち認知症介護実践者研修受講者3名)
会議レジュメ
1. 勉強会資料
今年度を振り返って
令和7年度は各階の主任を中心に認知症の基礎知識や手法を学びながら、各階での課題抽出、改善に向けて取り組んできました。認知症実践リーダー研修等を受講している主任と共に行う事で専門性の向上だけでなくリーダー力の向上にも繋がったかと思います。年度の最後には1年間取り組んできた事を発表する場を設けました。各チームが明確な目標を持って活動する姿勢が強まり、職員のモチベーション向上につながりました。また、東京都認知症施策として開発されたBPSDケアプログラム「DEMBASE」を活用して症状の改善にも取り組んでおり、好日苑全体としてのチームワークがさらに強化され、認知症支援の質向上に向けた組織的な取り組みが一層進展した一年となりました。

令和7年度《身体的拘束適正化に伴う委員会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【身体拘束廃止委員会】 内容の概要
身体的拘束適正化委員会	4月	18日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・異食が見られる利用者への対応について
	5月	16日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・5月の新人BS研修予定確認
	6月	20日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・転倒が多い利用者への関わりについて
	7月	18日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・ベッド周りの環境について
	8月	15日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・湿度も含めた居室環境について ・ナースコールが重なった際の対応について
	9月	12日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・「尊厳と羞恥心に配慮した支援について
	10月	17日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・全館停電や全館消毒など、普段と異なる環境下での支援について
	11月	21日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・11月実施予定のBS研修の共有
	12月	19日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・本館感染症対応中の対応の共有
	1月	16日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・立ち上がりが多い利用者の環境の考え方の共有 ・スピーチロックに陥りやすい状況の共有
	2月	20日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・前月同様スピーチロックに陥りやすい状況の共有
	3月	13日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・「N1グランプリ」から見えてきた支援の共有 ・「身体拘束の排除と虐待等の予防」の動画研修を実施について

参加者
施設長・特養課長・在宅課長・看護係長・ 介護係長・相談係長・理学療法士

会議レジュメ
1. 前回の議事確認・経過報告等 「拘束の種類」「現在の状況」 「今後の方向性」
2. その他

今年度を振り返って
令和7年度は身体拘束を実施することなく一年間を過ごすことが出来ました。身体拘束適正化の考えが浸透している結果と考えます。また、介護経験の浅い職員も増えており、そもそものような事が身体拘束にあたるのかの知らない職員も増えております。目に見える環境や行動については研修で伝えることができますが、入居者の行動を制限するような言動だけでなく、あるべきものがそこにある、使えないなどの環境の不備も「不適切なケア」や「身体拘束」に繋がることを伝えながら、入居者の日々の暮らしを第一に支援を行っていきます。

令和7年度《虐待防止委員会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【虐待防止委員会】 内容の概要
虐待防止委員会	4月	18日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ) 動画視聴研修について
	5月	16日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ) 新人BS研修について
	6月	20日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ) 介護基礎研修について
	7月	18日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ) 虐待の芽チェックリストについて
	8月	15日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ) 「虐待の芽チェックシート」結果報告の共有
	9月	12日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ) 虐待の芽チェックリストに関する調査について
	10月	17日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ) 大規模防災訓練時の停電について
	11月	21日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ) 動画視聴研修とBS研修について
	12月	19日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ) 認知症ケア研修について
	1月	16日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ) ・認知症ケア研修(虐待予防)について
	2月	20日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ) 虐待の芽チェックリスト集計結果について
	3月	13日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ) 不適切なケア対策呼び方と挨拶について

参加者
施設長・特養課長・在宅課長・看護係長・ 介護係長・相談係長

会議レジュメ
1. 前回の議事確認 2. 不適切ケアについて 3. その他

今年度を振り返って
令和7年度は虐待防止委員会にて、日々の業務に潜む「不適切ケア」を事前に他職種にて検討し、フィードバックしていく事で、各職員が自身のケアの点検を行い、「不適切なケア」から「虐待」に至らないよう小さな芽を摘む取り組みを行っていきました。この委員会の取り組みにより、会議や研修等で「不適切ケア」について考える機会が増えたと感じています。また「虐待の芽チェックシート」を活用したアンケート結果を分析し、そこから見えてきた傾向と対策をリスク管理委員会等を通じて現場にフィードバックする事が出来ました。

令和7年度《本館排泄委員会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【本館・新館 排泄委員会】 内容の概要
本館排泄委員会	4月	24日	・目的共有 ・メンバー紹介 ・排泄カート適正使用に向けて ・宿題(失禁カウントチェック)
	6月	26日	・失禁カウントから見えてきた課題 ・便失禁について考える ・利用者ピックアップにてアセスメント ・ユニ・チャーム担当者よりアドバイス
	8月	28日	・陰洗、陰洗ボトル消毒について ・アセスメント評価報告 ・宿題(各階陰洗勉強会) ・ユニ・チャーム担当者よりアドバイス
	10月	23日	・新メンバー紹介 ・上半期振り返り ・下半期へ向けて ・皮膚状態のデリケートな方の陰洗方法
	12月	26日	・健康管理表記入徹底後の失禁比較 ・ベッド上排泄介助動画撮影に向けて ・排泄アセスメント表活用にてアセスメント
	3月	26日	・排泄本更新について ・一年間の振り返り ・ベッド上排泄介助動画撮影 ・ユニ・チャーム担当者よりアドバイス

参加者
本館4階:1名(委員長) 本館2階、3階、4階:各1名
会議レジュメ
1. 前回の議事確認と進行状況確認 2. 排泄物品検討 3. 視点共有 4. その他
今年度を振り返って
7年度排泄委員会では、「その人に合ったケアを考える」を目標に掲げ、最初に、各階の失禁カウントを行い、その要因を探ることから始めました。結果として「便失禁」が課題に挙がり、個別のアセスメントを実施して便失禁減に努めました。また排泄カート購入、全フロア統一することで生産性の向上に努めました。下半期にかけては、製品変更に伴う「排泄本」の更新、基本の排泄介助の動画撮影を行いました。8年度は、排泄本、排泄動画も上手く活用しながら、「コンチネンスケア」の確立を目指していきます。

令和7年度《新館排泄委員会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【本館・新館 排泄委員会】 内容の概要
新館排泄委員会	4月	24日	・目的共有 ・委員会メンバー紹介 ・委員の役割共有 ・排泄道具を使いこなす為に考えられる課題抽出 ・次回委員会までの課題
	6月	26日	・フロア別おむつ・物品使用状況確認 ・マニュアル整備進捗状況共有 ・各階フロアでの排泄課題共有と進捗状況 ・正しい陰洗について ・コンチネンスケア(日々の生活の中で排泄を正常にコントロール出来ている状態)
	8月	28日	・フロア別おむつ・物品使用状況確認 ・マニュアル整備進捗状況共有 ・各階フロアでの排泄課題共有と進捗状況。 ・正しい陰洗について ・9月の課題
	10月	23日	・上半期振り返り ・軽微な臀部陰部皮膚トラブルある方と尿路感染症既往歴ある利用者共有 ・物品について ・下半期と11月の課題
	12月	25日	・対象職員ピックUPし課題取り組み ・使い捨て排泄エプロンフロア、排泄バッグ ・各階臀部・陰部皮膚トラブルの方、経過共有。 ・排泄動画 ・各階おむつ・パット使用状況について
	3月	26日	・対象職員ピックUPし課題取り組み、まとめ ・今年度委員会振り返り 「排泄本」「排泄動画」「排泄道具」 ・まとめ

参加者
新館3階:1名(委員長) 新館1階、2階、3階:各1名
会議レジュメ
1. 前回の議事確認と進行状況確認 2. 排泄物品検討 3. 視点共有 4. その他
今年度を振り返って
排泄道具の変更に伴い、マニュアルの整備等行った1年となり、「排泄本」の更新、基本の排泄ケアを共有できるよう「排泄動画」の撮影に力を入れた1年となりました。来年度は上記の道具を浸透させ、よりよい排泄ケアを誰もが行え、「コンチネンスケア」に近づけられるようにしていきます。

令和7年度《褥瘡予防委員会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【褥瘡予防委員会】 内容の概要
褥瘡 予 防 委 員 会	4月	30日	褥創発生者2名、発症者状況報告 創ガーゼ汚染時CWでの対応(夜間) 拘縮ある方のクッションの使い方 季節による皮膚トラブルの予防(変換期)
	5月	29日	褥創発生者0名、発症者状況報告 ガーゼ保護の工夫 創洗浄の工夫
	6月	25日	褥創発生者1名、発症者状況報告 排泄物による創への影響低減に向けて
	7月	23日	褥創発生者1名、発症者状況報告 季節による皮膚トラブルの予防(湿潤期)
	8月	26日	褥創発生者5名、発症者状況報告
	9月	17日	褥創発生者1名 発症者状況報告
	10月	20日	褥創発生者1名 発症者状況報告 褥瘡予防に置いての多職種連携
	11月	18日	褥創発生者4名 発症者状況報告 季節による皮膚トラブルの予防(乾燥期)
	12月	22日	褥創発生者4名、発症者状況報告 利用者ステージ変化や一時的体調不良時のケアの 見直しについて
	1月	27日	褥創発生者2名、発症者状況報告
	2月	17日	褥創発生者4名、発症者状況報告 皮膚写真撮影時のサイボウズアップ基準
	3月	23日	褥創発生者3名、発症者状況報告 見やすい処置表の工夫 LIFE褥瘡マネジメント加算計画書の作成について

参加者
施設長・特養課長 看護係長・ 介護係長・相談係長 管理栄養士・看護職員

会議レジュメ
1. 関係通知確認 2. 褥瘡(疑い含む)発生状況確認 3. 予防対策 4. その他検討事項

今年度を振り返って
褥瘡往診を導入し3年が経過し、看護職員の創傷ケア・予防に対しての意識向上に繋がっています。今年度は皮膚状態のみではなく、マットレス・車いす・クッションなどに関しても知識を広め、多角的な視野を持って対応能力の向上を目指して参ります。

令和7年度《感染症対策委員会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【感染症対策委員会】 内容の概要
感染症対策委員会	4月	25日	感染症関連通知等 感染症等発症状況確認 法人内動向確認 サージカルマスク消費助教確認 感染症マニュアル見直し
	5月	30日	感染症関連通知等 感染症等発症状況確認 法人内動向確認 PPE着脱研修企画
	6月	27日	感染症関連通知等 感染症等発症状況確認 法人内動向確認 PPE着脱研修実施
	7月	25日	感染症関連通知等 感染症等発症状況確認 法人内動向確認 感染症マニュアルの更新
	8月	29日	感染症関連通知等 感染症等発症状況確認 法人内動向確認 第27回好日苑祭り判断基準について
	9月	26日	感染症関連通知等 感染症等発症状況確認 法人内動向確認 アデノウイルス注意喚起
	10月	31日	感染症関連通知等 感染症等発症状況確認 法人内動向確認 ARI(急性呼吸器感染症)について 利用者ワクチン接種日程調整について 感染症対策研修について(大田区保健所・特養動画 施設内全体研修)
	11月	28日	感染症関連通知等 感染症等発症状況確認 法人内動向確認 利用者ワクチン接種について
	12月	26日	感染症関連通知等 感染症等発症状況確認 法人内動向確認 感染症対策研修企画(PPE着脱) 年末に向けた感染症物品確認
	1月	30日	感染症関連通知等 感染症等発症状況確認 法人内動向確認 感染症簡易検査の検査タイミングについて
	2月	27日	感染症関連通知等 感染症等発症状況確認 法人内動向確認 ノロスター・Nスター・アルコール消毒液の適切な補充
	3月	27日	感染症関連通知等 感染症等発症状況確認 法人内動向確認 感染症対策強化月間終了後の対応

参加者
施設長・事務長 特養課長・地域課長・在宅課長 看護係長・管理栄養士 デイ係長・介護係長・相談係長
会議レジュメ
1. 関係通知確認 2. 感染症(疑)発生状況確認 3. その他検討事項 4. 施設長から
今年度を振り返って
今年度は入居者でのインフルエンザ・ノロウイルス の罹患がありましたが、いずれも感染拡大すること なく収束することができました。 8年度も感染症対策委員会を中心に情報共有を 図り、感染症蔓延防止に努めて参ります。

令和7年度《吸引等安全対策委員会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【感染症対策委員会】 内容の概要
吸引等安全対策委員会	6月	20日	・令和7年度東京都介護職員等によりたんの吸引等の実施のための研修(不特定多数の者対象)SD確認。 ・事故報告の確認 ・医行為に関する書面整理状況
	9月	19日	・令和7年度東京都介護職員等によりたんの吸引等の実施のための研修(不特定多数の者対象)SD確認。 ・事故報告の確認 ・医行為に関する書面整理状況
	12月	19日	・令和7年度東京都介護職員等によりたんの吸引等の実施のための研修(不特定多数の者対象)SD確認。 ・事故報告の確認 ・医行為に関する書面整理状況
	3月	13日	・令和7年度東京都介護職員等によりたんの吸引等の実施のための研修(不特定多数の者対象)SD確認。 ・事故報告の確認 ・医行為に関する書面整理状況

参加者
施設長・特養課長 看護係長・介護係長・相談係長
会議レジュメ
1. 関係通知確認 2. 吸引等に関する安全対策課題等 3. その他検討事項 4. 施設長から

今年度を振り返って
令和7年度は講義からの受講1名と実地研修のみの受講2名の計3名の介護職員に研修を受講させることが出来ました。次年度も実地研修だけでなく講義＋実地研修の受講者も増やし、入居者の健康を守る為、吸引が実施できる職員を増やしていく予定です。

IX 活動計画

令和7年度《【本館】年間行事・レクリエーション》

開催月	場 所	内 容
4月	稲荷坂公園	お花見 近くの公園で桜を楽しみました。
	3階吹き抜け	ピアノ演奏 利用者家族により、ピアノ演奏を行いました。
5月	3階吹き抜け	鯉のぼりリース作り ハンドメイド雑貨作りの先生をお招きして、ワークショップを開催しました。
6月	玄関	紫陽花鑑賞 正面玄関に咲いてる紫陽花に水をやり、鑑賞しました。
7月	本館4階	誕生会 ケーキとジュースでお祝いを行いました。
	本館全階	七夕イベント 笹飾りをして、願いごとをしました。
8月	各階食堂	すいか割り 各階で、すいか割りをして、みんなでいただきました。
	3階吹き抜け	流しそうめん 流しそうめんセットをレンタルして、「涼」を楽しみました。
9月	玄関	花火大会 玄関で昼間も楽しめる花火を行いました。
	3F吹抜け	好日苑まつり 職員出し物、雪谷太鼓、手品ショーなどを楽しみました。
	ダイルーム	敬老式典 喜寿・米寿・白寿・百寿・長寿の方に代表してお祝いをいたしました。
10月	ダイルーム	秋の大運動会 玉入れ、ボーリング、応援合戦など行い、盛り上がりました。
11月	本館3階	おやつイベント ココアと、様々なおやつを用意して、好きなお菓子を選んで楽しみました。
12月	本館全階	クリスマス会 飾り付けで雰囲気作り、各階工夫しておやつ、ジュースで楽しみました。
1月	各階食堂 3階吹き抜け	新年会 お節をつまみ、御神籤を引いたりしてお正月気分を味わいました。
	4階食堂	書初め 新たな気持ちで書初めを行いました。
2月	ダイルーム	声楽・ピアノコンサート 大田区文化振興協会を招待して、クラシック音楽を楽しみました。
3月	3階吹き抜け	春の大運動会 各階対抗にて、玉入れ、ボーリング、応援合戦で盛り上がりました。

毎月、第2日曜日を誕生日会の日と設定し、おやつにはショートケーキがです。
誕生月の方のご希望に添えるようなお祝いを担当職員が企画して、お誕生日お祝いをしています。

令和7年度《【新館】年間行事・レクリエーション》

開催月	場 所	内 容
4月	ベランダ	「お花見」 稲荷坂公園やベランダに出て桜見学。それぞれ桜を味わいました。 桜色のデザートも楽しんでいただきました。
5月	玄関	「端午の節句」 玄関の鯉のぼりとともに、記念写真をとりました。 「柏餅風クレープ」と「お抹茶」も味わいました。
	リビング	「母の日」 日頃の感謝を込めて、「メッセージカード&プレゼント」と「手作りクレープ」を楽しみました。
6月	リビング	「父の日」 日頃の感謝を込めて、「お寿司」と「素敵なミュージック」を楽しみました。
	玄関	「あじさい見学」 今年も玄関前のあじさいがきれいに咲きました。
7月	各フロアー	「七夕イベント」 短冊に願いを込めました。
	リビング	「夏祭り風屋台イベント」 ベビーカステラ屋台、アイスクリーム屋台、たこ焼き屋台 各階回って楽しみました。
8月	リビング	「〇〇家の味噌汁」 〇〇家定番の味噌汁を手作り。夕食の一品になりました。
	リビング	「流しそうめん」 ペットボトルで手作りの流し台を作成。薬味たっぷりのそうめんを 味わいました。
9月	好日苑祭り	「好日苑祭り」 地域のお神輿も参戦。好日苑職員による「よさこい」も楽しみまし た。
	玄関	「花火」 夏の終わりを華やかに。
	敬老会	「本・新館合同敬老会」 日々の感謝を伝える場にさせていただきました。
10月	リビング	「焼き芋パーティー&歌声喫茶」 アルミホイルにさつま芋を包んで。焼き芋片手に、ステキな歌声が 聞こえました。
	リビング	「ハロウィン」 仮装して事務所職員を驚かせに行きました。お菓子を貰って帰ります。

11月	リビング	「冬の鍋」 みんな大好き「湯豆腐」。熱い。おいしい。の聲があちこちから聞こえました。
12月	各フロア	「クリスマス会・忘年会」 手作りケーキやチキン。プレゼントをもらってかんぱ〜い。
1月	各フロア	「お正月」 年賀状が届き、おせち料理とお神酒で乾杯。新年のお祝いをしました。
	デイフロア	「歌い始めカラオケ大会」 みかんに甘酒。一人では恥ずかしくても、みんなで歌えば大丈夫。デュエットもステキでした。
2月	各階フロア	「節分」 職員が鬼なら。豆を投げずに、手渡しと。ほっこりしました。
	リビング	「バレンタインデー」 チョコレートのデザートタイム。
3月	リビング	「ひな祭り」 ひな人形の飾り付け。久しぶりの飾り付けに戸惑いもあり。完成品をみて拍手。ひなあられと甘酒を味わいました。
	ベランダ	「お花見」 桜の開花が遅く、各階でベランダに出て桜の蕾を眺め、待っていると〜と応援しました。

毎月、第2日曜日を誕生日会の日と設定し、おやつにはお誕生日ケーキがです。
 誕生月の方のご希望に添えるようなお祝いを担当職員が企画して、お誕生日お祝いをしております。
 特に節目の白寿、百寿などには、ユニットみなさんでおめでとうを伝えています。

令和7年度《本館クラブ活動実績》

今年度を振り返って
R7年度は「彩活動クラブ」も5年目となり、継続して日常生活に彩を与えられることを目的として、季節を感じたり、自然を感じられる余暇活動を行うよう努めました。また内容に応じて、本館全体で取り組んだり、各階にて取り組んだりしてきました。（季節レク、リース作り、運動会、個展など）活動を通してやりがいを感じ、自立支援への意欲向上へ繋げることができました。また外部の方を招いて、ワークショップや声楽コンサートを開催しました。次年度も、入居者の生活に彩をあたえられるよう工夫をし、また取り組み内容を家族や外部へ伝えることにも力を注いでいきます。

令和7年度《新館クラブ活動実績》

今年度を振り返って
ショートステイの方を中心に、「上池台倶楽部」と称したクラブ活動を行いました。 主な目的としては、利用者の孤独感軽減と心の安定、利用者同士の交流機会を創っていきたくて発足。また、自宅に戻った後に家族との会話の話題になるような『おみやげ』にしていきたい。とのことから開催しておりましたが、「風鈴作り」「うちわ作り」だけではなく、おやつで葛餅をお出しし、地域の話題をするなど、多岐に渡っての活動ができました。

令和7年度《【本館】理髪実績》

実施日		場 所
4月	8日	3階吹き抜け
	16日	2．4階団らんコーナー
5月	9日	3階吹き抜け
	13日	2．4階団らんコーナー
6月	6日	3階吹き抜け
	10日	2．4階団らんコーナー
7月	4日	3階吹き抜け
	8日	2．4階団らんコーナー
8月	1日	2．4階団らんコーナー
	5日	2．4階団らんコーナー
9月	5日	3階吹き抜け
	9日	2．4階団らんコーナー
10月	9日	3階吹き抜け
	21日	2．4階団らんコーナー
11月	13日	3階吹き抜け
	18日	2．4階団らんコーナー
12月	11日	3階吹き抜け
	16日	2．4階団らんコーナー
1月	15日	3階吹き抜け
	20日	2．4階団らんコーナー
2月	12日	3階吹き抜け
	17日	2．4階団らんコーナー
3月	12日	3階吹き抜け
	17日	2．4階団らんコーナー

令和7年度《【新館】理髪実績》

実施日	場 所
4月22日	各階セミパブリックスペース
5月27日	各階セミパブリックスペース
6月24日	各階セミパブリックスペース
7月22日	各階セミパブリックスペース
8月26日	各階セミパブリックスペース
9月23日	各階セミパブリックスペース
10月28日	各階セミパブリックスペース
11月25日	各階セミパブリックスペース
12月23日	各階セミパブリックスペース
1月27日	各階セミパブリックスペース
2月24日	各階セミパブリックスペース
3月24日	各階セミパブリックスペース

令和7年度 家族会（活動報告会）開催報告

令和7年度は本新館合同の家族会を5月と11月の2回開催をさせて頂きました。施設での取り組みを知って頂く機会として、スライドショー形式で日々の活動報告、次世代介護機器の体験会等を行い、好日苑の取り組みをご理解いただく良い機会となりました。令和8年度は活動報告会と名称を変更し、合同による報告会を年2回、新館活動報告会を年6回、本館活動報告会を年3回開催する予定です。尚、今年度より新館でのフロア単位の家族会（活動報告会）を再開させて頂きました。合同家族会（活動報告会）と違い、入居者と家族が一緒に参加され、日頃の活動内容やかき氷作りなどのイベントを一緒に楽しんで頂く機会となりました。新型コロナウイルス感染症の影響で面会も予約制となっていた事から、家族間での交流の機会も少なかったため、同じユニットの家族同士の会話も弾み好日苑を知って頂く非常に良い機会となりました。



令和7年度《【新館】活動報告会》

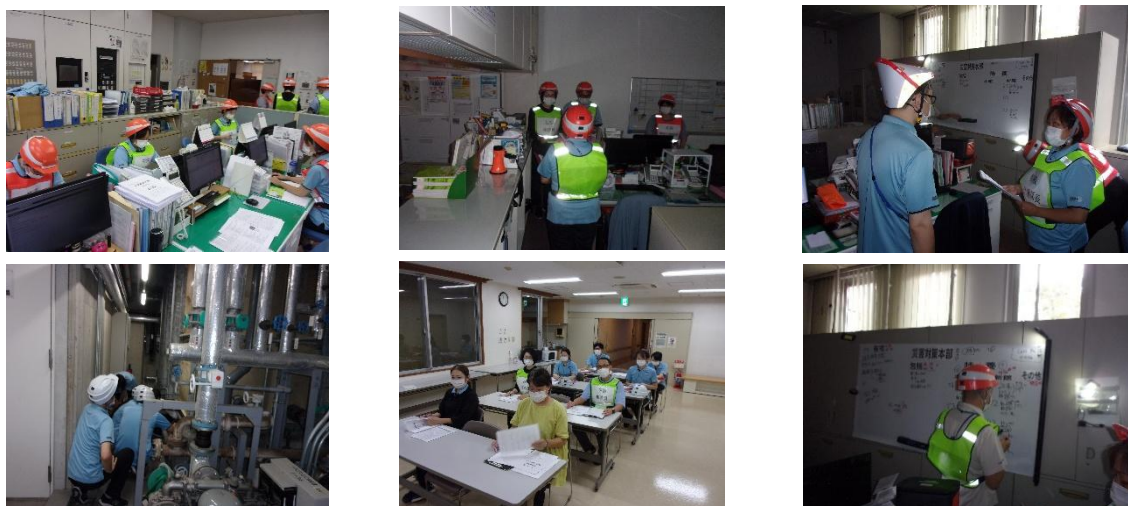
開催月	場 所	内 容
10月	1階リビング	・開会の挨拶 ・職員自己紹介 ・参加入居者自己紹介 ・日常生活やイベントの様子をスライドで見ながら、裏話やエピソードトーク ・介護機器の紹介と使用方法 ・お願い(来苑した時に、タンス衣類を確認して欲しい事。大事な衣類は季節毎でクリーニングなど家族対応して欲しい事) ・終了のご挨拶
3月	2階リビング	・開会の挨拶 ・職員紹介 ・来苑時の注意事項説明 ・パンケーキ、フルーチェ作り ・わたあめパフォーマンス ・閉会の挨拶
3月	3階リビング	・開会挨拶 ・職員自己紹介 ・家族自己紹介・一言 ・入居者1日の生活の様子、季節とイベント時の様子をスライドショーと動画を合わせて報告。 ・閉会挨拶 ・家族アンケート記載

令和7年度 自衛消防訓練審査会・響会 大規模防災訓練

9月26日(金)に特養事務と本新館介護職員の合同チームにて自衛消防訓練審査会に参加しました。今回からより現場での災害を想定し自施設内での自衛消防活動の動きを消防の方が審査する形式に変更となりました。好日苑では地下ボイラー室からの火災発生に伴う消防訓練を実施し、優勝は逃してしまいましたが、『優良賞』を受賞することができました。日々の訓練の大切さを学べる良い機会となりました。



令和7年10月5日(日)に巨大地震発生後から、どう施設運営を行い入居者の生活を維持するのか、大規模防災訓練を実施しました。今年で5回目となる今回の訓練では、事務所が不在となる休日を想定した訓練とし、より現実に近い想定での訓練となりました。



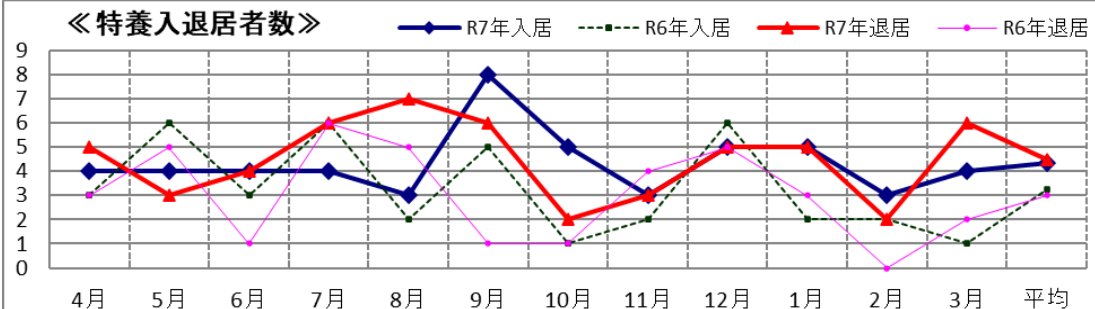
◆ 令和7年度 特養入退居者状況

	本館			新館			合計			入居前					退居後			
	入居	退居	在籍	入居	退居	在籍	入居	退居	在籍	自宅	老健	病院 医療院	有料H 宿泊タイプ	GH 経費 小多機	病院 逝去	苑内 逝去	看取 介護	医療院 他施設
年度当初	—	—	88	—	—	49	—	—	137									
4月	2	3	87	2	2	49	4	5	136	1	1		1	1	2		3	
5月	3	3	87	1	0	50	4	3	137	1	1		1		1		1	
6月	3	3	87	1	1	50	4	4	137	2		1	1			1	3	
7月	4	6	85	0	0	50	4	6	135		2	1	1			1	4	1
8月	3	4	84	0	3	47	3	7	131		1		2			1	6	
9月	5	2	87	3	4	46	8	6	133	3	2	1	2		2	3		1
10月	2	2	87	3	0	49	5	2	136	1	1	1	2			1	1	
11月	2	3	86	1	0	50	3	3	136				2	1			3	
12月	5	4	87	0	1	49	5	5	136	2		2		1			5	
1月	3	2	88	2	3	48	5	5	136	1		3	1		1	2	2	
2月	1	2	87	2	0	50	3	2	137	2			1				2	
3月	4	5	86	0	1	49	4	6	135	1	2	1			1		4	1
合計	37	39		15	15		52	54		14	10	10	14	3	7	9	34	3

R7年度	
入居	52
退居	54
±	-2

R6年度	
入居	39
退居	36
±	3

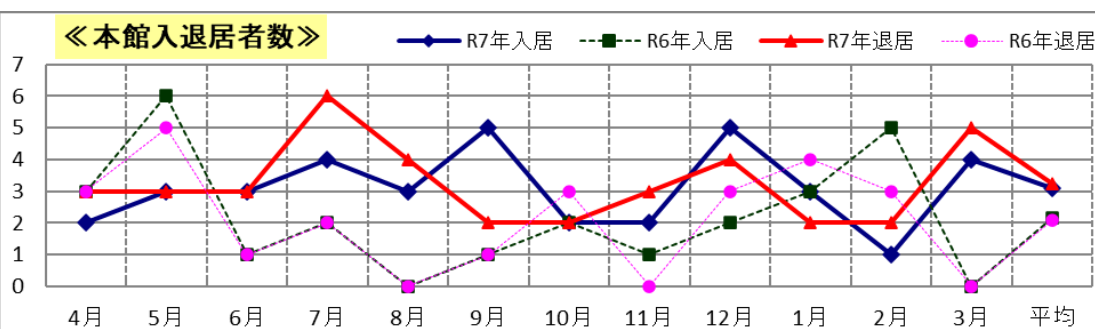
《特養入退居者数》



R7年度	
入居	37
退居	39
±	-2

R6年度	
入居	26
退居	25
±	1

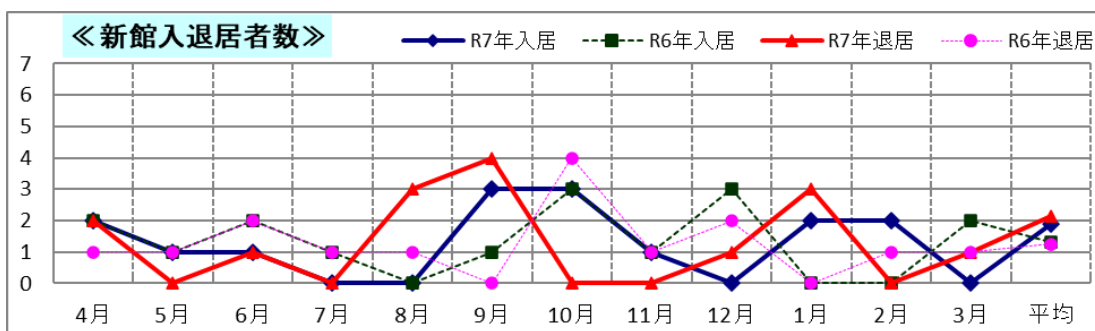
《本館入退居者数》



R7年度	
入居	15
退居	15
±	0

R6年度	
入居	16
退居	15
±	1

《新館入退居者数》



◆ 特別養護老人ホーム好日苑 利用状況

令和8年3月31日 現在

【年齢】

	本館	新館	合計
最高齢	101	103	
100以上	1	2	3
90以上	32	16	48
85以上	27	10	37
80以上	14	13	27
75以上	5	6	11
70以上	4	1	5
65以上	1	1	2
64以下	2	0	2
最年少	59	68	135
平均	86.6	87.1	86.8

百寿(100)	0	0	0
白寿(99)	0	2	2
米寿(88)	11	3	14
喜寿(77)	0	1	1
古希(70)	0	0	0

【性別】

	本館	新館	合計	%
男性	12	6	18	13%
女性	74	43	117	87%
合計	86	49	135	

【階層】

	本館	新館	合計	%
1	7	0	7	5%
2	9	4	13	10%
3①	9	6	15	11%
3②	12	9	21	16%
4	49	30	79	59%
合計	86	49	135	
補足給付率	43.0%	38.8%	41.5%	

【負担割合】

	本館	新館	合計	%
0%	6	0	6	4%
10%	77	46	123	91%
20%	1	2	3	2%
30%	2	1	3	2%
合計	86	49	135	100.0%

【要介護度】

	本館	新館	合計
要支援	0	0	0
介護度 1	5	3	8
介護度 2	8	2	10
介護度 3	18	11	29
介護度 4	31	19	50
介護度 5	24	14	38
合計	86	49	135
平均	3.71	3.80	3.74
要介護4.5率	64.0%	67.3%	65.2%

【在籍期間】

	本館	新館	合計
1ヶ月未満	4	0	4
1年未満	28	10	38
2年未満	17	8	25
3年未満	11	6	17
4年未満	8	7	15
5年未満	5	5	10
6年未満	3	6	9
7年未満	8	2	10
8年未満	2	1	3
9年未満	0	2	2
10年未満	0	1	1
11年未満	0	0	0
12年未満	0	1	1
13年未満	0	0	0
14年未満	0	0	0
15年未満	0	0	0
16年未満	0	0	0
17年未満	0	0	0
18年未満	0	0	0
19年未満	0	0	0
20年未満	0	0	0
21年未満	0	0	0
22年未満	0	0	0
23年未満	0	0	0
24年未満	0	0	0
25年未満	0	0	0
26年未満	0	0	0
合計	86	49	135
平均	2.3年	3.4年	2.7年
	28ヵ月	40ヵ月	32ヵ月

【認知症高齢者自立度】

	本館	新館	合計	Ⅲ	Ⅱ
無	2	2	4	1/3	1/2
I	5	4	9		
Ⅱa	9	9	18		
Ⅱb	15	11	26		
Ⅲa	23	9	32		
Ⅲb	14	8	22	78	122
Ⅳ	16	3	19		
M	2	3	5		
合計	86	49	135	58%	90%

◆ 令和7年度 東京都福祉サービス第三者評価結果

令和7年度 東京都第三者評価事業【好日苑】評価結果「概要版」

＜評価機関＞

ヒューマン・ブラザーズ株式会社

「とうきょう福祉ナビゲーション」

<http://www.fukunavi.or.jp>

特養 好日苑

	アンケート	聞き取り
調査対象者数		18
有効回答者数		18
総数に対する回答者割合		100%

＜利用者調査結果＞

共通評価項目	実数				
	「はい」%	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 施設における食事の献立や食事介助など食事に満足しているか	83%	15	1	1	1
2. 日常生活で必要な介助を受けているか	78%	14	1	1	2
3. 施設の生活はくつろげるか	56%	10	3	4	1
4. 職員は日常的に、健康状態を気にしているか	83%	15	1	1	1
5. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	94%	17	1	0	0
6. 職員の接遇・態度は適切か	78%	14	4	0	0
7. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	78%	14	2	0	2
8. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	83%	15	1	0	2
9. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	83%	15	2	1	0
10. 利用者のプライバシーは守られているか	94%	17	0	0	1
11. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	11%	2	4	10	2
12. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	11%	2	3	7	6
13. 利用者の不満や要望は対応されているか	83%	15	1	1	1
14. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談が出来ることを伝えられているか	0%	0	1	16	1

＜総合的な感想について＞

(1) 施設はあなたにとって、良いところだと思いますか	大変満足	33.3%	88.9%
	満足	55.6%	
	どちらともいえない	11.1%	
	不満	0.0%	
	大変不満	0.0%	
	無回答	0.0%	
	計	100.0%	

＜利用者調査全体の評価機関のコメント＞

・施設に対する調査対象利用者の総合評価は、大変満足33.3%・満足55.6%を合わせると88.9%の方が「満足」と評価しています。

・数名の方は職員の大変さを理解しつつ、現在の生活に概ね満足している様子です。音楽鑑賞や外出の希望も聞かれましたが、全体的には安心感があり、生活に支障なく過ごせることが満足につながっています。また、職員の優しさや対応力を評価する方が多数を占めました。

《評価機関》

ヒューマン・ブラザーズ株式会社

「とうきょう福祉ナビゲーション」

<http://www.fukunavi.or.jp>

	アンケート	聞き取り
調査対象者数	131	
有効回答者数	69	
総数に対する回答者割合	53%	

《ご家族調査結果》

共通評価項目	実数				
	「はい」%	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 施設における食事の献立や食事介助など食事に満足しているか	55%	38	25	2	3
2. 日常生活に必要な介助を受けているか	75%	52	12	2	2
3. 施設の生活はくつろげるか	26%	18	29	12	9
4. 職員は日常的に、健康状態を気にしているか	68%	47	14	2	5
5. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	86%	59	9	0	0
6. 職員の接遇・態度は適切か	90%	62	4	2	0
7. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	78%	54	9	2	3
8. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	52%	36	20	1	11
9. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	77%	53	10	1	4
10. 利用者のプライバシーは守られているか	68%	47	15	0	6
11. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	75%	52	9	4	3
12. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	67%	46	17	1	4
13. 利用者の不満や要望は対応されているか	68%	47	15	0	6
14. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談が出来ることを伝えられているか	52%	36	20	5	7

《総合的な感想について》

(1) 施設はあなたにとって、良いところだと思いますか	大変満足	27.9%	79.4%
	満足	51.5%	
	どちらともいえない	17.6%	
	不満	0.0%	
	大変不満	0.0%	
	無回答	3.0%	
	計	100.0%	

《利用者調査全体の評価機関のコメント》

・総合的な事業所に対する評価は「大変満足」「満足」と回答した方は79.4%でした。

・個々の設問については、14設問中2設問で「はい」と回答した方が80%以上と満足度が示されています。

・日頃感じている施設に対する意見・要望などの自由回答では、「く職員の方々の対応が丁寧で見ていて安心する。施設内も清潔で目が行き届いているし、何より建物（造り）がしっかりしていて災害時などを想定した場合安心してまかせられる。」などの声が寄せられています。

事業者が特に力を入れている取り組み①

評価項目	6-4-8	利用者の健康を維持するための支援を行っている
タイトル①	多職種連携による「先手のケア」の実践と入院日数の削減に注力しています	
内容①	好日苑では、利用者が住み慣れた「第二の我が家」で最期まで穏やかに過ごせるよう、早期対応を重視する「先手のケア」に注力しています。介護・看護・栄養・理学療法士に加え、嘱託医とも密に連携し、日々の小さな「気付き」を多職種で共有・検討する体制を構築しています。その結果、年間1,200日以内という目標に対し、令和6年度は677日と大幅な入院日数の削減に成功しました。また、介護報酬改定による協力医療機関との連携要件も既に満たしており、根拠に基づいた質の高い生活支援と健康管理を両立させています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②

評価項目	6-4-6	移動の支援は、利用者の状態や意思を反映して行っている
タイトル②	次世代介護推進チーム(NGCT)による最新機器活用と自立支援を促進しています	
	「次世代介護推進チーム(NGCT)」が中心となり、最新の介護機器や福祉用具を活用して、利用者と職員双方に優しい「次世代介護」を具現化しています。見守り支援機器の運用や「ノーリフティングケア」をPDCAサイクルに沿って実践しています。理学療法士との協働により、個々の状態に合わせたポジショニングの標準化や車いすレンタルバックの適正評価も徹底しています。これらの生産性向上とケアの質を両立させる取り組みは、東京都の「アクティブ福祉」優秀賞受賞という目に見える成果にも繋がっています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③

評価項目	5-1-3	事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる
タイトル②	体系的な職員育成システムと専門性を高める組織風土の醸成に注力しています	
	6つの指標をバランスよく高める「職員育成システム」を構築し、無資格者や特定技能外国人材も着実に成長できる環境を整えています。特養育成コストを活用したPDCAサイクルや統一されたOJTの実践により、全職員が夜勤を含む交代勤務を担えるまでのスキル習得を支援しています。また、役職者全員が認知症介護実践リーダー研修等を修了するなど、組織全体の専門性を底上げしています。実践事例を「N1グランプリ」で表彰する仕組みは、職員の内発的動機付けを高め、前向きに学び続ける組織風土の形成に寄与しています。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	誓会方程式と称し、特養を第二の我が家として家族との関係を繋ぐ通い介護を支援し、最期まで家族と穏やかに過ごせる生活を支援しています
	内容	併設する地域包括支援センターや通所介護、短期入所とサービス提供場面で及び組織的に連携協働し、高齢者の身体状況の段階に応じて地域包括支援センターから居宅介護支援事業所、通所介護や短期入所で支援しています。自宅での生活が困難になると施設入居は自宅からの転居と捉え「通い型介護」と称して家族が引き続き利用者の食事介助や外出支援を施設サービス計画に位置付けて行っています。最終的には家族と穏やかな看取り迎える支援をし、この過程を「好日苑 多機能型居宅介護」と総称し住み慣れた地域で可能な限りの生活を支援しています。
2	タイトル	成功事例から職員は必要な知識を役職者はリーダーシップ力を習得し、発表と表彰する仕組みが内発的動機づけを図り効果を発揮しています
	内容	利用者がより一層安寧した生活をするために取り組みを行い、実践事例から特に経験年数の少ない職員は認知症ケアなどについての新たな知識や技術を習得し、リーダーも取り組みを組織的に推進するうえでのリーダーシップ力(組織をまとめ目標に向かって行動を促すなど)を習得しています。またフロア単位での取り組みで最も優れた実践事例を表彰する共に「アクティブ福祉」での発表を積極的に行う取り組みを推進しています。表彰制度も、職員の取り組みに対する内発的動機づけを高めるように行われ、前向きな組織風土の形成に効果を発揮しています。
3	タイトル	リーダー層の支援の価値観の共有及び心理的安全性が確保された状態が施設全体の前向きな組織風土の形成に効果を発揮しています
	内容	リーダー層間の志向性が利用者中心という価値観で共有され、またポジティブな取り組み姿勢及び組織風土が形成されています。そのうえで、各種取り組みの企画を推進するうえで議論をする際に、他のメンバーの意見に否定的な発言をしても更に議論が深まるといった経験がリーダー層内での心理的安全性を構築し高め、施設全体としても前向きな組織風土が形成されるなどの効果を発揮しています。また課長による一般職員の面談は、間の役職者を超えて行われ、それが一般職員と役職者間の心理的な距離を近づけその結果発言が増加するなどの効果を得ています。

さらなる改善が望まれる点	
タイトル	併設施設と連携し各種ボランティアを積極的に養成し人的社会資源を開発すると共に地域共生社会の拠点施設として機能することを期待します
内容	併設施設と連携し施設の各専門職の有する知識や技術を活用し積極的に各種ボランティア（付添や外出介助など）を養成しつつ人的社会資源を開発し、地域福祉の向上に貢献することを期待します。車いすサポートをする外出介助のボランティアを養成し、施設利用者の外出のサポートを得たり、地域で車いす生活をしている方のサポートをするなどの取り組みを企画し、健康な段階からサポーターとして「響会ケアシステム」に組み入れ構築し地域共生社会の実現に向けた地域福祉の拠点施設として機能し、住民と一体となって取り組みを推進することを期待します。
タイトル	施設としての機能訓練の考え方を特養事業として共有し、また体操プログラムなども組織として取り組み活動が定着することを期待します
内容	利用者の機能訓練は理学療法士（1名）が中心となって行っています。理学療法士が個々の利用者の移乗異動介助時の負荷のかけ方などを個別に介護職員に説明し、介護職員からも疑問点などの確認が行われアドバイスが行われています。今後は理学療法士から今以上に日常生活上での機能訓練の意義を介護職員と共有し、また、利用者の状態に応じた集団体操の実施方法も全て理学療法士が行うのではなく、介護職員が実施方法を習得したうえで実施したり、動画を効率的に活用することで、また利用者の動機づけを図る工夫もしつつ実施することを期待します。
タイトル	利用者のより良い生活の実現に向けて、職員の気づきや視点を全体で共有し具体的な支援につながる仕組みを構築していくことが期待されます
内容	利用者のその人らしさを知るために家族記入のフェイスシートや職員の気づきを掲示板サイトで共有しています。また定期的なアセスメントが行われ、各専門職員が計画に対する評価を行っています。健康状態やADLに対する評価になりがちです。現在個々の利用者のより良い生活実現のために、うれしくなること、困っていること、笑顔を引き出すために出来る事などの情報を共有する仕組みを作り始めています。今後ここに出てきた職員の視点を蓄積する仕組みを作り、例えば24時間シートに反映することで具体的な支援につなげていくことが期待されます。

I 好日苑デイサービスセンター

令和7年度におきましては、入院や認知症の進行・家族の想い等のきっかけで施設入居に向けての話しがかなりのスピードで進み、在宅生活の場が一変するケースが多い年度でした。。その反面、デイサービスをご希望される方は幅広く、上半期は重度の方の受け入れが多く見られ、下半期は総合事業の方の受け入れと多岐に渡った受け入れを行えました。

また、好日苑多機能型連携ケースの受け入れも進み、多機能型職員を増員し、兼務日のみならず柔軟に幅広く職員が稼働できる体制を整えました。

そして、事業所運営を行う上で、生産性向上の視点を持った取り組みとして、アクティビティの視点では「次世代介護機器導入を目指し、見守り・コミュニケーションロボット導入検討」。また、介護技術の視点では「ノーリフティングケアを遂行する為にスライドボード」の導入など、利用者・職員共に心が豊かになり、健康寿命が延び、生活の質(いきがい)向上につながり、安心・安楽な支援が提供できる体制作りのスタート年度でした。

これからも、住み慣れた地域で自立した生活と安心と暖かさを感じて取れる生活をし続けて頂く為の好日苑デイサービスでいられるよう努力して参ります。

1. 『第7次中期経営計画を踏まえた令和7年度事業計画の重点施策』

(6) 好日苑デイサービス》 第7次中期経営計画を踏まえた令和7年度事業計画の重点施策	
利用者	① 好日苑レクスタイルの確立（好日苑認知症予防運動プログラム開発と実用・各 PG 責任者配置） ② 好日苑オーラルフレイル予防（口腔機能向上加算新規算定） ③ BX事業推進・生産性向上（タブレット端末・SNSの活用・オンライン見学会等）
職員	① レクリエーション・インストラクター養成（養成講座受講2名/年） ② 多機能型職員増員と短時間介護職員配置 ③ 認知症介護リーダー・実践者研修修了者養成（認知症ケア関連加算維持）
経営	① 居宅連携率 年/70%》稼働率 90.0%、週間登録率 110%（週 228 名） ② 地域開放・連携（近隣保育施設との定期連携） ③ 複合型サービス移行の費用対効果検証

【令和7年度の重点施策に対する評価】

「利用者」

- ① 生産性向上(集客力と省人化、コミュニケーションツール)の一環として「次世代介護機器(見守り・コミュニケーションロボット)」導入検討。

レクリエーションリーダーが送迎添乗や入浴補助など多岐に渡ってフォローに入る状態でレクリエーションに専念できず、利用者には隙間の時間が生じている。そこにレクリエーションリーダーの代役として、ロボットを配置することで職員1名分を補うことが可能と判断し、東京都の次世代介護機器導入促進支援事業へ導入申請。

※東京都から補助内示を受けた機器について、令和7年12月23日に発注先業者より、令和8年3月31日をもって販売終了、令和9年3月31日をもってクラウド・修理受付等サービス終了となる旨の通達あり。法人として検討した結果、継続的なサポート体制を得ることが困難となったため、今回の導入・補助金は辞退となりました。

「職員」

- ② デイ・ヘルプ兼務職員(多機能型職員)を年間計3名配置(1名増)・「週4日」兼務(計15.5時間担当)
 ③ 認知症介護実践者研修1名受講修了(※認知症ケア関連加算算定に伴う必須配置要件)

「経営」

- ① 居宅連携率は令和 8 年 3 月末時点で 70.2%にて目標達成。(連携数は R7.4:28 件⇒R8.3:40 件)

2. サービス提供

- (1) 利用状況(※年間稼働率 90.0%・登録率 100%)

年間平均稼働率は 85.8%・週間登録数(平均)216 名と目標達成に至りませんでした。

延べ利用数 9,309 人(※昨年度:9,065 人・昨年度比較:1.0%増)、欠席数 2,110 日(※昨年度:2,135 日・昨年度比較:0.9%減)、新規 49 名(※昨年度:35 名)で好日苑多機能型居宅介護連携による自居宅新規は 49 件中 14 件(30%)、廃止は 41 名(※昨年度:42 名)でした。

登録実績	週間登録数 (210 名/週定員)	利用者実績	稼働率(目標:90%)	
			R7	R6
4 月	209 名	742 名	81.5%	87.0%
5 月	204 名	795 名	84.1%	81.9%
6 月	213 名	744 名	85.0%	88.3%
7 月	219 名	806 名	85.3%	87.4%
8 月	225 名	797 名	87.6%	86.0%
9 月	221 名	787 名	86.5%	86.3%
10 月	221 名	828 名	87.6%	86.2%
11 月	215 名	743 名	84.9%	78.2%
12 月	220 名	823 名	87.1%	80.5%
1 月	213 名	739 名	88.0%	80.0%
2 月	219 名	716 名	85.2%	79.6%
3 月	217 名	789 名	86.7%	80.3%
平均	216 名	775.8 名	85.8%	83.5%

利用実績	利用実数			新規	廃止	休止	1 日 平均利用
	介護	予防	計				
4 月	88	4	92	9	3	1	28.5
5 月	86	4	90	1	3	1	29.4
6 月	89	4	93	6	2	2	29.8
7 月	92	5	97	6	3	1	29.9
8 月	91	5	96	3	3	2	30.7
9 月	90	4	94	2	3	3	30.3
10 月	88	5	93	4	3	4	30.7
11 月	84	5	89	4	9	4	29.7
12 月	89	5	94	4	0	3	30.5
1 月	85	6	91	2	6	2	30.8
2 月	85	5	90	3	1	4	29.8
3 月	88	7	95	5	5	0	30.3
合計	—	—	—	49	41	45	—
平均	87.9	4.9	92.8	4.1	3.7	4.1	30.0

欠席状況	入院	ショートステイ	病欠	自己都合	合計 (その他欠席含)
4月	41	66	21	33	161
5月	32	71	9	43	155
6月	34	79	7	24	144
7月	42	86	16	37	181
8月	47	105	8	47	207
9月	55	86	17	39	197
10月	43	90	36	33	202
11月	33	90	19	42	184
12月	34	79	15	59	187
1月	24	75	8	40	147
2月	28	71	27	38	164
3月	29	93	20	39	181
合計	442	991	203	474	2,110
平均	36.8	82.5	16.9	39.5	175.8

介護度別 利用実績	支援 1.2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計	平均
4月	4	19	25	22	11	12	93	2.6
5月	4	19	25	21	11	11	91	2.6
6月	4	18	23	27	13	10	95	2.6
7月	5	21	24	25	14	9	98	2.5
8月	5	22	24	25	11	11	98	2.5
9月	4	22	25	25	11	10	97	2.5
10月	5	22	25	23	11	12	98	2.5
11月	5	18	25	23	11	11	93	2.6
12月	5	18	27	23	12	12	97	2.6
1月	6	16	25	23	10	12	92	2.6
2月	5	17	26	24	10	12	94	2.6
3月	7	18	26	24	8	12	95	2.5
合計	59	230	300	285	133	134	1141	2.6
比率	4.9%	19.2%	25.0%	23.8%	11.1%	11.2%		

廃止内訳	要支援 1.2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
ご逝去	0	1	3	4	1	2	11
入所	0	3	3	4	3	1	14
老健	0	0	0	1	1	0	2
長期入院	0	2	1	0	1	0	4
その他	2	1	2	2	2	1	10
合計	2	7	9	11	8	4	41

(2) 活動報告(アクティビティ等)

心が豊かになり、健康寿命が延び、生活の質(生きがい)向上につなげることを目的として、既存のアクティビティプログラムに「次世代介護機器(見守り・コミュニケーションロボット)」PALRO (パルロ) の導入検討を行い、生産性向上を含めた新たな特長をもったレクリエーションを検討しました。



コミュニケーションロボット「PALRO (パルロ)」

※東京都:令和7年度次世代介護機器導入促進支援事業での導入内示をいただきましたが、発注先業者の機器販売終了を受け、今回の導入・補助金は辞退)

① 「楽しみながら」心身機能・認知機能の維持・向上

運動と認知課題(計算、しりとりなど)を組み合わせた、認知症予防を目的とした取り組み(※コグニサイズ)や脳活性化トレーニング(※前頭葉への刺激を意識した取り組み)を定着化させました。ご自宅でも行えるプログラムを念頭においた活動に組み込み、『口腔機能維持体操』については楽しみのひとつであるお食事を安全に召し上がって頂く事背景に加齢に伴う嚥下・咀嚼力の機能低下が招く誤嚥・誤飲を予防する視点で年間を通じて取り組みました。

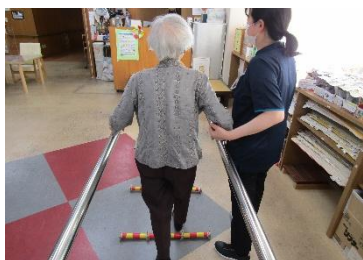
② 機能訓練

常勤看護師2名を機能訓練指導員兼務として配置し機能訓練実施。通所される利用者の希望を確認し、ご利用者の機能維持、更なる運動機会確保とし機能訓練プログラムソフト「ACE」を活用し、その方に合った訓練を提供して参りました。

実施人数については、昨年度末で9名の登録から今年度は最大16名の登録となり、周りの方が組み込まれている姿を見て、機能訓練を希望する方が多く、全体的な相乗効果が生まれてました。

利用実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	16	16	15	15	15	15	15	14	14	14	14	13

《 機能訓練の様子 》



《機能訓練で使用する手作り器具 》



③ 活動プログラム

レクリエーションリーダーを担当する職員が自ら調べてきた内容やインターネット上での情報(※その日を代表する出来事を伝えるなど)を生かし、個々の特色を加えてレクリエーションプログラムを実施し、心身機能の活性化を図り、健康維持増進を目的にレクリエーションプログラムを提供しました。また、積極的にボランティアの方々の受け入れを行い、音楽やゲームを行いながら体を動かす等、ボランティアの内容も幅を広げる事ができました。そして、利用者の意見の中で、「体を動かしたい」という声を頂き、以前は職員が行っていた体操も動画を見ながらの体操へ変更し、体を動かす時間も増え皆さん前向きに取り組んで頂きました。今後も、利用者の声を聞きながらレクリエーションの内容を考え提供していきます。

④ 趣味・娯楽・制作活動

職員が中心となりアクティビティ活動を実施。また、iPadを活用し、新たな余暇提供や多様なプログラム作成を実施。年度末には、ボッチャスポーツを取り入れ、ボッチャウィークとして、皆様に身体を動かしながら楽しんで頂きました。

主な活動内容		活動内容
アクティビティ (脳・ 身体機能維持)	上肢	○【コグニサイズ】脳機能の改善・向上・維持・認知症予防 ○【関節可動域維持(肩・手首) ゲーム】 ○ボッチャ・パターゴルフ・うしろへポイ・的当て・バランス玉入れ・魚釣り・巻いて巻いて・池上線でガタンゴトン・缶倒しなど日舞・輪踊り、音楽に合わせたリズム体操
	下肢	○【コグニサイズ】脳機能の改善・向上・維持・認知症予防！ ○【関節可動域維持(膝・足首・指先関節・バランス感覚) ゲーム】 ○下駄飛ばし・とんでけスリッパ・飲缶ゲートボール・足で手繰って ○寄せて・ゴールを決めろ・ルームランナーなど 【生活動作維持・回復支援】 ○送迎時の車両昇降動作・車椅子⇄椅子移乗など
	脳トレ	○漢字・計算ドリル、間違い探し、パズル、数字塗りつぶし、生活用品記憶力ゲーム、ワーキングメモリ(作業記憶)を鍛える多様な活脳レク
趣味生きがい活動	麻雀・将棋・オセロ・手芸・書道・編物・動画鑑賞(I Pad)	
その他	制作活動(大壁画作成・年中行事)	
年間行事	5月：端午の節句、7月：スイカ割り、8月：お祭りWEEK、10月：ハロウィン 12月：クリスマス会、1月：新年会、2月：節分、3月：ひな祭り	
不定期開催	お誕生日会：利用者のお誕生日当日、または近い日にちで開催。ボランティア：ボランティアとのDM(民謡・三味線(盆踊り等)、クラリネット、ウクレレ演奏会等)	

(3) 年間プログラム

感染症予防対応を考慮した中で、これまで構築してきた活動、行事(プログラム)を実施。デイサービスに参加していただく事で、健康になり、楽しみや交流を絶やさないよう充実した日常生活を送って頂けるよう努めました。

4月	「書道」	  
	皆さん、お手本を見て先生に教わりながら取り組まれました。	

5月	端午の節句			
	レク活動の時間に端午の節句のこいのぼりを作成しました。			
6月	七夕			
	七夕の色紙を作成。フロアの壁に飾りつけを行い雰囲気作りも行いました。			
7月	ひまわり制作			
	夏をイメージして、ひまわりを制作しフロアに飾りました。			
8月	好日苑まつり			
	好日苑まつりでスーパーボールすくいと輪投げのゲームを行いました。久々に地域の皆様にも参加いただき、とても賑やかなお祭りとなりました。			
9月	敬老会			
	利用者への日頃からの感謝の意を込め、お祝い品贈呈と集合写真撮影。今年度はハンドタオルでした。			
10月	かるた大会			
	みなさんでかるた大会を行いました。必死にかるたを取り合い楽しみました。			
11月	ハロウィン			
	今年は見せるハロウィンとして、職員たちで仮装して、利用者に楽しんで頂きました。			

12月	クリスマス			
	クリスマスツリーの飾りつけや制作を行い、沢山記念撮影を行いました。			
1月	新年			
	お正月の雰囲気、書初めも行いました。皆さんとても上手に書かれていました。			
2月	交流会			
	地域の保育園児と交流会を行いました。小さなお子さん達に皆さん笑顔が多く見られました。			
3月	ボランティア表彰			
	毎年、1年間お世話になったボランティアさんに感謝状と記念品をお渡ししています。			

(4) 入浴サービスの提供

個浴型特殊浴槽（2台）とチェアインバスの計2種類・3台の浴槽を使用し、清潔の保持・家族の介護負担軽減と利用者様の気分転換とADLに合わせた安楽な入浴に努め、菖蒲湯や柚子湯などの季節感を味わって頂く工夫を行い、利用者に喜んで頂けるよう努力して参りました。また、営業活動時の聞き取りにて当事業所利用に対し入浴の要望が高いこと、特に機械浴希望が高いことが分かり、当事業所の浴室設備をアピールし、入浴登録・実績・一日平均の数値は上昇。

	登録	実績	1日平均
4月	114	388	14.9
5月	109	413	15.2
6月	116	385	15.4
7月	118	421	15.5
8月	119	399	15.3
9月	115	410	15.7
10月	118	406	15.0
11月	112	382	15.2
12月	113	416	15.4
1月	111	359	14.9
2月	114	358	14.9
3月	110	387	14.8
平均 (前年度)	114.0 (108.5)	393.6 (373.4)	15.1 (14.4)



(5) 食事サービスの提供

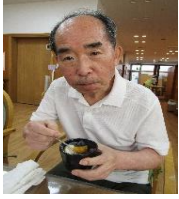
食事提供の面では、管理栄養士・調理担当者と協働し「五感を刺激する取り組み」を意識したイベント食の定期開催を実施しました。

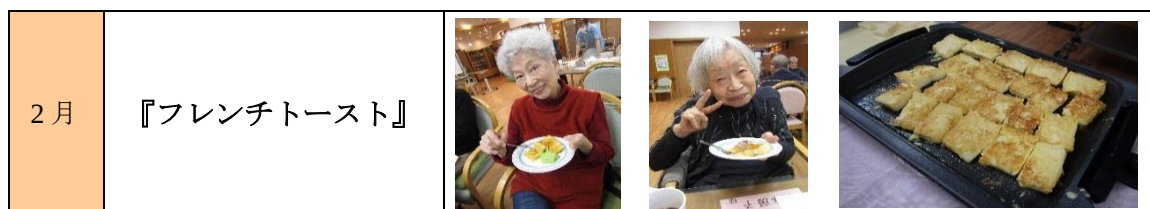
【 イベント食・行事食 】

4月	イベント食 『握り寿司』			
5月	イベント食 『中華弁当』			
6月	イベント食 『天ぷらそば ・うどん』			
7月	イベント食 『パスタ』			
8月	イベント食 『九州フェア』			
9月	イベント食 『鉄板焼き』			
10月	イベント食 『行楽弁当』			
11月	イベント食 『天ぷら』			

12月	イベント食 『洋食ランチ』	  
1月	イベント食 『鍋』	  
2月	イベント食 『羽根つき餃子』	  
3月	イベント食 『握り寿司』	  

【 わくわく手作りおやつ 】

4月	『蒸しパン』	  
6月	『フルーツあんみつ』	  
8月	『あんみつ』	  
10月	『フレンチトースト』	  
12月	『ブッシュドノエル』	  



(6) 健康状態の把握

センター到着後の健康チェック（バイタルチェック）では体温、血圧、脈拍の3項目を行い、数値が異常な場合は再検査のもと、利用者の身体状況を把握、体調の変化など早期発見・早期対応に努めました。また、長期入院から利用再開となる際には、生活相談員等が退院前カンファレンス参加、自宅に伺っての再アセスメントを積極的に実施しました。体調不良による入浴が困難と看護師が判断した場合は入浴を中止、活動参加が困難な場合は家族に連絡のもと、早退という形を取り、自宅までの送迎対応を行いました。また、デイフロア内の静養スペースでは、体調不良による静養・体力面に配慮した休息など柔軟な対応を心掛けました。

(7) 安全なサービス（リスクマネジメント）

【 令和7年度事故状況 】

事故種別	転倒	離苑	急変・救急	裂傷	送迎時	異食	合計
件数	9	0	0	0	0	0	9

事故・苦情には迅速な対応と解決を心がけ、予防に努めるとともに、事故・苦情の情報共有の徹底により、内部研修による事例検討等による再発防止に努めました。

事故詳細として、転倒事故9件となり、昨年度に比べて転倒事故が減少。しかし、1件脱衣室内での転倒から骨折に繋がるケースが1件ありました。骨折までには至らないまでも、令和7年度は脱衣室内での転倒が3件見られました。更衣時の転倒だった為、導線確保・脱衣室内での介入方法等も見直しを行い、安全に支援できるようにしていきます。

【 ノーリフティングケア（持ち上げない介護） 】

ノーリフティングケアは、利用者・職員の「押さない・ひかない・持ち上げない・運ばない」を避けることで、利用者や職員の腰痛予防だけでなく、ケアを受ける側の褥瘡や拘縮も抑制するためのケア方法であり、デイサービスでは内部研修で理学療法士の講義にて基礎知識の理解と基礎技術の習得を図り、その後移乗を助ける目的の福祉用品（スライディングボード）を導入・実践し利用者・職員の安心・安楽、負担の少ない支援に努めました。

【 火災・地震を想定した震災訓練 】

当デイサービスセンターでも随時環境設定（※事業所内または送迎中、時間帯など）を行い、月1回の震災訓練を実施しました。

また、年1回実施される大規模防災訓練にて、震災時にデイサービスフロアに福祉避難所が開設される為、開設訓練（区画作り（11組22名）や防災備品の確認等）を実施しました。



(8) 利用者個々に合った相談支援

利用中の状況、家族等のニーズを踏まえ、介護支援専門員との連携のもと通所介護計画・第1号通所事業通所介護計画書の適正な作成(新規・更新)に努めました。

計画書の作成にあたっては、日々の申し送りと月1回のケース会議をもとに職員の情報共有を図り、サービス担当者会議への出席等、他事業所と連携し、利用者本人・家族にとって分かりやすい説明のもと同意を得られるようにしました。

(9) 家族交流の促進

送迎時のコミュニケーションと連絡帳の活用に加え、月間予定表、献立の配布、三色すみれ(広報誌)の発行により、情報発信に努めました。また、法人ホームページ内に掲載している「デイサービスの窓(※ブログ)」はデイサービス職員が更新作業を行い、よりタイムリーな情報発信に努めました。

(10) その他

① ボランティア

今まで行っていたグループの方々との活動継続とともに、ボランティアさん同士の横のつながり・ご紹介にて新たなボランティアの輪が広がりました。

② 実習生等

種別	人数	実習機関
看護師	13 名	都立荏原看護専門学校
職場体験学習 (中学生)	7 名	3 校

《 日々の活動・イベント 》

【 アクティビティ活動(上下肢機能維持運動など) 】



【 趣味生きがい活動など 】



(※将棋・麻雀)

(※書道)

Ⅱ 好日苑ヘルパーステーション

令和7年度におきましては、「好日苑多機能型居宅介護」による連携を中心に、目標で掲げた連携率の上昇、訪問介護と定期巡回サービスとの連携、他事業所への多機能型連携のアピールによる新規獲得などが功を奏し、利用者登録数が増加し、重点施策で掲げた取り組みや目標値の達成といった結果につながりました。また、年々変化する異常気象に対し、2025年6月1日から一定の条件（暑さ指数28度以上または気温31度以上の環境で、連続1時間以上または1日4時間以上を満たす作業を実施が見込まれる作業）を実施する企業において熱中症対策が義務化されました。自事業所も一定の条件下を満たす可能性があるため、派遣スケジュール調整による休息時間の確保（1日1～2回・30分～1時間程度のクーリング時間）やネッククーラーなどの有効活用（東京都補助事業活用）、事務所に戻った際の体調確認や休暇調整（半有休）といった対策を講じました。

引き続き、住み慣れた地域で自立した生活と「安心と暖かさ」を感じ取れる生活をし続けていただく為に【好日苑多機能型居宅介護】を土台にした事業運営・支援をして参ります。

1. 『第7次中期経営計画を踏まえた令和7年度事業計画の重点施策』

利用者	① 認知症介護リーダー・実践者養成(認知症介護実践者研修1人/年受講) ② 中重度者ケアへの対応(ターミナルケース・身体介護中心の帯派遣といった柔軟な派遣受入)
職員	① フレキシブルな勤務体制構築(早(7-16)遅(10-19)勤務の試験的開始(1名/日、派遣時間枠7時～19時枠)) ② 人材確保・育成(東京都訪問介護採用応援事業活用・事業所管理体制検討)
経営	① 居宅連携率 年／60% ≫提責2名 210時間+兼務1名 45時間+非常勤1名 120時間 ≫派遣登録 375時間/月 ≫目標派遣 300時間以上(実績)

【令和7年度の重点施策に対する評価】

「利用者」

- ② 『中重度者ケアへの対応（ターミナルケース・身体介護中心の帯派遣といった柔軟な派遣受入）』は、まずターミナルケースは年間3件の派遣実績、身体介護中心の派遣については年間「1182.7」時間の実績（※昨年度実績：947.8時間）で前年比235時間増。時間増となった主な支援内容として、排泄支援・移動支援（デイ送り出し・迎え入れ）の短時間（30分）派遣・1日/複数回訪問でした。そして、訪問介護と定期巡回池上長寿園24（定期巡回サービス）との切れ目のないサービス提供を継続。結果、派遣延べ時間（R6：338h⇒R7：293.3h）・月平均（R6：28.2h⇒R7：24.4h）は昨年度より減少しましたが、常にケース保持・安定した継続支援は行えました。

「職員」

- ① 『フレキシブルな勤務体制構築（早（7-16）遅（10-19）勤務の試験的開始（1名/日、派遣時間枠7時～19時枠））』は、試験的開始は行えませんでした。令和6年度から継続実施している土曜日派遣・勤務は派遣対応職員を拡充（多機能型職員・非常勤ヘルパー）し年度通じて達成。また、1日の件数・派遣時間も僅かながら微増（1件増・1.5時間増）しました。

「経営」

- ① 居宅連携率はR7.4月：53%⇒R8.3：63%まで上昇し目標達成。

2. サービス提供

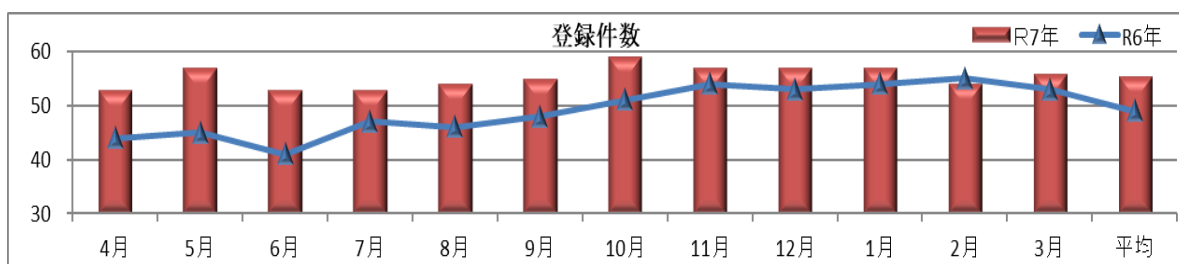
『稼動目標（※月平均 300 時間）』に対し、「サービス提供/月平均 342.3 時間」で目標値達成となりました。

登録等実績につきましては、月内登録数に関しては年間通じて登録数の大きな増減はありませんでしたが、新規利用者は 26 件（好日苑多機能型居宅介護連携による自居宅新規は 10 件、26 件中 3 件はターミナルケアケースに移行）の受入が行えました。また、廃止数は 25 件で昨年度（27 件）より 2 件減少し、ご逝去（急逝）や施設入居が主な要因でした。

このようなケースの移り変わりがあった中、年度当初の 53 名登録から増減を経て、最終的に登録数は 56 名の登録となりました。

(1) 登録・請求実績

	月内 登録	新規				廃止	休止	請求	
			介	予	有			実数	(内総合)
4 月	53	3	3	0	0	0	2	51	7
5 月	57	2	2	0	0	3	1	51	7
6 月	53	0	0	0	0	2	1	49	7
7 月	53	0	0	0	0	2	1	48	8
8 月	54	3	3	0	0	0	2	50	8
9 月	55	1	1	0	0	2	2	50	8
10 月	59	5	3	2	0	4	2	51	9
11 月	57	2	0	2	0	4	2	49	12
12 月	57	4	3	1	0	2	1	52	12
1 月	57	2	2	0	0	4	1	50	12
2 月	54	1	1	0	0	1	2	49	10
3 月	56	3	3	0	0	1	1	52	10
延	665	26	21	5	0	25	18	602	110
平均	55.4	2.6	2.3	1.7	0.0	2.5	1.5	50.2	9.2



廃止理由	要支援 1.2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
ご逝去	0	3	1	1	0	1	6
入 所	1	1	3	2	2	1	10
入 院	0	0	0	2	0	1	3
その他	1	0	5	0	0	0	6
合 計	2	4	9	5	1	3	25

(2) サービス提供実績

	稼 動 日	派遣 時間	一部 業務 委託	派遣時間内訳						派遣件数(回)		平均 介護 度
				身体	生活	身生	訪問 型	有料	1 回 あたり 平均	合計	1 日 あたり 平均	
4 月	26	337.4	24.2	94.4	127.4	59.1	30.5	25.9	0.81	417	16.0	1.91
5 月	27	371.6	27.4	104.4	130.2	65.6	30.3	41.1	0.84	444	16.4	1.89
6 月	25	336.0	24.5	84.4	125.2	61.5	29.3	35.7	0.84	402	16.1	1.89
7 月	27	348.3	26.4	98.2	133.4	47.5	33.0	36.4	0.81	429	15.9	1.89
8 月	26	337.4	26.1	96.5	111.3	50.3	29.5	49.8	0.84	401	15.4	1.92
9 月	26	352.6	26.2	99.4	130.4	46.4	38.3	38.2	0.84	421	16.2	2.04
10 月	27	351.1	27.3	92.4	134.5	37.3	47.1	39.8	0.86	406	15.0	1.94
11 月	25	321.5	26.3	96.6	132.4	31.5	49.5	11.7	0.84	382	15.3	1.86
12 月	26	357.1	24.2	105.5	125.2	38.0	47.3	41.2	0.85	421	16.2	1.95
1 月	24	320.5	25.3	94.6	106.4	27.4	44.0	48.2	0.88	364	15.2	1.81
2 月	24	312.0	17.3	94.1	109.2	38.1	37.5	33.3	0.83	375	15.6	1.89
3 月	26	361.6	18.1	122.3	121.1	49.1	40.5	28.6	0.80	453	17.4	1.91
延	309	4,107.1	293.3	1182.7	1486.7	551.4	456.6	429.8	10.04	4,915	191	22.92
平均	25.8	342.3	24.4	98.6	123.9	45.9	38.0	35.8	0.84	410	15.9	1.91

3. 利用者個々に合った相談支援と連絡・連携

定期巡回池上長寿園 24 一部業務委託との連携では、専用の携帯端末による入退室管理、介護支援ソフト（スマケア）と専用携帯端末によるサービス提供記録入力を行い、迅速な情報提供・共有を図りました。そして、柔軟かつ利用者の安心につながる訪問スケジュールを可能にする為、多機能型職員をデイ・ヘルプ共通登録利用者への訪問登録を行い、横断的・一体的にサービス提供を行う体制と連携に取り組みました。

4. 【実習生受入】

実習概要

訪問介護事業所の概要や役割等を理解し、利用者の生活環境・援助方法など訪問介護における生活支援を学び、地域から求められる介護者としての役割を理解する。

種別	人数	実習機関
都立職業能力開発センター 校外実習(介護実践科)	1名	1 校

5. 【令和7年度訪問系介護サービス暑さ対策緊急支援事業活用（東京都）】

《事業目的》

記録的な猛暑が続く中、自転車等高齢者宅を移動し、サービスを提供する訪問系介護サービスに従事している職員の暑さ対策を支援し、職場環境の改善を図る補助事業。
上記補助事業を活用し、以下暑さ対策・熱中症対策に資する物品を購入。

《マジクール》 ネッククーラー



《アイストラスト》 特殊低温保冷剤



《熱中症暑さ指数計》



6. 【令和7年10月25日（土）大田区福祉のお仕事紹介セミナー登壇】

福祉の魅力をアピールする目的で、高齢者福祉分野にてサービス提供責任者がパネリストとして登壇。ヘルパーの魅力や事業所の取り組み（暑さ対策等）を発表。

主催：大田区福祉人材育成・交流センター
日時：令和7年10月25日（土）
第1部 9:30～10:30
第2部 11:00～12:00



福祉のお仕事紹介セミナー

聞いてみませんか？福祉の仕事の魅力や実際



Ⅲ 好日苑ケアプランセンター

令和7年度におきましては、【職員体制の変動】という事業所内体制の変化と【マネジメントの質向上への取り組みの可視化】の2点が大きな動きとなりました。

体制面では、専任ケアマネ3名からスタートし、年度途中（10月～）でケアマネ1名の雇用形態変更（常勤⇒非常勤）と他部署からの職員異動により、下半期から専任4名にてパフォーマンスを上げる動きを行いました。数字は、実績目標値を10月から145件（常勤40件、非常勤25件）へ修正。結果、目標値達成には至りませんでした。計画的な数字管理を行い、令和8年度スタート時点では達成可能な状態で迎えることができました。

マネジメントの質向上では、8月にターミナルケアマネジメント加算取得の事業所申請を行い、好日苑ケアプランセンターにおける「終末期支援」に取り掛かり、ヘルパーステーションとの協働事務所となったことで、より連携強化を図った結果、在宅看取り支援を共に行うことができました。そして、医療連携の面では、前年度比較12倍の医療連携加算を取得し、加算体制の土台を築きました。

地域活動では、エリア内の調布と大森地区を選別した特定事業所合同勉強会IN好日苑の3年目開催、地域でも先陣を切ってケアプランデータ連携開始し、地域において主軸を担うよう取り組みました。

1、『第7次中期経営計画を踏まえた令和7年度事業計画の重点施策』

利用者	① 好日苑多機能型居宅介護の深化（一体的なサービス提供によるプラットフォーム強化） ② 医療連携の強化（重層的支援等の課題に対応できる切れ目のないケアプラン作成）
職員	① 特定事業所加算算定事業所（調布・大森エリア内グループリーダー）として、地域ケア会議参画、エリア内事業者連絡会等での講師派遣 ② 特定事業所加算Ⅰ算定（介護支援専門員5名体制） ③ B X事業推進・生産性の向上・ワンストップ連携（事務所合併・事務職員配置・ICT活用（在宅ワーク含む）等）
経営	① 月間ケアプラン請求数160件※専任（介護支援専門員1名40件） ⇒R7.10～請求数145件（職員体制変更に伴う） ② 居宅連携率70%/年 ※デイスサービス・ヘルプサービス ③ 防災意識の向上（STST連携・事業所内訓練（個別避難計画共有含む）実施）

【令和7年度の重点施策に対する評価】

「利用者」

- ①『好日苑多機能型居宅介護の深化(一体的なサービス提供によるプラットフォーム強化)』は、自事業所ターミナルケース3件中2件の自ヘルパーステーション連携実施。
- ②『医療連携の強化(重層的支援等の課題に対応できる切れ目のないケアプラン作成)』は、令和7年8月にターミナルケアマネジメント加算算定事業所として申請以降は、3件の加算取得。年度内の医療連携に係る加算は49件(令和6年度4件)取得。

「職員」

- ①『特定事業所加算算定事業所として、地域ケア会議参画、エリア内事業者連絡会等での講師派遣』は、以下6件実施。
調布地域介護支援専門員連絡会
調布地区・大森地区居宅介護支援事業所事例検討会の開催(各々1回ずつ・好日苑内)
上池台包括個別ケア会議参加(主任介護支援専門員)
馬込包括個別ケア会議参加(主任介護支援専門員、介護支援専門員)
令和7年度第2回地域事業合同会議(管理者、主任介護支援専門員)

- ② 特定事業所加算Ⅰ算定要件(人員体制変動あり)未達成。

令和7年4月専任3名体制スタート、10月専任1名常勤から非常勤変更。9月から他部署より新人ケアマネ異動、年度末に専任4名+兼任1名体制となる。

- ③ 事業所統合により、日常的なケース連携・勉強会の機会が増加。

「経営」

- ① 介護支援専門員1名（専任3名:40件、非常勤25件）／月間CP請求件数 133.1件

- ② 居宅連携率 令和7年度平均 デイサービス: 73.4% ヘルパー: 58.4% ショートステイ: 82.9%

- ③ 法人防災訓練参加・全ケアプランに避難所(個別避難の場合追記)明記

2、適切な相談支援

- (2) 訪問によるトータル的な状況把握

訪問を基本とした状況把握の推進に加え、サービス提供事業所との電話連絡、電子メール等による情報収集により、苦情もなく、利用者・家族のニーズを踏まえた自立を目的とした円滑な支援を行い、ケアプラン作成時には分かりやすい説明と同意を得ることができました。

【運営減算】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- (2) 適切な給付管理と実績管理

令和7年度は人員体制の変動により、実績目標値を10月より160件から145件へ修正。

平均登録140.2件、実数133.1件でした。特に、以下医療連携加算取得整備を行い、給付管理に努めました。

【登録件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
介護給付	108	112	113	109	105	102	96	99	105	116	116	120	108.4
予防給付	32	29	29	30	31	31	30	31	33	34	35	36	31.8
合計	143	141	142	139	136	133	126	130	138	150	151	156	140.2

【給付管理実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
介護給付	106	108	106	101	98	91	94	97	101	107	106	107	101.9
予防給付	29	29	29	30	31	28	30	31	33	33	35	37	31.3
合計	135	137	135	131	129	119	124	128	134	140	141	144	133.1

【医療連携加算回数】

加算	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初回(300単位)	1	6	2	1	2	2	8	6	8	9	5	1	51
入院Ⅰ(250単位)	2	3	3	1	5	0	0	2	0	5	1	4	26
入院Ⅱ(200単位)	3	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	2	8
退院Ⅰイ(450単位)	0	3	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	7
退院Ⅰロ(600単位)	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3

退院Ⅱイ（600単位）	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
退院Ⅱロ（750単位）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院Ⅲ（900単位）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通院時情報連携 （50単位）	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
緊急時等居宅カンファ レンス（200単位）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ターミナルケアマネジ メント（400単位）	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	3

【要介護度】

月	介護度分布															
	介護 1		介護 2		介護 3		介護 4		介護 5		支援1		支援2		平均	介護3.4.5
4月	35	26%	37	27%	19	14%	13	10%	7	5%	18	13%	14	10%	2.46	36.8%
5月	32	23%	40	29%	19	14%	14	10%	7	5%	17	12%	12	9%	2.41	37.0%
6月	32	24%	41	30%	19	14%	14	10%	7	5%	16	12%	13	10%	2.47	37.7%
7月	30	23%	39	30%	20	15%	14	11%	6	5%	17	13%	13	10%	2.51	39.6%
8月	34	26%	35	27%	19	15%	12	9%	5	4%	17	13%	14	11%	2.39	36.7%
9月	33	28%	36	30%	17	14%	12	10%	4	3%	17	14%	14	12%	2.55	36.3%
10月	32	26%	31	25%	17	14%	12	10%	4	3%	16	13%	14	11%	2.27	35.1%
11月	32	25%	36	28%	16	13%	11	9%	4	3%	16	13%	15	12%	2.23	32.0%
12月	35	26%	37	28%	17	13%	11	8%	5	4%	17	13%	16	12%	2.27	32.7%
1月	37	26%	42	30%	17	12%	13	9%	7	5%	17	12%	17	12%	2.44	34.6%
2月	36	26%	44	31%	16	11%	11	8%	8	6%	16	11%	19	13%	2.42	33.0%
3月	37	26%	44	31%	17	12%	11	8%	8	6%	17	12%	19	13%	2.41	33.6%

【新規・廃止】

新規 45 件、廃止 42 件でわずかに新規が上回る形となりました。職員体制の変動により上半期は廃止件数増の動きでしたが、人員が固まった下半期以降は積極的な新規受け入れによる結果です。そのため、事業所内ではスピード性のある動きとなりましたが、マネジメントの質確保へむけて医療含めた関係機関との丁寧な連携（初回・連携加算 100 件）により利用者還元を図りました。

年間廃止データでは、ここ数年の動向同様に有料老人ホーム入所、転居や介護サービス自体の終了といった件数が多くみられています。引き続き、『好日苑多機能型居宅介護』のパフォーマンスも【馴染みの職員の支援をうけた在宅から最終的に選ばれる施設】の構図から、【専門性特化型に機能する】ものへ変化が求められているなかで、KTKK 過去 3 年間のデータを可視化し、よりエビデンスに基づいた支援を提供できるよう次年度も連携を図っていきます。

	要支援 1.2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
ご逝去	0	1	2	1	2	1	7
入所・特	0	0	0	1		1	5
入所・有	0	2	2	3	0	2	9
老 健	0	0	0	1	0	0	1
長期入院	0	0	0	0	0	0	0
							22
その他							

GH	0	0	0	0	0	0	
終了	0	2	1	0	0	0	3
返却	3	0	0	0	0	0	3
他居宅	3	1	4	2	0	1	11
転居	0	1	1	1	0	0	3
							20

(3) 要介護・要支援認定訪問調査の受託

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3. 連絡連携

① サービス担当者会議の開催(主治医や医療機関含む)

ICTを活用した非対面式の面談という新たな選択肢が増えたことで退院、退所時のカンファレンスにおいて、オンライン形式を活用して積極的に参加することができました。

② 円滑な関係機関との連携と情報交換

連絡会等、積極的に参加し地域ニーズの把握とコンプライアンスを心掛け、適正な運営と支援に努めました。

- ① 介護支援専門員連絡会の参加
- ② 雪谷・上池けあまねつとの参加
- ③ 大田区事業所連絡会の参加
- ④ NPO 法人大田区介護支援専門員連絡会活動の参加
- ⑤ 調布・馬込地区介護支援専門員事例検討会開催

③ ケアプランセンター(CPC)伝達・検討会議

特定事業所加算の取得に伴い、週1回 毎週金曜日を原則に、ケース検討及び制度等の情報共有を行い、内部連携を強化しました。

4. 人材育成(質の向上)

【行政や医療機関が主催する地域ケア会議・支援会議・勉強会等への積極的な参加・参画】

個々の専門性向上へむけた研修の参加により質の向上を図り、例年にわたる調布地域介護支援専門員連絡会を7年度も立候補し大田区と共に地域の介護支援専門員の底上げに参画致しました。

【実習生受入】

東京都福祉保健財団主催の令和7年度東京都介護支援専門員実務研修第27回2期、第28回1期ともに受け入れ依頼はありませんでした。年間2回の実習機会があり、東京都福祉保健財団の地域内選定を経て受け入れとなります。令和8年度4月には第28回第2期受け入れ案内が届く時期です。主任看護支援専門員3名体制の中で、次世代の介護支援専門員育成を担う役割を受け入れてまいります。

【研修内容】

この数年間に感染症防止の観点から研修様式が変化してきた結果、オンライン、オンデマンド等々の集合型によらない形がふえ、効率的に参加できる状況となっています。選択可能な研修もあり、多様な形式に対応できるICT環境を整えることで参加機会は増加し、ケアマネジメントの質の向上へ繋がる事ができました。

地区を選別した近隣の居宅支援事業所と共同した事例検討会・研修は3年目となり特定事業所加算取得事業所を意識して中心的な役割を担い地域貢献を致しました。今後も主軸となる事業所を目指してまいります。



共同事例検討会



居宅・ヘルプミニ勉強会

5. その他

【令和7年度訪問系介護サービス暑さ対策緊急支援事業活用（東京都）】

《事業目的》

記録的な猛暑が続く中、自転車等高齢者宅を移動し、サービスを提供する訪問系介護サービスに従事している職員の暑さ対策を支援し、職場環境の改善を図る補助事業。

上記補助事業を活用し、以下暑さ対策・熱中症対策に資する物品を購入。



《 マジクール 》
ネッククーラー



《 アイストラスト 》
特殊低温保冷剤



《 熱中症暑さ指数計 》

IV 【 在宅部門会議・研修 】

(全体)

会 議	内 容
好日苑多機能型居宅介護会議 (KTKK)	好日苑多機能型居宅介護 (KTKK) の実現に向けた利用者情報や、サービス提供上の調整・留意事項の伝達等を通じて、目標達成することを目的として開催。 (隔週・週1日)

(デイサービス)

会 議	内 容
デイサービス会議	法人伝達事項・事業所課題把握と対抗検討・改善を行い、サービス向上を目的とする。 (月1回開催)
ケース会議 (月1回)	通所介護計画書・第1号通所事業通所介護計画の作成。利用者の状況と問題点の抽出・対応策の検討と職員対応の標準化を図る。
食事会議・ イベント食会議	利用者の食事形態・摂取量・嗜好を把握し、安全な食事提供を目的とする。

(ヘルパーステーション)

会 議	内 容
ヘルパー会議	利用者の状態確認、ケアカンファレンス、諸連絡の場とし、全職員の職務に対する意識向上と相互連携のための情報共有を行い、訪問介護事業が円滑に運営されることを目的とする。(月 1 回開催・第 3 木曜日)
サービス提供責任者 (STS) 会議	法人伝達事項・事業所課題把握と対応検討・改善、内外部研修などで得た情報・知識を共有、ヘルパー会議(研修)の内容調整、各利用者の近況状態報告を行い、サービス向上を目的とする。(月 1 回開催・第 4 木曜日)

(ケアプランセンター)

会 議	内 容
CPC 会議	利用者に関する情報又はサービス提供に当たっての留意事項に係る伝達等を目的とした会議を週 1 日開催する。
居宅会議	居宅マニュアルの改正、制度勉強会、事例検討、基礎知識の確認等、情報及び知識の共有を図った。
	4 月 前月実績報告、所内研修 (【認知所ケア】)
	5 月 前月実績報告、所内研修 (【法令遵守の重要性と職業倫理・個人情報保護の理解を深める、虐待】)
	6 月 前月実績報告、所内研修 (【緊急時対応研修】)
	7 月 前月実績報告、所内研修 (【保健医療福祉の基礎知識】)
	8 月 前月実績報告、所内研修 (【食中毒・熱中症研修】)
	9 月 前月実績報告、所内研修 (【支援記録・ケアプラン作成、認知症 2 回目】)
	10 月 前月実績報告、所内研修 (【感染症・困難ケースの相談支援】)
	11 月 前月実績報告、所内研修 (【支援記録・ケアプラン作成】)
	12 月 前月実績報告、所内研修 (【東京都福祉保健財団 高齢者権利擁護推進事業・虐待 2 回目】)
	1 月 前月実績報告、所内研修 (【リスクマネジメント】)
	2 月 前月実績報告、所内研修 (【医療ニーズに対する相談支援】)
	3 月 前月実績報告、所内研修 (令和 8 年度年度事業計画・居宅マニュアル確認)

【 研修報告 】

(デイサービス)

職員のスキルアップの機会を設ける意味で毎月 1 回の内部研修日を設定

	研修項目
4 月	法令遵守（個人情報保護法）・職業倫理研修 (※法人の「倫理綱領・理念と目的」「日本介護福祉士会・社会福祉士会倫理綱領の行動規範」「個人情報保護法」確認)
5 月	リスクマネジメント研修（事例検証⇒報・連・相について（管理職不在時））
6 月	居宅・HH 共同勉強会（避難所運営ゲーム「HUG（ハグ）」⇒大田区との福祉避難所契約締結を受け、実際に避難所開設した場合を想定した受入シミュレーション実施。） 熱中症・食中毒防止研修（※嘔吐時の動きと役割確認・熱中症・食中毒・ノロウィルス基礎知識確認）
7 月	チームマネジメント研修（介護に必要なチームマネジメントについて）
8 月	アクティビティ研修（好日苑デイサービスのレクリエーションの特長検討）
9 月	緊急時対応研修（過去の事故事例のディスカッション・緊急時マニュアル見直し）
10 月	介護技術研修（持ち上げない介護⇒ボディメカニクス・ノーリフティングケアについて）
11 月	感染症研修（※感染対策リーダーによる「平時から実践する感染対策の基本（感染症対策と清潔・不潔、標準予防策とは目的と重要性・手指衛生のタイミング）」「手指衛生」「PPE（個人防護具）着脱の実技訓練」について講義・実演。）
12 月	身体拘束・虐待防止研修（身体拘束の基礎知識確認・虐待の芽チェックシート実施と共に不適切ケアの共有）
1 月	リスクマネジメント研修（送迎・車輛編⇒事故事例をもとに運転手・添乗の連携再確認。また、リフト・シートベルト・ワイヤーロック方法の手技再確認⇒送迎マニュアル見直し）
2 月	認知症ケア研修（高齢協働画視聴（支援方法と周辺症状に対する自分自身の関わり方等）
3 月	令和 8 年度事業計画説明

(ヘルパーステーション)

月	研修項目	内 容
4・5 月	法令遵守と職業倫理 (※ヘルパーマニュアル確認) 権利擁護・プライバシー保護と接遇	各団体倫理綱領に基づき学び、ホームヘルパーとしてのマナーを習得する 権利擁護・身体拘束に対する基本知識の習得とサービス提供におけるプライバシーを学ぶとともに、接遇マナーを確認。
6 月	居宅・HH 共同勉強会（避難所運営ゲーム「HUG（ハグ）」	大田区との福祉避難所契約締結を受け、実際に避難所開設した場合を想定した受入シミュレーション実施。

7・8 月	食中毒・熱中症研修 事業継続計画（BCP）説明	基礎知識とヘルパーが知っておきたい医療知識の習得を行い、熱中症、食中毒についての理解・対応を踏まえ、訪問時の利用者状態の気付きを共有。 事業継続計画（BCP）の読み合わせと各々の役割を理解する。
9・10 月	緊急時対応と介護技術	10月に行われた防災訓練（福祉避難所開設訓練含む）時の動画視聴。 訪問先での過度な依頼に対する対応・対処方法。 持ち上げない介護（ノーリフティングケア・特養 PT を講師に招く）講義
11 月	介護技術	ノーリフティングケアの取り組み事例と福祉用具実体験。
12 月	感染症研修	感染対策リーダーによる「平時から実践する感染対策の基本（感染症対策と清潔・不潔、標準予防策とは目的と重要性・手指衛生のタイミング）」「手指衛生」「PPE（個人防護具）着脱の実技訓練」について講義・実演。

（ケアプランセンター）

研 修	形式・場所	目 的
令和 7 年度大田区介護保険事業者 連絡会（第 1・2 回）	大田区 e ランニング	大田区介護保険事業者連絡会は、区からの事務連絡や情報提供
2025 年度第 1 回 大田区介護支援専門員全体研修	大田区 （オンライン形式）	ちょっとおかしい MCI～ケアマネジャーの皆さんに伝えたいこと～
2025 年度第 2 回 大田区介護支援専門員全体研修	大田区 （オンライン形式）	「どこまで出来る？何が出来る？～成年後見制度の実際～」
2025 年度第 3 回 大田区介護支援専門員全体研修	大田区 （オンライン形式）	精神疾患の対応について ～家族対応に困っていませんか？～
2025 年度第 4 回 大田区介護支援専門員全体研修	大田区 （オンライン形式）	あなたのケアプラン作ります ～ペアを組んでアセスメント・ケアプランを作ってみよう～
令和 7 年度第 1 回大田区調布地域 福祉課 介護支援専門員連絡会	調布地域介護支援専門員連絡会・嶺町集会所	「もしも」を「できる」に変える！ BCP×HUG 避難所運営シミュレーション ～地震・大雨災害、いつか起こる…に備えて防災意識を高める～
令和 7 年度第 2 回大田区調布地域 福祉課 介護支援専門員連絡会	調布地域介護支援専門員連絡会 嶺町集会所	「弁護士に聞くカスハラ対策」
NPO 法人大田区介護支援専門員連絡会第 1 回研修	NPO 大田区介護支援専門員連絡会 大田区立障がい者総合サポートセンター5階多目的室	「タウンミーティング」 こんなに違う！？障害と介護のプラン～相談支援専門員の仕事を知る～

NPO 法人大田区介護支援専門員連絡会 第2回 合同懇談会	NPO 大田区介護支援専門員連絡会 牧田総合病院 A 棟 1 階くすのきホール	合同懇談会 懇談および情報交換
令和7年度介護サービス事業管理者等高齢者権利擁護研修	東京都福祉局高齢者施策推進部	権利擁護、虐待防止研修
雪谷けあまねっと（第1・2回）	地域包括支援センター上池台、雪谷特別出張所	地域包括支援センター主催 地域ケアマネの懇談
令和7年度第17回大田区介護サービス事業者研修	大田区 オンライン	ヤングケアラー・ダブルケアラーへの支援
令和7年度第20回大田区介護サービス事業者研修	大田区 オンライン	介護現場に多い指定難病の理解 ～病気の理解と介護の注意点～
令和7年度居宅介護支援事業所管理者向けマネジメント支援研修	東京都福祉局高齢者施策推進部	管理者向け研修
令和7年度地域連携を支える人材育成研修	荏原病院	地域と医療機関で考える「ACP ってなんだろう」
個別レベル地域ケア会議	地域包括支援センター馬込大森庁舎	困難事例
個別レベル地域ケア会議	地域包括支援センター上池台、好日苑	総合事業評価について
「特定事業所加算取得事業者」間研修	共同開催 好日苑相談室	調布地区居宅事業所、馬込地区居宅事業所、それぞれの事例検討会
合同研修型居宅研修	好日苑居宅、好日苑ヘルプ	避難所運営ゲーム hug（ハグ）
6 包括合同研修 後輩育成～OJTを学ぶ	地域包括支援センター南馬込にて	人材育成
第4回雪谷地域連携懇談会（日常生活圏域地域ケア会議）	地域包括支援センター上池台 雪谷特別出張所 3 回集会室	高齢者の消費者被害について 「地域の医療相談窓口について」
令和7年度第2回地域事業合同会議	調布地区居宅事業所 嶺町集会所	「もし、事務所でケアマネが3人同時に感染したら？」 ～その時、あなたの事業所は動けますか？現場目線の感染症対策会議～
自転車の新しい制度	嶺町集会所	田園調布警察署員による講習会
令和7年度 東京都主任介護支援専門員更新研修	東京都介護支援専門員研究協議会	法定研修

包括部門

令和7年度は、利用者・家族からの相談が主たるものではありませんが、警察等の行政機関、医療機関からの相談も増え、日常的に複合課題が表出するなか、「重層的支援会議」「支援会議」「地域ケア会議」等を行い、多機関・多職種連携を図り、個別支援を行いました。

利用者・地域の支援体制強化として、多機関連携活動を積極的に行いました。自治会・町会、民生委員児童委員協議会との連携、社会福祉法人協議会「おおた福祉ネット」との協働、小学校などへ啓発活動、障害者施設等との連携など、様々な活動を行うことで「支援と共生の地域づくり」「大田区版地域共生社会」の実現に努めました。

また、「地域包括支援センター嶺町・シニアステーション東嶺町」は受託10年目となり、「大田区地域包括支援センター及びシニアステーション業務委託事業者評価選定」を受けました。結果、評価結果A 評定良の評価を得ました。引続き、地域の方々に信頼される地域包括支援センター及びシニアステーションとなるよう、事業運営に努めてまいります。

I 大田区地域包括支援センター上池台／嶺町／六郷／西六郷／馬込／南馬込

1. 総合相談支援業務

相談件数は、昨年度と比べ大きな変化はありませんでしたが、各センターで、新規相談件数増となりました。包括の周知が進んでいると考えます。介護保険制度、福祉サービスの利用についての相談が主となりますが、家族問題・虐待・金銭問題・近隣トラブルなど、相談内容・課題は多岐に渡り対応しました。また、世帯として複雑・複合課題を抱えるケースについては、重層的支援会議等に提案・参加し、重層的支援会議に該当しないケースは、ケース会議として行政・関係機関等とミーティングを重ね、共に課題解決に取り組みました。

複合課題を意識し、令和7年度も、若者から高齢者まで対象とし相談内容を絞らない相談会「まちかど相談室」を、多分野の機関の協力を得て開催しました。

【相談件数】

	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
相談件数 総数	12,360	6,689	15,411	8,622	7,959	9,623
総数のうち新規	679	264	862	372	292	445
総数のうち来所	1,754	1,614	3,754	1,455	1,128	1,337
総数のうち電話	7,799	4,014	9,269	5,933	5,395	6,721
総数のうち訪問	1,543	803	1,709	995	760	769
総数のうちその他	1,264	258	679	239	676	769
介護保険申請件数	628	357	682	287	397	319

【重層的支援会議等参加回数】

	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
重層的支援会議	2	0	0	0	2	4
支援会議	4	3	2	1	0	1

【まちかど相談室（多世代多分野対象相談会）開催】

R7.10.30	まちかど相談室 in 六郷（六郷・西六郷協働）	相談者 3 名
R7.11.21	まちかど相談室 in 嶺町（嶺町・上池台・田園調布協働）	相談者 15 名
R8.3.3	まちかど相談室 in 馬込（馬込・南馬込協働）	相談者 10 名

【上池台・嶺町】



【六郷・西六郷】



【馬込・南馬込】



【参考：センター管内高齢者人口等】

令和 8 年 1 月 1 日現在	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
エリア内高齢者人口	12,969	5,757	11,809	5,011	5,513	6,095
エリア内総人口	62,337	26,449	68,422		58,182	
エリア内高齢化率	20.8%	21.7%	24.6%		19.3%	

2. 権利擁護、虐待の早期発見・防止

各センターとも、昨年度より虐待に関する相談件数増となりました。特に「六郷」「西六郷」が増え、地域や関係者の意識・関心が高まっている影響と考えます。地域福祉課・担当の介護支援専門員やサービス事業所等と協力し対応を行いました。権利擁護に関わる相談については、身寄りがない・親族の協力が得られない高齢者の対応が増えている現状があります。権利擁護事業・法律相談を活用し、成年後見センター、消費者センター、司法書士会・弁護士会、行政、介護保険事業所等と協力し対応しました。消費者被害対策としては、自動通話録音機の普及を積極的に行いました。

虐待、消費者被害、権利擁護に関する相談は、知識・スキルとも高い相談援助技術が求められますが、職員のスキルアップを行い、利用者の安心した暮らしが確保できるよう支援を行いました。

【権利擁護等に関する相談件数】

	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
虐待に関する相談	111	115	279	340	106	128
消費者被害に関する相談	31	29	55	30	12	10
権利擁護に関する相談	542	156	670	343	182	288

3. 認知症高齢者支援

認知症高齢者の支援は、本人とその家族等を対象として、情報提供、医療やサービスにつなげる相談支援を行いました。認知症の方の一人暮らし、老々介護などについては、訪問を重ね、関係機関と協力し、丁寧な支援に努めました。「認知症カフェ」を定期開催し、認知症の方やその家族、地域住民、専門職が気軽に集まり、交流や情報交換を行う「安心して過ごせる居場所」づくりを行いました。

また、認知症の正しい理解を地域に広める活動として「認知症サポーター養成講座」を実施。次に、ステップアップ講座を開催し、地域で認知症の方とその家族を支える体制構築となる「チームオレンジ」を発足、地域住民・サービス提供事業者・金融機関の「チームオレンジ登録」を達成することができました。

【認知症に関する相談/認知症サポーター養成講座等の開催数】

	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
認知症に関する相談件数	769	671	1,302	828	422	321
認知症初期集中支援チーム員事業 相談件数	2	0	0	1	0	0
認知症サポーター養成講座開催数/延べ参加者数	2回/33名	2回/25名	3回/55名	3回/154名	2回/22名	2回/33名
認知症サポーターステップアップ研修/延べ参加者数	4回/67名		3回/56名		2回/50名	

【認知症カフェ開催状況】

	上池台 オレンジカフェ 上池台和の輪	嶺町 オレンジカフェ嶺町 スタイル	六郷 笑顔の会	西六郷 ぷらっとカフェ	馬込 オレンジカフェ馬込	南馬込 オレンジ café みんなの広場
開催数	12回	12回	12回	11回	12回	11回
延べ参加者数	160名	71名	152名	157名	91名	55名

〔上池台：オレンジカフェ上池台和の輪〕 〔嶺町：オレンジカフェ嶺町スタイル〕



〔六郷：笑顔の会〕



〔西六郷：ぷらっとカフェ〕



〔馬込：レゾナンス馬込〕



〔南馬込：南馬込みんなの広場〕



〔認知症サポーター養成講座〕



〔ステップアップ講座〕



4. 介護予防支援事業

介護予防給付・介護予防ケアマネジメントにおいては、「六郷」「西六郷」が年間通してプラン増となりました。居宅介護支援事業所と要支援者との直接契約は依然少ない状況です。各センターとも、地域の居宅介護支援事業所との連携を図り、委託割合 95%～100%と高くなりました。

令和7年度は「第3期おおた介護予防応援事業」が行われ、優秀チーム5つの内、地域包括支援センター上池台・嶺町・西六郷の3センターが選ばれました。大田区にて表彰式が行われ、響会職員表彰も授与されました。

【介護予防給付・介護予防ケアマネジメント数】

	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
年間給付総数	3,276	1,744	4,229	1,956	1,652	2,337
総数のうち包括作成	47	79	19	9	67	32
総数のうち委託作成	3,679	1,665	4,210	1,947	1,585	2,305
年間委託割合	99%	95%	100%	100%	96%	99%
総数のうち新規	127	67	169	79	48	60
総数のうち廃止	113	65	155	35	65	47
総合事業サービス終了者数	0	1	7	0	1	0

〔おおた介護予防応援事業 表彰式〕



5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援

介護支援専門員からの相談内容は、困難ケース、虐待対応ケースの支援が主になっています。ケース会議を設けるなどし、介護支援専門員と関係機関との連携を図りました。

地域の介護支援専門員への支援として、情報提供・勉強会・地域等との連携の機会を設ける場として連絡会を行いました。居宅介護支援事業所同志の集まり等にも参加し、講義を務める、情報提供を行う等の活動も行いました。また、民生委員児童委員と介護支援専門員との懇談会を開催し、包括的・継続的ケアマネジメントの体制構築に努めました。

【介護支援専門員支援件数】

上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
727	962	726	302	989	317

【介護支援専門員との連絡会】

	上池台 雪谷・ 上池けあまねっと	嶺町 ケアマネグリーンカ フェ参加	六郷・西六郷 六郷地区介護支援専 門員連絡会	馬込・南馬込 ケアマネカフェまごめ
開催数	2	10 回	4 回	4 回
延べ参加者数	56 名	75 名	166 名	73 名

〔雪谷・上池けあまねっと〕



〔六郷地区介護支援専門員連絡会〕



〔ケアマネカフェまごめ〕



6. 高齢者見守りネットワークの充実

高齢者見守り事業の要となる「見守りキーホルダー」出張登録会を行う等、登録・更新を進めてまいりました。照会件数が昨年度より増えていることから、普及が進み活用され成果があらわれていると考えます。

また、地域の高齢者の見守りとして、実態把握事業を行いました。各センターとも電話や訪問にて実施、地域包括支援センターや高齢福祉サービスの周知、アンケートを行い地域課題の把握に努めました。

地域活動は、地域の関係機関と連携し、フレイル予防、自主グループ支援、介護家族支援など、様々な事業に取り組みました。自治会・町会、民生委員児童委員協議会、地域団体、出張所、医療機関等、多くの関係機関と連携し事業を行うことで、高齢者見守りネットワークの構築を進めることができました。

【見守りキーホルダー事業】

	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
見守りキーホルダー新規登録	462	148	461	199	105	120
見守りキーホルダー更新登録	547	187	824	399	190	233
見守りキーホルダー照会件数	27	11	45	31	15	7
出張登録会	6回	1回	4回	4回	8回	5回

【高齢者実態把握事業】

上池台	「生きいきレポート」	
	対象者 121名	ひとり暮らし高齢者対象者名簿841名のうち、①エアコン使用無し②本人電話番号無し③緊急連絡先なし④緊急連絡先が遠縁もしくは友人
	把握実績 108名	対象者の抽出条件について、今回は支援や見守りKH登録に繋がるケースが多かった。次年度以降も、抽出条件について十分検討していく。
	「未把握高齢者世帯等調査」	
	対象者 6名	調査の基準日である令和7年10月1日現在、要支援・要介護認定を受けていない等、区の事業を利用していない一人暮らしの高齢者及び高齢者のみ世帯の方の中から800名の方を無作為に選び、ご回答をお願いしている。その内未回答だった6名に訪問勧奨を行った。
嶺町	実施対象者 4名	6名中4名の訪問勧奨が出来た。他の2名は不在だったので勧奨できていないが、自宅の様子から問題も無いと考える。
	「笑顔で訪問2025」	
	対象者 37名	一人暮らし高齢者対象名簿の東嶺町・南雪谷を対象地域とし、介護保険サービス利用中または介護保険申請中の方、令和6年度以降訪問を実施している方、以前否定的な反応があった方。
	訪問実績 17名	事前に案内状を郵送し後日電話アンケートを実施。了承が得られた方には後日訪問を実施した。電話アンケート実施者は30名、訪問実施者は17名。実態把握の過程で支援が必要な場合には適切な制度等につなげた。見守りキーホルダー登録者については、内容を確認し更新を実施。その他、自動通話録音機の案内している。

	「嶺町地区避難行動要援護者名簿登録者訪問」	
	対象者 8名	避難行動要援護者名簿登録者のうち、介護保険サービス利用中で状況が把握できる方を除く高齢者を対象として実態把握をした。
	訪問実績 1名	事前に案内状を郵送し後日電話にて聞き取りを実施。電話連絡が取れない方については、訪問を実施した。対象者8名の内、1名は来所、2名が電話聞き取り、1名が訪問聞き取りできた。見守りキーホルダー更新者2名、新規登録1名、老いじたく推進事業案内1名となった。
	「未把握高齢者世帯等調査」	
	対象者 6名	要介護・要支援認定を受けていない等、区の事業を利用していない一人暮らし及び高齢者のみ世帯の75歳以上で区が行った調査未回答の方
	訪問実績 1名	対象者6名の内、2名は調査回答があり除外となった。包括で訪問を行った方は4名となる。4名の内1名の方は調査回答あり。2名の方は調査・訪問を拒否。1名の方は不在にて会うことが出来なかった。
六郷	「高齢者熱中症予防事業」	
	対象者 区民	5月～9月訪問時に熱中症注意喚起とOS1配布。
	把握実績 520名	窓口では215名の方にチラシを用いて熱中症を注意喚起した。たんぼぼの会（自主グループ）12名、東六郷いこいの家33名、笑顔の会15名を対象に熱中症予防セミナー開催した。
	「未把握高齢者世帯等調査」	
	対象者 10名	大田区から令和7年度未把握高齢者世帯等調査の訪問調査の依頼あり。
	把握実績 6名	対象者10名のうち、6名の訪問調査を行った。
西六郷	「未把握高齢者世帯等調査」	
	対象者 9名	区から受け取った訪問調査対象者リストは10名だったが、訪問調査期間中に区にアンケート返送があったと報告あり。該当者は9名だった。
	把握実績 8名	3回訪問しても会えなかった方1名。それ以外の7名には2回目の訪問まででお会いしアンケートに協力してもらうことができた。
馬込	「令和7年度未把握ひとり暮らし高齢者等調査」	
	対象者 5名	75歳以上の後期高齢者あるいは高齢世帯のみ世帯で、行政サービスの利用がない方を全区民の中から無作為抽出した800人にアンケート配付
	把握実績 2名	包括馬込管轄でアンケート回答のなかった方5名に訪問調査依頼があった。うち3名は訪問が不要と区から回答があり、残る2名の方へ訪問を行ったところ、1名は表札なしで自宅の特定不可。残る1名の訪問を3回行ったが接触はできなかった。
南馬込	「令和7年度未把握ひとり暮らし高齢者等調査」	
	対象者 8名	訪問調査対象者は、要介護要支援認定、生活保護受給、見守りKH登録、ひとり暮らし登録、いきいき高齢者入浴証、認知機能検診、長寿健診を受けていない一人暮らし及び高齢者のみ世帯の方（75歳以上）へ区が調査票を郵送し期限までに回答が得られなかった方（訪問不要者を除く）。自宅を訪問し区の調査票を用いて実態把握をした。
	把握実績 1名	3回訪問しても不在、表札なし、他苗字の表札ありなど本人に直接会えたのは1件だった。次年度は調査対象を変更して実施していく。

【地域講座等（区民／事業者向け）】

	開催日	内容	参加人数
上池台	10 回/年	骨盤フレイル予防体操	計 51
	6/16	第 1 回「シニアオープンカレッジ」熱中症予防講座	15
	9/22	第 2 回「シニアオープンカレッジ」認知症講座	31
	11/27	第 3 回「シニアオープンカレッジ」いきいき美容室教室	22
	2/17	第 4 回「シニアオープンカレッジ」終活セミナー	31
	5/19	シニアレッスン「高齢者向け住宅の基礎」	11
	8/18	シニアレッスン「夏に必要な防災対策」「熱中症予防」	7
	11/17	シニアレッスン「配食サービスの利用」「フレイル予防」	23
	3/16	シニアレッスン「自筆証書遺言書保管制度」	15
	10/6	大田桜台高校講座『高齢者について学ぼう』	150
	3/9	自主民生委員児童委員懇談会での講座『地域包括支援センター』	32
	6/26	雪谷地区地域力推進会議での講座『地域包括支援センターとは』	60
嶺町	12 回/年	介護予防教室みのり会	計 114 名
	12 回/年	女性のための骨盤体操	計 155 名
	4/1	新さわやか健康クラブ「特殊詐欺について」	9 名
	6/20	嶺福寿会「今から始める熱中症対策！」	12 名
	6/26	新さわやか健康クラブ「今から始める熱中症対策！」	12 名
	7/7	みたけクラブ「今から始める熱中症対策！」	10 名
	7/10	シルバーサロン「今から始める熱中症対策！」	9 名
	7/12	田園調布南ゆうもあクラブ「今から始める熱中症対策！」	9 名
	7/24	シルバーサロン「見守りキーホルダーについて」	13 名
	12/5	地域講座「詐欺対策」	16 名
	3/14	Thomas Jefferson 大学見学研修	11 名
六郷 西六郷 協働	6/14	六郷学び舎「自転車に乗る人も乗らない人も知っておきたい交通ルール」	17 名
	12/13	六郷学び舎「STOP！特殊詐欺」	14 名
	9/2	図書館イベント 映画鑑賞＋座談会＋包括周知	19 名
	2/25	図書館イベント 映画鑑賞＋包括周知	17 名
西六郷	5/16	西六元気で GO! フレイル予防ミニ講話、尿漏れ予防体操、チェアーヨガ	15 名
	7/18	西六元気で GO! フレイル予防ミニ講話、尿漏れ予防体操、口腔・フレイル予防体操	17 名
	9/19	西六元気で GO! フレイル予防ミニ講話、尿漏れ予防案内、フレイル予防体操	14 名
	11/21	西六元気で GO! フレイル予防ミニ講話、フレイル予防体操・尿もれ予防体操	12 名
	1/16	西六元気で GO! フレイル予防口腔体操、フレイル予防体操	12 名
	2/12	西六元気で GO! スペシャルバージョン フレイル予防体操、輪投げ、モルック	14 名
	3/13	西六元気で GO! フレイル予防口腔体操、フレイル予防体操	14 名

馬込 南馬込 協働	11/21	福祉イベント「大森地区見守り連携の会・福祉用具体験会など」	25 名
	3/3	馬込学び舎「栄養ミニ講座＋健康測定会」	14 名
	3/3	まちかど相談室	10 名
馬込	10/28	シニアステーション馬込「自筆証書遺言書保管制度」	35 名
	11/11	シニアステーション馬込「相続登記の申請書義務化」	25 名
	5/28	チームまごの手活動「体力測定会」	4 名
	6/6	チームまごの手活動「お役ちガイド製本・資料セット」	6 名
	11/12	チームまごの手活動「体力測定会」	4 名
南馬込	12 回/年	まごめ青春 café『リターンズ』～前期高齢者の社会参加活動の意見交換～	計 30 名
	4/9, 4/23	南馬込健康塾「フレイル予防体操」	28 名
	5/14, 5/28	南馬込健康塾「フレイル予防体操」「体力測定会」	35 名
	6/11, 6/25	南馬込健康塾「熱中症予防講座」「フレイル予防体操・棒体操」	30 名
	7/9, 7/23	南馬込健康塾「熱中症予防啓発・盆踊り」「歩行測定会」	23 名
	8/13, 8/27	南馬込健康塾「フレイル予防体操・回想法」「歩行測定会」	30 名
	9/10, 9/24	南馬込健康塾「熱中症対策講座」「フレイル予防体操・棒体操」	28 名
	10/8, 10/22	南馬込健康塾「骨盤底筋体操」「ボール体操」	33 名
	11/12, 11/26	南馬込健康塾「体力測定会」「フットケア講座」	28 名
	12/10, 12/24	南馬込健康塾「棒体操」「福祉用具体験会」	27 名
	1/14, 1/28	南馬込健康塾「フレイル予防体操・感染症講座」	34 名
	2/25	南馬込健康塾「フレイル予防体操」	11 名
	3/11, 3/25	南馬込健康塾「骨盤底筋講座」「回想法」	34 名

上池台

〔シニアオープンカレッジ〕



〔シニアレッスン〕



〔骨盤フレイル予防体操〕

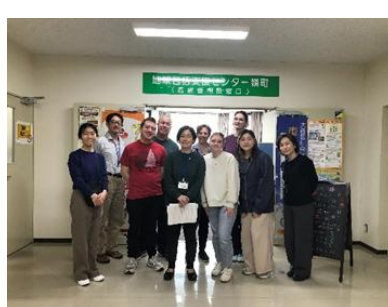


嶺町

〔介護予防教室みのり会〕



〔Thomas Jefferson 大学見学研修〕



六郷・西六郷

〔六郷学び舎〕



〔西六元気でGO!〕



馬込・南馬込

〔馬込学び舎〕



〔南馬込健康塾〕



7. 地域包括ケアシステムの深化・推進

地域活動の参加、行政の会議など多くの場面を通して、地域の状況・課題把握を行い、その課題解決への取り組みとして、日常生活圏域レベル地域ケア会議を行いました。テーマは、「消費者被害を防ぎ、安心して住み続けられる見守り」「支援や見守り機必要だが、かかわりを拒否されるケース」「ヤングケアラー」「六郷地域の高齢者の孤立を解消するために、私たちができること」「一人暮らし高齢者の見守り・居場所づくり」等を取り上げ、地域住民、関係機関と共に地域にある様々な課題解決に取り組んでまいりました。地域包括ケアシステムの深化・推進を図るための情報提供・意見交換を行いました。また、個別レベル地域ケア会議として、多職種が連携して高齢者の支援を検討する場を設け、高齢者の自立支援に努めました。

【地域ケア会議開催回数】

	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
個別レベル会議	4	2	8	3	9	6

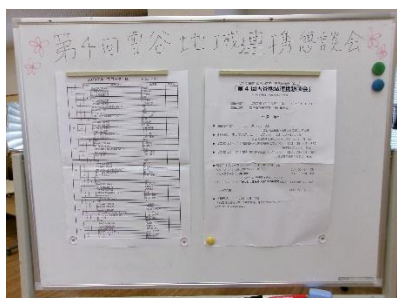
【日常生活圏域レベル地域ケア会議開催】

	開催日	内容	参加者数
上池台	R7. 9. 10	「消費者被害を防ぎ、安心して住み続けられる見守りとは」	36 名 (福祉・介護・医療)
	R7. 10. 9	「消費者被害を防ぎ、安心して住み続けられる見守りとは」	50 名 (福祉・介護・医療)
嶺町	R7. 7. 15	「支援や見守り機必要だが、かかわりを拒否されるケース」	26 名 (民生委員児童委員・福祉関係)
	R8. 2. 26	「ヤングケアラーについて」	41 名 (福祉・介護・医療・地域)
六郷	R8. 2. 7	「六郷地域の高齢者の孤立を解消するために、私たちができること」	12 名 南六郷 1 丁目・2 丁目・2 丁目団地 (民生委員児童委員・社協)
	R8. 2. 12		13 名 仲六郷 1～4 丁目 (民生委員児童委員・社協)
	R8. 2. 14		7 名 南六郷 3 丁目 (民生委員児童委員)
	R8. 2. 17		14 名 東六郷 1～3 丁目・宮本町会 (民生委員児童委員・社協)
西六郷	R8. 2. 4		14 名 (民生委員児童委員・社協)
馬込・南馬込	R7. 11. 21	一人暮らし高齢者等の“地域の見守り”を考える～それぞれの役割・活動を再認識し、意見を出し合うことで馬込地区の「地域福祉ネットワーク」の強化につなげたい ～	23 名 (民生委員児童委員・介護支援専門員・大森地域福祉課・特別出張所)
	R8. 3. 19	～医療・介護・地域ネットワークの連携 etc～『まごめ地域連携の会』 「一人暮らし男性定年後の“居場所”について」	20 名 (介護支援専門員・医療機関・薬局)

【各種会議状況】

	会議名
行政 包括共通	大田区地域包括支援センター連絡会（内部検討会）
	地域福祉課管内地域包括支援センター連絡会（調布・蒲田・大森地区）
	地域福祉課管内見守りささえあいコーディネーター連絡会（調布・蒲田・大森地区）
	地域福祉課訪問指導事業従事者（看護職等）連絡会（調布・蒲田・大森地区）
	介護支援専門員連絡会運営委員会（調布・蒲田・大森地区）
地域	地域力推進会議
	民生委員児童委員協議会

【日常生活圏域レベル会議】〔上池台〕



〔嶺町〕



〔馬込・南馬込〕



【地域活動】

	参加団体	支援内容
上池台	雪谷地区シニア会連合会	活動支援・会議参加・講座実施等
	上池台くるるの会	
	シニアオープンカレッジ	
	シニアレッスン	
	ほっとスマホホステーション（雪谷ほっと会）	
	地域リハビリテーション講座	
	小池小学校福祉体験授業	
	雪谷小学校福祉体験授業	
	おおた福祉ネット（法人協会）	
	洗足区民センター さくらフェスティバル／健康相談会	

	介護家族会連絡会	地域の介護家族会の支援
	フレンズカフェ	
	あした会	
	洗足区民センター運営協議会	運営会議支援
	荏原病院認知症疾患医療センター連携協議会/ 荏原病院認知症教室	関係各所との連携会議/活動支援
	大森十中避難所運営協議会	
	雪谷けあまねっと	関係各所との連携会議
	三者会	
	雪谷プラットフォーム	
嶺町	東邦大学 HOHO いえラボ ココシリワーカーの会	関係機関・団体との連携・支援・協力
	嶺町地区学校防災活動拠点会議・訓練	
	嶺町特別出張所自衛消防訓練	
	嶺町文化センターまつり 健康相談会&守りキーホルダー登録会	
	みねまちポールウォーク会	
	嶺町地区合同パトロール	
	嶺町地区5町会クイズラリー	
	嶺町小学校キラキラスクール	
	チームオレンジひとしずく	
	調布地区法人協 幸せのおすそわけ会	
	特定加算算定居宅支援事業所勉強会	
	地域事業所合同研修	
	宮原茶房	地域の家族会の支援
六郷 西六郷 協働	ご縁ネット（南六郷2丁目町会）	活動支援・参加・講座実施等
	いきいき体操(六郷地区町会婦人部合同)	
	仲六郷2丁目シルバーサロン	
	南六郷二丁目イベント	
	南六郷2丁目UR団地介護予防教室	
	演芸大会（シニアクラブ）	
	六郷小学校福祉体験授業・夏休みワクワク教室	
	高畑小福祉体験授業	
	高畑児童館高齢者体験会	
	西六郷小学校高齢者体験会	
	みんなの居場所プロジェクト	
	おおた福祉ネット（法人協会）	
	東六郷いこいの家（熱中症予防啓発活動、KH登録会）	
	梅ちゃんカフェ・梅ちゃん談話室	
	東六郷1丁目シニアクラブ	
	パークハイツ多摩川	
	菊寿会（仲六郷1丁目シニアクラブ）	
	六郷たんぽぽの会	
	六郷 男の居場所	

	ポール de ウォーク松の楽校Ⅲ	
	待ってるよ～2020 西六	
	フレッシュヨガクラブ	
	西六郷一丁目町会（スマートフォン相談会・KH登録会）	
	さくら会	活動協力
	かるがる体操	
	ハイビスカスクラブ	
	きさらぎ会	
	リハデイ南六郷	
	六郷パソコン同好会	
	くらふとBOX	
	六郷ふれあいフェスタ	
	六郷文化センター祭り	
	高畑文化祭り	
	グリーフカフェ・ガーベラ	地域の介護家族会の支援
	介護家族会連絡会	
馬込 南馬込 協働	まごめ医療連携懇談会	活動支援・参加・講義等
	ケアマネカフェまごめ	
	おおた福祉ネット大森地区	
	くらし健康あんしんネットおおた	
	馬込図書館「図書館イベント」	
	まごめ園	
	鳩友会	
	馬込長寿会	
	二本木町会「いきいきライフ」	
	馬込北自治会「第19回 柿の収穫祭」	
	馬込文士村大桜まつり	
	馬込大盆踊り大会	
	大森地区見守りイベント（大森地域見守り連携の会）	
	みんな de ボッチャ@馬込区民センター&児童館	
	芸術鑑賞会	
	貝塚中学校防災拠点会議、防災訓練	
	南馬込地区たすけあいプラットホーム	
	介護家族会連絡会	地域の介護家族会の支援
	ケアラーの集い	

上池台

〔雪谷小学校福祉用具体験〕



〔小池小学校福祉用具体験〕



〔さくらフェスティバル〕



〔雪谷プラットフォーム〕



〔くるるの会〕



〔笹丸自治会〕

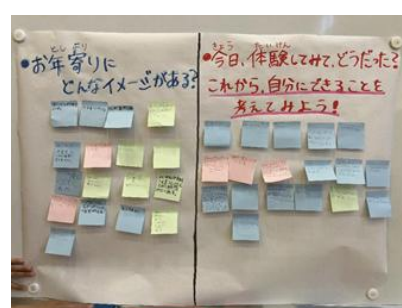


嶺町

〔嶺町文化センターまつり〕



〔小学校キラキラスクール〕



六郷・西六郷

〔六郷ふれあいフェスタ〕



〔南六郷二丁目町会ふれあい祭り〕



〔南六郷二丁目UR共催イベント〕



〔六郷文化センター祭り〕



〔高畑ふれあい文化まつり〕



馬込・南馬込

〔馬込文士村大桜まつり〕



〔柿の収穫祭〕



〔馬込大盆踊り大会〕



〔まごめ医療連携懇談会〕



〔馬込図書館イベント〕



〔いきいきライフ〕



〔馬込長寿会〕



〔ボッチャ@区民センター&児童館〕



〔対話型芸術鑑賞会〕



Ⅱ 認知症支援コーディネーター事業

1. 認知症の疑いのある人の早期発見・診断・対応支援

区内地域包括支援センターから受ける「認知症支援コーディネーター事業」相談実績は、新規 15 件と昨年度と同様となりました。相談内容は、例年通り「家族支援」「受信拒否ケース」が多く、困難ケースの支援を行いました。

認知症支援コーディネーターの役割として、認知症疾患医療センター(荏原病院)のアウトリーチ事業に繋げることに努めました。医師とのカンファレンス・医師の見立てがあることで、適確な判断・支援が行えるよう、区内地域包括支援センターのバックアップを行い、認知症の方を医療や必要なサービスに繋ぐ役割を果たしました。

【認知症支援コーディネーター事業 相談実績】

	年間数
認知症支援コーディネーターが受けた認知症の相談件数 初回相談件数	15
相談延べ件数	63
認知症支援コーディネーターの訪問支援件数 訪問支援件数(実人数)	11

相談内容別内訳	年間数
行動・心理症状(BPSD)	22
医療機関への受診・受療に関わる相談(未診断・受療拒否・身体的問題)	38
入院に関わる相談	9
生活機能障害	26
患者・家族の心理的サポート、ケア等に関わる相談(家族の介護負担含む)	40
介護保険(サービス)に関わる相談(介護サービス拒否含む)	22
福祉サービスに関わる相談	0
消費者トラブルに関わる相談	0
権利擁護に関わる援助(高齢者虐待に関するを含む)	12
経済問題に関わる援助	12
すまい(特養入所、都営住宅入居等)に関わる相談	4
介護予防に関する相談	2
その他	19

2. 認知症関連事業の支援

大田区認知症部会や認知症地域支援推進員連絡会等にて、大田区としてのチームオレンジの取り組みを進めました。大田区内4地区の橋渡し役となり、それぞれの取り組みを共有できるよう活動支援を行い、各地区でのチームオレンジの発足・充実に協力しました。

また、認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座等を開催、大田区・認知症疾患医療センター・地域包括支援センター等と連携し、地域講座や研修の企画・開催を行い、認知症とその予防について等、啓発活動を大田区全域に渡り行いました。認知症の方を含めたすべての人々が、その個性と能力を発揮し支えあう「大田区地域共生社会」の実現に努めました。

【認知症に関する会議・研修等の活動実績】

会議名	内容	回数
大田区認知症専門部会	大田区認知症施策推進計画策定に向けた会議	2
令和7年度認知症専門部会	大田区認知症施策の検討	11
認知症初期集中支援チーム事業検討委員会	初期集中支援チーム活動報告、事例紹介、認知症検診推進事業実績報告、意見交換	1
認知症地域支援推進員対応力時向上研修	認知症地域支援推進員の役割、疾患理解、意思決定支援、事例検討	1
大田区アルツハイマーイベント(2日間) (グランデュオ蒲田)	認知機能チェックの実地と認知症予防啓発等	1
チームオレンジ交流会	大田区内チームオレンジの取組を共有、懇談	1
大田区地域包括支援センター連絡会(全体)	認知症支援コーディネーター事業説明	1
認知症地域支援推進員連絡会 (大森・調布・蒲田・糀谷羽田)	基本圏域における認知症対応、チームオレンジへの取り組み等を検討	36
調布地区見守りささえあいコーディネーター連絡会	前回内容に対する意見・感想、次年度取り組むテーマの検討	8
調布地域福祉課看護職連絡会	認知症支援コーディネーター事業報告・連絡	3
調布地域いえラボ看護職勉強会	事例検討等	3
個別地域ケア会議(各包括)	認知症事例、地域での見守りについて意見	4
認知症サポーター養成講座(大田区職員等)	認知症とは、認知症サポーターとは、活動等	1
認知症サポーターステップアップ研修 (地域、企業等)	認知症サポーターとしての地域活動、チームオレンジについて等	10
調布地域チームオレンジ懇談会	チームオレンジ今後の活動について懇談	1
蒲田地域小学生向け認知症講座	小学生向け 認知症について講義	1
大田区介護支援専門員全体研修(第1回)	大田区の認知症高齢者への支援を講義	1
雪谷地区民生委員児童委員協議会 (自主民協)	地域包括支援センターの役割、認知症について	1
くらし健康あんしんネットおおた区民公開講座	認知症(MCI)の地域での見守りについてミニ講義	1
荏原病院認知症疾患医療センター連携協議会	荏原病院、東京都、大田区、品川区の取組み	2
荏原病院認知症センターミーティング	大田区内における認知症啓発について検討	1
荏原病院アルツハイマー月間イベント	認知機能チェックリスト、認知症マップ実演・展示、poo マスターによるサイコロトーク	1
認知症ケアマップ講座(久が原図書館)	認知症ケアマップの説明・作成実演	1
東邦大学いえラボ講座	地域包括支援センターと大学病院との連携	1
脳活つながる虹広場(大森中診療所)	MCI と診断された方へのアプローチ	10
馬込医療連携懇談会	認知症当事者・家族への対応に関する意見交換	1
上池台くるるの会	認知症の話し	1
三菱UFJ銀行長原支店チームオレンジ登録説明会		2

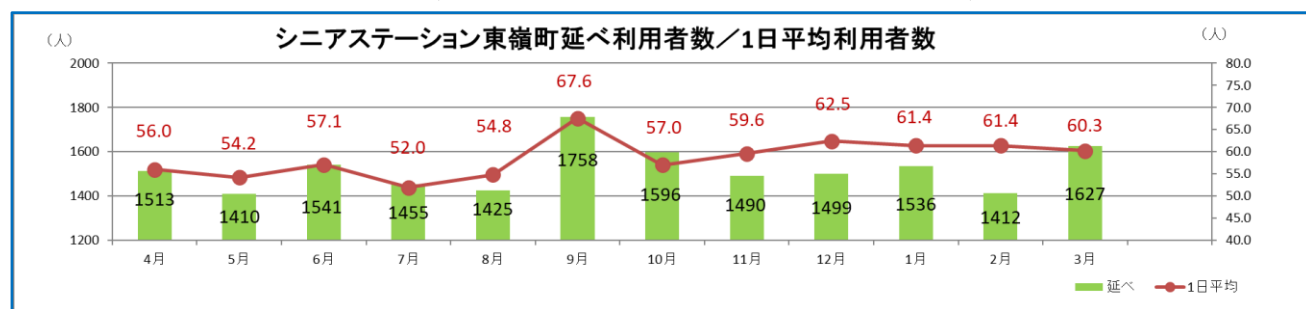
Ⅲ 元気維持介護予防事業 シニアステーション東嶺町／馬込／南馬込

1. シニアステーション事業の活発化

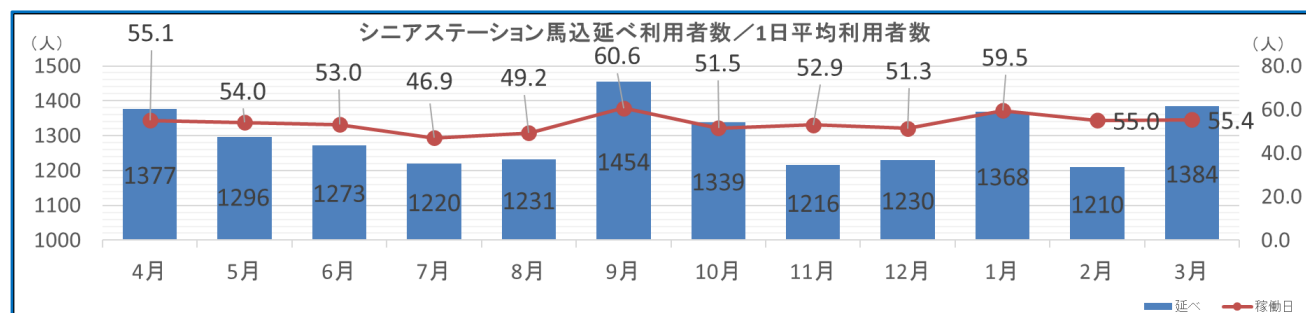
各シニアステーションとも、運動系プログラム、文化系プログラム、地域講座等、多彩なプログラムを実施し、昨年度を上回る利用者数となり、新規利用者は3施設とも年間100名以上となりました。「多世代多分野交流」として保育園・児童館や障害施設等と交流プログラムも実施し、様々なプログラムには、医療機関・民間企業・警察・消防などの行政機関等から、幅広く協力を得て実施することができました。地域包括支援センターと協働の地域講座等は、幅広い世代の地域住民を対象に啓発活動を行いました。地域との関係性構築と推進を目的とした「運営推進会議」では、利用者・自治会町会・民生委員児童委員に参加いただき、プログラム活動報告、利用者アンケート結果等の報告を行いました。プログラムや広報等について、アドバイスをいただく機会となりました。

また、利用者の特技や経験を活かし、プログラム講師や、その中心となり活動できるよう働きかけを行い、活躍の場を広げました。高齢者の社会参加を進める活動を積極的に行いました。

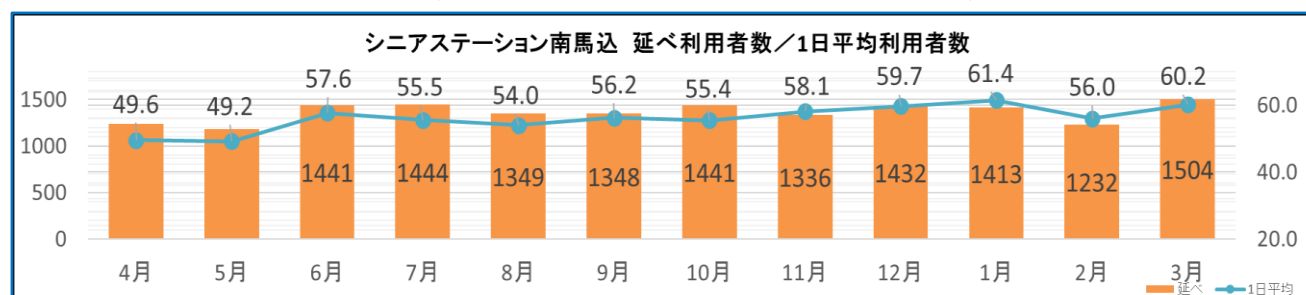
【 東嶺町 年間延べ利用者数 18,262 名(内新規 121 名) 月平均利用者数 1,522 名 】



【 馬込 年間延べ利用者数 15,598 名(内新規 105 名) 月平均利用者数 1,230 名 】



【 南馬込 年間延べ利用者数 16,358 名(内新規 126 名) 月平均利用者数 1,363 名 】



令和7年度 シニアステーション東嶺町 活動参加者数				
	教室タイトル	参加人数	開催回数	平均参加者数
区 関 係 事 業	【エルダー】わくわくエクササイズ	1165人	50回	23人
	【エルダー】盆ダンスdeわくわく	301人	19回	16人
	【エルダー】歌声サロン♪(小学生による詐欺防止啓発運動1回34人含む)	600人	20回	30人
	【配信映像】体操マルシェ	848人	49回	17人
	【配信映像】リフレッシュ体操	2194人	202回	11人
	【調布地域福祉課】口から始める健康講座	22人	1回	22人
	【高齢福祉課/基盤課/警視庁】詐欺被害防止啓発運動(※5プログラム119人、各プログラムでカウント)			
	【基盤管理課】交通安全集会	15人	1回	15人
	【敬老マッサージ】	350人	35回	10人
	【夜間週末貸出事業】嶺福寿会(シニアクラブ)	161人	20回	8人
東京都事業	【普及啓発事業】スマートフォン相談会	98人	7回	14人
シ ニ ア ・ 包 括 職 員 講 師	【体操】こつこつ筋トレ	613人	26回	24人
	【体操】やさしいピラティス	1063人	45回	24人
	【体操】マットdeピラティス	136人	12回	11人
	【体操】リラックス体操	208人	24回	9人
	【体操】女性のための骨盤体操	159人	12回	13人
	【体操/男性居場所】熱男!(あつダン)	26人	5回	5人
	【多世代交流】節分交流会	6人	1回	6人
	【文化系】キネカ東嶺町	235人	11回	21人
	【文化系】クラフトびより	26人	4回	7人
	【文化系】大人の塗り絵	8人	1回	8人
	【地域講座】包括職員(認サボ、詐欺防止)	31人	2回	16人
	【地域講座】シニア職員(介護保険)	13人	1回	13人
外 部 講 師 派 遣	【体操】アクティブシニア体操	901人	47回	19人
	【体操】リズムでフィットネス	831人	48回	17人
	【体操】太極拳教室	636人	47回	14人
	【体操】ポールで歩こう	165人	22回	8人
	【体操】健幸体操	284人	24回	12人
	【体操】のどトレ♪	291人	12回	24人
	【体操】足腰しっかり頭すっきり体操	224人	12回	19人
	【体操】カムカム体操(オンライン)	525人	26回	20人
	【体操】出張レッスン(アグリマス)	74人	4回	19人
	【講座】地域・特別講座(多世代、歩行能力測定会含む)	576人	32回	18人
単発イベント	【単発イベント】演奏会、ミュージカル、講談等(多世代・地域交流含む)	299人	12回	25人
	【敬老イベント】演奏会、レクリエーション	55人	3回	18人
	【敬老イベント】作品展	181人	5回	36人
サロン	【工作・手芸】手仕事の時間	147人	21回	7人
	【工作・手芸】趣味の時間	310人	24回	13人
	【ボランティア育成】カードゲームでわっはっは	176人	12回	15人
	【ボランティア】切手整理ボランティア	42人	6回	7人
その他	予約・休憩(クールスポット含む)	3329人	298回	11人
	自衛消防訓練 ※2回25人参加、地域講座でカウント			
	アンケート調査 ※R7.10/1-31まで	170	1回	170人
小計①		17494人	1204回	
ボランティア・多世代②		938人	276回	3人
総合計(①+②)		18432人	1480回	

令和7年度 シニアステーション馬込 活動参加者数				
	教室タイトル	参加人数	開催回数	平均参加者数
区 関 係 事 業	【夜間週末貸出事業】部屋貸し	50人	6回	8人
	【映像による体操】アグリマス(俳配信)	1458人	113回	13人
	【映像による体操】健康王国(joysound)	1101人	127回	9人
	【声を出す健康】みんなで合唱(joysound)	383人	25回	15人
	【大森地域福祉課】口から始める健康講座	23人	1回	23人
	【高齢福祉課/基盤課/警視庁】詐欺被害防止講座	135人	7回	19人
	【基盤管理課】交通安全集会	12人	1回	12人
東京都 事業	スマートフォン教室	86人	10回	9人
	スマートフォン個別相談会	101人	10回	10人
シ ニ ア ・ 包 括 職 員 講 師	【体操】骨盤底筋運動	90人	12回	8人
	【ボッチャ】ボッチャ	181人	16回	11人
	【ボッチャ/女性のみ】プリンセスボッチャ	45人	5回	9人
	【ボッチャ/男の居場所】プリンスボッチャ	125人	12回	10人
	【ボッチャ/地域交流】まごめ園ボッチャ	33人	6回	6人
	【モルック】モルック	36人	3回	12人
	【輪踊り】WAになって踊ろう！	339人	35回	10人
	【オレンジカフェ】オレンジカフェ	90人	12回	8人
	【男の居場所】ナイスガイ倶楽部	129人	12回	11人
	【文化】美しい日本の文化(筆ペンなぞり書き)	165人	23回	7人
	【文化】コロリアージュ(塗り絵)	250人	25回	10人
	【文化】ハンドメイド(壁画制作)	72人	17回	4人
	【文化】ちぎり絵	9人	1回	9人
	【文化】カルタ 百人一首	8人	1回	8人
	【映画鑑賞会】キネカ馬込	194人	12回	16人
	フレイル予防測定会	19人	1回	19人
	【地域講座】シニア職員講師(ヒートショック,熱中症,骨粗鬆症)	40人	3回	13人
	【地域講座/多世代交流】認知症サポーター養成講座	10人	1回	10人
外 部 講 師 派 遣	【体操】荒井さんのけんこう体操	897人	46回	20人
	【体操】アクティブシニア体操	854人	48回	18人
	【体操】リズムでフィットネス	929人	50回	19人
	【体操】イルカ整骨院 健康寿命体操	616人	38回	16人
	【体操】久野先生の健康元気体操	865人	45回	19人
	【体操】治癒力を高めよう！	102人	12回	9人
	【体操】エミのリラックス フラ(フラダンス)	384人	24回	16人
	【体操】実演！足腰らくらくチエア体操(アグリマス)	63人	5回	13人
	【体操】ZOOM 足腰らくらくチエア体操(アグリマス)	13人	1回	13人
	【体操】カムカム体操ZOOM	37人	3回	12人
	【体操】イチから教わる太極拳	595人	48回	12人
	【体操】整う体と心の椅子ヨガ	908人	49回	19人
	【合唱/生きがい創出】サンシャイン合唱団	227人	24回	9人
	【声を出す健康】楽しく歌って滑舌UP!	46人	4回	12人
	【文化】墨絵文字	91人	12回	8人
	【文化】花遊び	82人	12回	7人
	【文化】アロマ教室(ハンドクリーム,バスボム製作等)	34人	4回	9人
	【地域講座】自衛消防訓練/防災講座/心肺蘇生&AED演習	13人	1回	13人
	【地域講座】定期講座(講師:保険会社FP)	76人	8回	10人
	【東京法務局】自筆証書遺言書保管制度,相続登記の申請義務化	58人	2回	29人
単発イベント	アクティブエルダー集まれ!(ビューティセミナー,ダンスdeスマイル)	29人	2回	15人
	アクティブエルダー集まれ!(ゲーム大会2種)	269人	22回	12人
サロン	【ボランティア育成/生きがい創成】mini英会話教室	99人	41回	2人
	【ボランティア育成/生きがい創成】まごの手	3人	1回	3人
その他	自衛消防訓練(※2回 20人地域講座【自衛消防訓練】&オレンジカフェ【防災講座】でカウント)			
	予約・休憩【クルースポット含む】	2185人	286回	8人
	アンケート調査	177人	1回	177人
	小計①	14836人	1286回	
	ボランティア・多世代②	830人	262回	3人
	総合計(①+②)	15666人	1548回	

令和7年度 シニアステーション南馬込 活動参加者数				
	教室タイトル	参加人数	開催回数	平均参加者数
区 関 係 事 業	【映像体操】足腰らくらくチェア体操/アグリマス(株)	298人	36回	8人
	【映像体操】オンラインレッスン/アグリマス(株)	2人	1回	2人
	【映像体操】健康王国タイム/JOYSOUND	576人	57回	10人
	【映像体操】南まごめ体操/JOYSOUND+シニア職員	563人	31回	18人
	【映像体操】ラジオ体操/JOYSOUND	57人	34回	2人
	【映像体操】輪踊りでリフレッシュ/JOYSOUND	6人	1回	6人
	【映像体操】みんなで合唱/JOYSOUND	525人	24回	22人
	夜間週末部屋貸出事業	0人	0回	0人
	【講座】口から始める健康講座(地域健康課)	28人	1回	28人
	【講座】悪質商法予防啓発セミナー(大田区消費者センター)	18人	1回	18人
	【講座】交通安全集会(大田区都市基盤整備部)	14人	1回	14人
	【講座】特殊詐欺防止啓発活動(高齢福祉課・警察)	112人	5回	22人
都	スマートフォン相談会	93人	10回	9人
	TOKYO「熱中症ゼロへ」アクション事業『熱中症予防セミナー』	41人	1回	41人
シ ニ ア ・ 包 括 職 員 講 師 (体 操 ・ サ ロ ン 含)	楽しくエクササイズ	565人	23回	25人
	健活!	195人	12回	16人
	骨盤底筋体操	92人	9回	10人
	脱フレイル体操(響会公式YouTube動画)	288人	32回	9人
	男の居場所	394人	35回	11人
	おりがみくらぶ	425人	22回	19人
	大人のぬり絵くらぶ	269人	24回	11人
	ふらわーくらぶ	40人	3回	13人
	ポッチャ	251人	16回	16人
	カーレット	199人	22回	9人
	室内モルック	178人	9回	20人
	多世代交流会(保育園・児童館)	106人	5回	21人
	シアター南馬込	99人	5回	20人
	オレンジカフェみんなの広場(認知症カフェ)	95人	11回	9人
	熱中症予防ミニ講座	121人	5回	24人
	認知症サポーター養成講座	17人	1回	17人
外 部 講 師 派 遣 (体 操 ・ サ ロ ン ・ 講 座)	体づくりトレーニング	1069人	39回	27人
	アクティブシニア体操	781人	46回	17人
	リズムでフィットネス～カラフィット～	1107人	46回	24人
	骨元気体操～やさしくステップ～	559人	23回	24人
	太極拳(木曜・金曜・土曜)	1687人	136回	12人
	荒井さんのけんこう体操	659人	23回	29人
	YOGA	327人	23回	14人
	姿勢ウォーキング	144人	12回	12人
	ポールdeウォーク南馬込文士村楽校	67人	15回	5人
	コツコツリフレッシュ体操	171人	11回	16人
	あんしん体操	100人	6回	17人
	カムカム体操オンライン	653人	39回	17人
	出張レッスン/アグリマス(株)	61人	4回	15人
	サンシャイン合唱団	554人	24回	23人
	手話ダンス	6人	1回	6人
	お手玉くらぶ	106人	12回	9人
	アロマサロン	21人	5回	4人
	俳句くらぶ	11人	2回	6人
	地域講座/健康・聞こえの勉強会・栄養・終活など	341人	17回	20人
	スマホ個別相談室(地域ボランティア)	80人	24回	3人
イ ベ ン ト 単 発	アクティブエルダー感謝祭(レクリエーション大会)旧敬老会	63人	5回	13人
	演奏会(サクソ・二胡・ギター・三線・詩吟)	356人	8回	45人
	歩行分析測定会	12人	1回	12人
サ ロ ン 他	ボランティアくらぶ	126人	21回	6人
	囲碁・将棋	243人	152回	2人
	トランプサロン	2人	1回	2人
	かるた&百人一首サロン	14人	2回	7人
その他	自衛消防訓練(※2回39人/地域講座『防災』でカウント)			
	アンケート調査 期間R7.10.1～31	193人	1回	193人
	その他(申込・休憩・クールスポットなど)	263人	156回	2人
小計 ①		15443人	1292回	
ボランティア・多世代②		1112人	291回	4人
総合計 ①+②		16555人	1583回	

【東嶺町 プログラム風景】

〔熱男！(あつダン)〕



〔リラックス体操〕



〔サラリーマン講談〕



〔乳幼児ひろば節分交流会〕



〔東調布第一小学校 5 年生 特殊詐欺防止啓発活動〕



〔地域講座 TOHO いえラボ〕



〔大田池上病院交流会〕



〔Xmas ピアノコンサート〕



〔三味線ライブ！〕



〔集まれ！アクティブエルダー 作品展&来場者プレゼント〕



【馬込 プログラム風景】

〔整う体と心の椅子ヨガ〕



〔モルック〕



〔イチから教わる太極拳〕



〔エミのリラックスフラ〕



〔治癒力を高めよう！〕



〔イルカ接骨院の健康寿命体操〕



〔ハンドメイド 壁画〕



〔MICHIKO 先生の英会話〕



〔美しい日本の文化〕



〔集まれ！アクティブエルダー〕



〔墨絵文字〕



〔花遊び〕



【南馬込 プログラム風景】

〔体力づくりトレーニング〕



〔荒井さんのけんこう体操〕



〔スマホ個別相談会〕



〔俳句くらぶ〕



〔男の居場所～対話型芸術鑑賞会〕



〔かるた&百人一首〕



〔ふらわーくらぶ〕



〔気象予報士による熱中症セミナー〕



〔二胡演奏会〕



〔保育園交流会〕



〔集まれ！アクティブエルダー〕



〔室内モルック〕



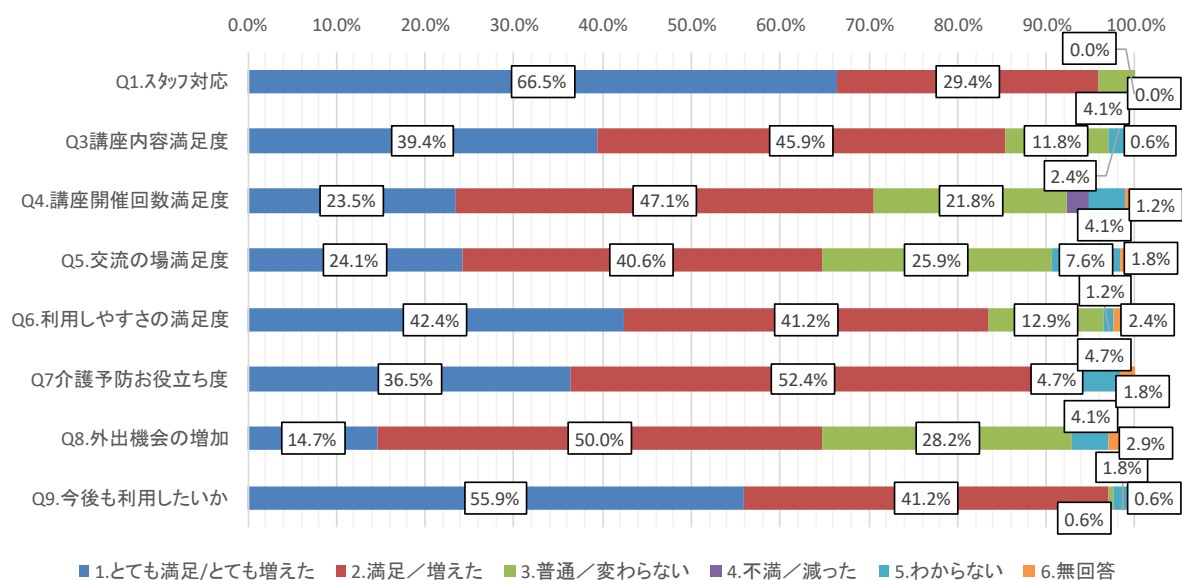
【シニアステーション 利用者アンケート】

令和7年度「シニアステーション利用者アンケート」は、10月の1か月間、利用者170名以上に対して行いました。利用者満足度は、どのステーションとも「Q1. スタッフ対応」がもっとも高く、次に「Q9. 今後も利用したいか」が高く、地域に信頼され、楽しく通える場として定着していると考えます。「Q2. シニアステーションを知ったきっかけ」は、口コミや包括からの紹介が多いことが分かります。元気維持介護予防の拠点としたシニアステーションの周知が進んでいると考えます。

令和7年度 シニアステーション東嶺町利用者アンケート R7.10/1-31実施 170名回答

	Q1.スタッフ 対応	Q3.講座 内容	Q4.講座 回数	Q5.交流 の場	Q6.介護 予防	Q7.外出 機会	Q8.利用 しやすさ	Q9.全体 満足度
とても満足 増えた	113	67	40	41	72	62	25	95
満足 増えた	50	78	80	69	70	89	85	70
普通 変わらない	7	20	37	44	22	8	48	1
不満 減った	0	0	4	0	0	0	0	0
わからない	0	4	7	13	2	8	7	3
無回答	1	1	2	3	4	3	5	1

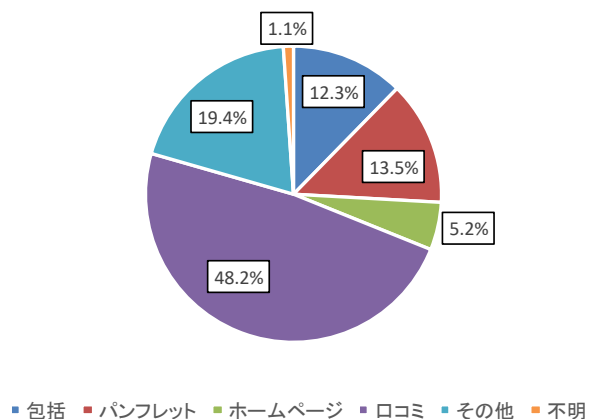
利用者満足度



シニアステーション東嶺町を知ったきっかけ

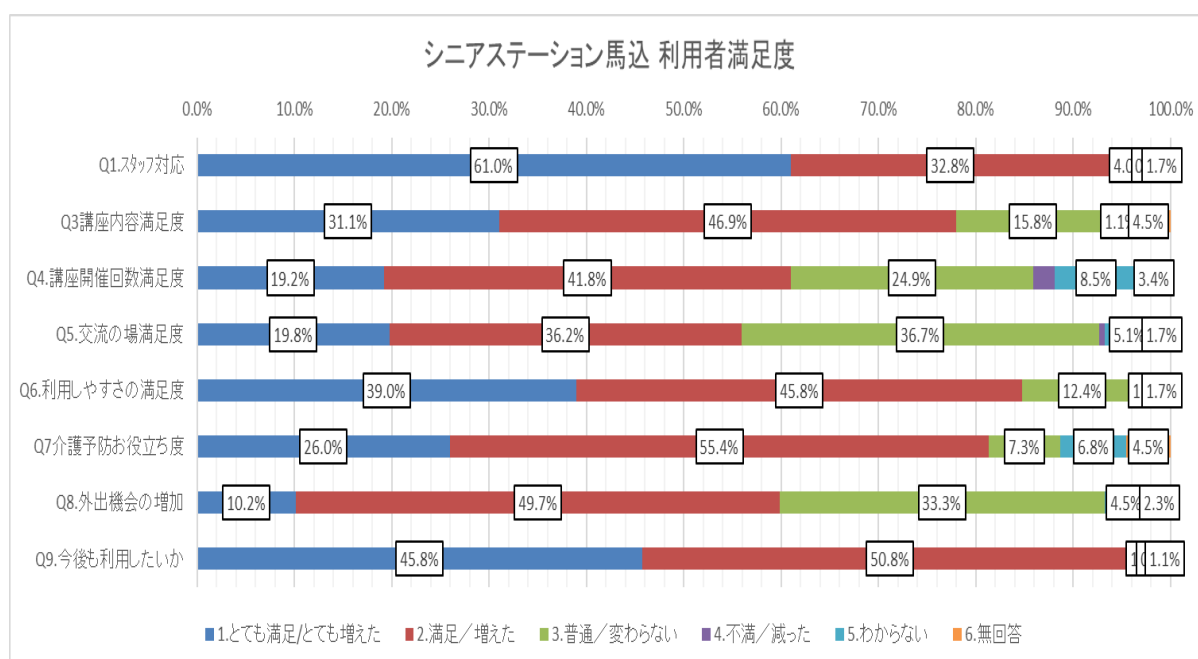
種類	件数	割合
包括	21	12.3%
パンフレット	23	13.5%
ホームページ	9	5.2%
口コミ	82	48.2%
その他	33	19.4%
不明	2	1.1%
合計	170	100.0%

シニアステーション東嶺町を知ったきっかけ



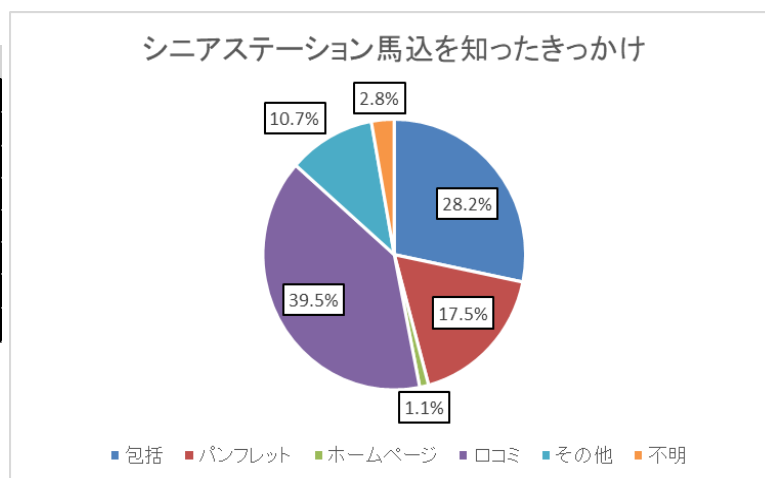
令和7年度 シニアステーション馬込利用者アンケート R7.10/1-31実施 177名回答

	Q1.スタッフ 対応	Q3.講座 内容	Q4.講座 回数	Q5.交流 の場	Q6.介護 予防	Q7.外出 機会	Q8.利用 しやすさ	Q9.全体 満足度
とても満足 増えた	108	55	34	35	69	46	18	81
満足 増えた	58	83	74	64	81	98	88	90
普通 変わらない	7	28	44	65	22	13	59	3
不満 減った	0	1	4	1	0	0	0	0
わからない	1	2	15	9	2	12	8	1
無回答	3	8	6	3	3	8	4	2



シニアステーション馬込を知ったきっかけ

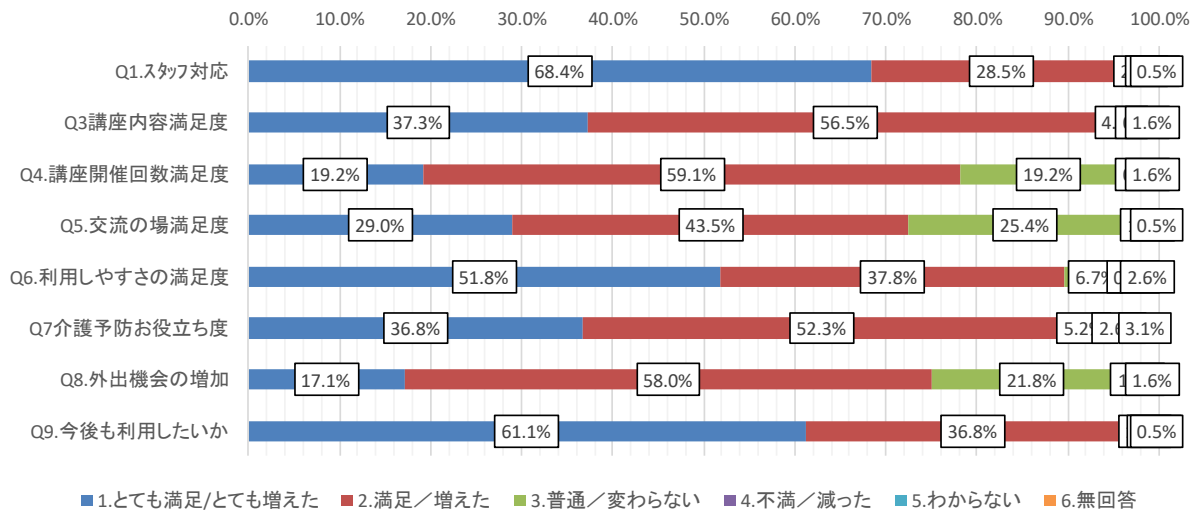
種類	件数	割合
包括	50	28.2%
パンフレット	31	17.5%
ホームページ	2	1.1%
口コミ	70	39.5%
その他	19	10.7%
不明	5	2.8%
合計	177	100.0%



令和7年度 シニアステーション南馬込利用者アンケート R7.10/1-31実施 193名回答

	Q1.スタッフ 対応	Q3.講座 内容	Q4.講座 回数	Q5.交流 の場	Q6.介護 予防	Q7.外出 機会	Q8.利用 しやすさ	Q9.全体 満足度
とても満足 増えた	132	72	37	56	100	71	33	118
満足 増えた	55	109	114	84	73	101	112	71
普通 変わらない	4	8	37	49	13	10	42	2
不満 減った	0	0	1	0	1	0	0	1
わからない	1	1	1	3	1	5	3	0
無回答	1	3	3	1	5	6	3	1

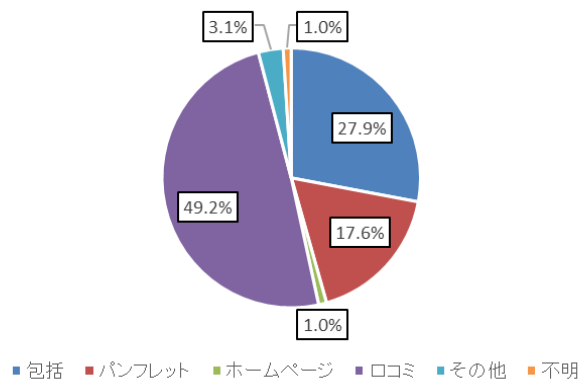
シニアステーション南馬込 利用者満足度



シニアステーション南馬込を知ったきっかけ

種類	件数	割合
包括	54	27.9%
パンフレット	34	17.6%
ホームページ	2	1.0%
口コミ	95	49.2%
その他	6	3.1%
不明	2	1.0%
合計	193	100.0%

シニアステーション南馬込を知ったきっかけ



Ⅳ 人財育成

新人育成において「メンター/チューター」体制を徹底し、チームで育成と定着に努めてきました。また、業務改善部会で「響会地域包括支援センターマニュアル」を見直し、「地域包括支援センター新人職員が目指す姿」を示しました。新人職員の経験や資格等を考慮し、センター長が定期的に面談し「目指す姿」の進捗状況を確認することを明確にし、それぞれにあった指導方法を意識しました。

研修においては、内部研修「6 包括合同研修」を積極的に行い、センター横断的に集う機会を設け、包括・シニアステーション職員の交流とスキルアップに努めました。「東京都登録講師派遣事業」を活用し、10 名程度の少人数でワークを行い、楽しく仕事を続けることや職場づくりを共に学びました。日頃の業務と自身の業務に向き合う姿勢を振り返る機会となりました。また、外部研修に積極的に参加し、幅広い知識の習得に努め、その内容をセンター内にて伝達研修として行い、職員周知を図りました。

【内部研修】

研 修	目的・内容
BS（ベーシックスキル）研修	新入職員に対して行う法人主催の研修。全体研修として、組織の事業・各種規定や大田区の特養優先入所制度等について学ぶ。
新人研修	入職直後より各センターにて、大田区の高齢福祉施策、介護保険制度、社会資源、センター事業、マナーや電話の取り方などを学ぶ。
センター内研修	月 1 回程度各センターにて学びたいことをテーマとし、職員が講師となり実施。また、外部研修で学んだことを伝達する場とし、業務の再確認やスキルアップを図る。
6 包括合同研修	法人が運営する地域包括支援センターの相互の連携及び接遇マナーや相談援助技術の標準化を目的とした研修を適時実施。 ①職種間研修（保健師・看護師／主任介護支援専門員／社会福祉士） ②「面接の超入門 バイステック 7 原則から学ぶ援助関係の構築」 ③「離職予防・職員定着に必要なリーダーの心得」 ④「後輩育成～OJT を学ぶ」 ⑤「交流分析で学ぶコミュニケーション」 ⑥「ストレスマネジメント」 ⑦「支援者も元気になろう！～こころのセルフケアを学ぶ～」

【外部研修参加状況】

実施機関	研修項目
大田区	地域包括支援センター新任研修
	生活支援コーディネーター初任者研修
	フレイル予防専門職養成講座
	大田区総合事業について「絆サポートのこれから」
	地域包括支援センター職員向け研修 BCP 実践研修
	養護者による高齢者虐待対応研修(基礎)
	高齢者虐待対応研修（ネグレクト）
	高齢者虐待対応研修（身体的虐待）
	要介護施設従事者等による高齢者虐待対応研修
	令和 7 年度成年後見制度の利用支援に関する連絡会
	認知症対応力向上研修
	おいじたくセミナー

	カスタマーハラスメント対策セミナー
	カスタマーハラスメントの予防と対策
	複合課題研修「事例から考える多機関・多職種連携のあり方」
	複合課題対応研修「共に学び理解を深める発達障害とは」
	大田区福祉従事者フォローアップセミナー 大田区福祉従事者 café
	大田区福祉人材育成コミュニケーションスキル向上研修
	大田区福祉人材育成スキルアップセミナー「触法障がい者や触法高齢者への地域生活支援を考える」
	大田区福祉人材育成スキルアップセミナー「やる気を引き出す面談力 チームをまとめるトーク術」
	大田区介護支援専門員全体研修「「ちょっとおかしい‘MCI’～ケアマネジャーの皆さんに伝えたいこと～」
	大田区介護支援専門員全体研修「どこまでできる？何ができる？～成年後見制度の実際～」
	大田区介護支援専門員全体研修「精神疾患の対応について～家族対応に困っていませんか？～」
	大田区介護支援専門員全体研修「ケアプラン点検総括 あなたのケアプラン作ります～ペアを組んでアセスメント・プランを作ってみよう～」
	大田区介護保険事業者等研修事業「新しい認知症観と実践コミュニケーション術」
	大田区介護保険事業者等研修事業「介護者が最初に知りたい医療知識」
	大田区介護保険事業者等研修事業「基礎コミュニケーション強化～聴く・質問する・承認する力を磨く～」
	大田区介護保険事業者等研修事業「現場が変わる仕事の教え方」
	大田区介護保険事業者等研修事業「困難事例との向き合い方」
	大田区介護保険事業者等研修事業「ヤングケアラー・ダブルケアラーへの支援」
	調布地域福祉課介護支援専門員連絡会「避難所運営ゲーム」
	調布地域福祉課介護支援専門員連絡会「弁護士に聞くカスハラ対策」
	調布地域福祉課介護支援専門員連絡会「身元保証・終の棲家探し」
	蒲田地域福祉課介護支援専門員連絡会「CM・CWのお互いの仕事を知ろう」
	蒲田地域福祉課介護支援専門員連絡会「ケアマネのシャドーワークについて」
	大森地域福祉課介護支援専門員連絡会「ケアマネジャーにおけるカスタマーハラスメント対応～1人で抱え込まないで！自分を守ろう！！～」
	大森地域福祉課介護支援専門員連絡会「包括さん、ケアマネさん、その提案本当にあっている？～ご利用者の生活の質を高める福祉用具選定とは～」
	大田区官学連携人材育成講座 2025年度のデータから見る大田区の熱中症
	大田区官学連携人材育成講座 高齢者の感染症対策
	福祉職場のメンタルヘルス
	支援者が知っておきたい意思決定支援
	支援者が知っておきたい基礎編「任意後見制度」
	支援者が知っておきたい基礎編「法定後見制度」
	支援者向けゲートキーパー養成講座
	高齢者も家族も みんな笑顔でいるために ～介護のストレスを上手に解消しよう！～
東京都	地域包括支援センター初任者研修
	地域包括支援センター現任者研修(基本科目Ⅰ・Ⅱ)
	地域包括支援センター現任者研修(管理監督者向け研修)
	地域包括支援センター現任者研修「高齢者の見守り」
	地域包括支援センター現任者研修「包括内の多職種連携」

	地域包括支援センター現任者研修「ファシリテーション」
	認知症地域支援推進員研修（新任者研修）
	認知症地域支援推進員研修（現任者研修）
	認知症初期集中支援チーム研修
	認知症地域対応力向上研修
	若年性認知症相談支援研修（基礎・区部向け）
	東京都チームオレンジ・コーディネーター研修
	東京都キャラバン・メイト養成研修
	高齢者権利擁護研修「養護者による高齢者虐待対応研修（基礎研修）」
	高齢者権利擁護研修「養護者による高齢者虐待対応研修（応用編）」
	高齢者権利擁護研修「権利擁護テーマ別実践研修」
	精神保健福祉研修「対人援助職のメンタルヘルス」
	精神保健福祉研修「アウトリーチ支援研修」
	精神保健福祉研修「ハラスメント対応」
	依存症相談対応型研修「ギャンブル依存症」
	東京都ひきこもりに係る関係機関向け専門研修
	入退院時連携強化研修
	福祉用具サービス従業者講習会（基礎研修）
	福祉用具サービス従業者講習会（テーマ別講習）「住宅改修と改修計画」
	区市町村介護事業担当者向け研修（総論編）
	通いの場スキルアップ研修
	通いの場実践編 タイプⅠ・Ⅱ（多様性）
	東京都介護支援専門員専門研修Ⅰ
	東京都介護支援専門員専門研修Ⅱ
	東京都介護支援専門員更新研修
	抗アミロイドβ抗体薬によるアルツハイマー病診療の現状と将来の展望
	春から始める！高齢者の熱中症対策セミナー ～暑さに負けない夏の準備～ in 東京
他	共生社会に向けた地域づくりセミナー
	さわやか福祉財団全国交流フォーラム
	F-SOAIIP で時間短縮&伝わる記録のスキルを習得
	地域包括支援センター看護職 中部・南部地区交流会 オンライン情報交換会
	地域包括ケア担当職員セミナー 災害時の地域包括支援センターの実際～令和6年能登半島地震の経験から～
	アサーティブコミュニケーション
	NPO 大田区介護支援専門員連絡会主催「タウンミーティング「こんなに違う！？障害と介護のプラン～相談支援専門員の仕事を知る～」
	大田区ポール de ウォークリーダー養成研修会
	東邦大学いえラボ講座 地域包括支援センターと大学病院の連携
	多職種連携事業「梅ちゃん談話室」
	ケアマネジメントにおける「家族支援」セミナー
	地域連携を支える人材育成研修
	メンタルヘルス講習会【管理者向け】
	医療機関からの訪問リハと訪問看護からのリハの違い
	総合診療医の在宅診療を知ろう
	気候変動適応セミナー
	大森榎本クリニック講演会「お酒をやめさせたい支援者やめられない高齢者」